

1階 平面図 S:1:200

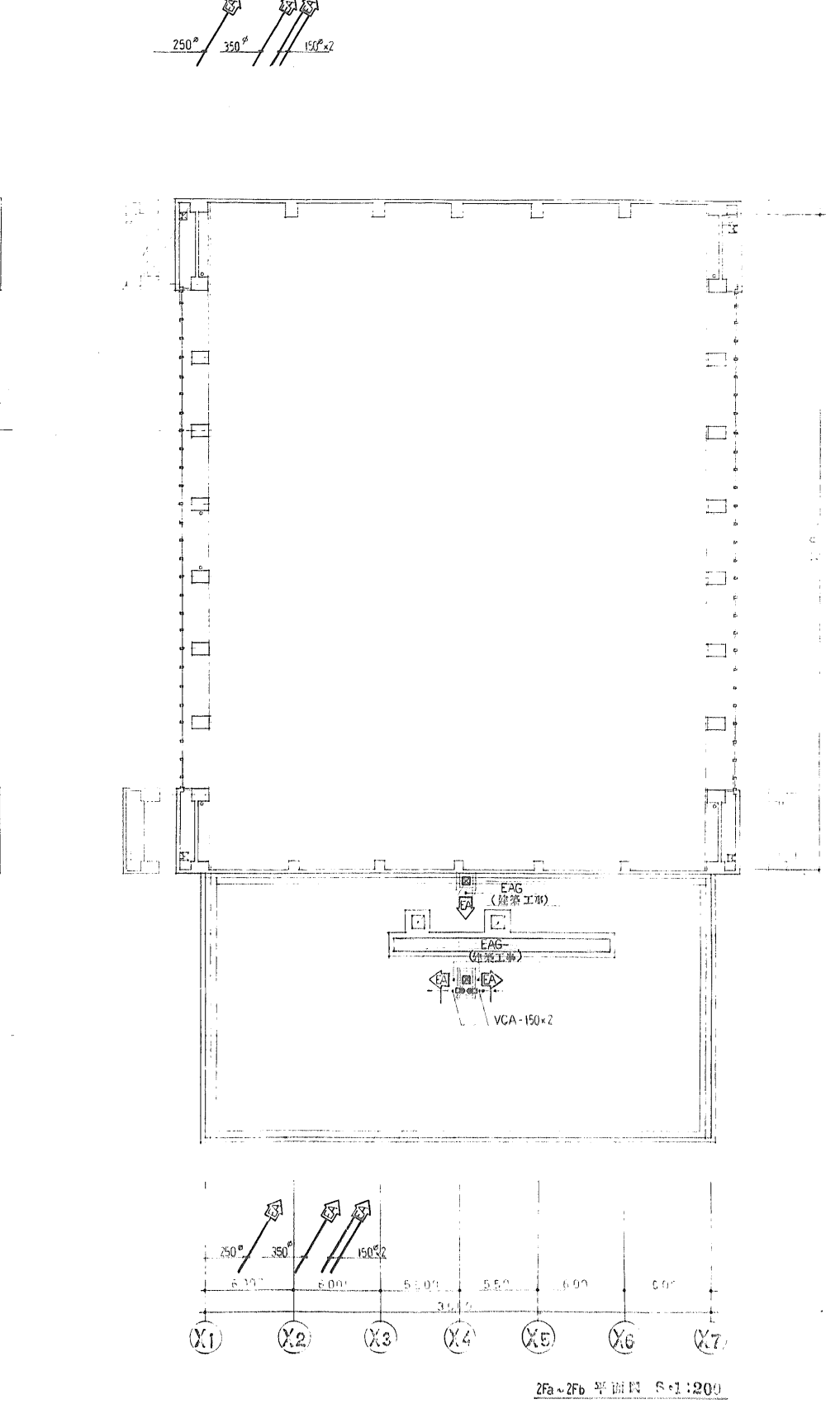
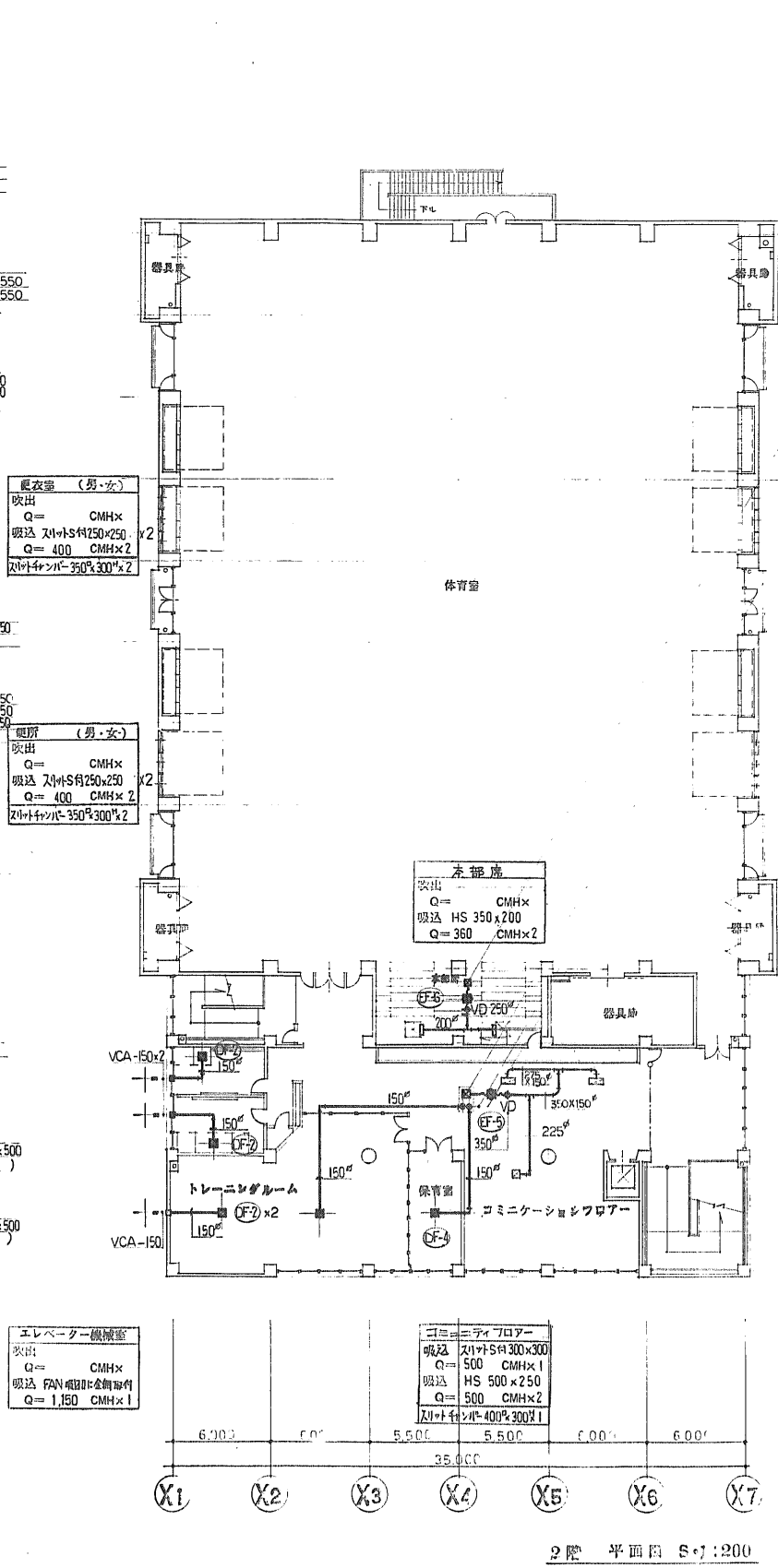
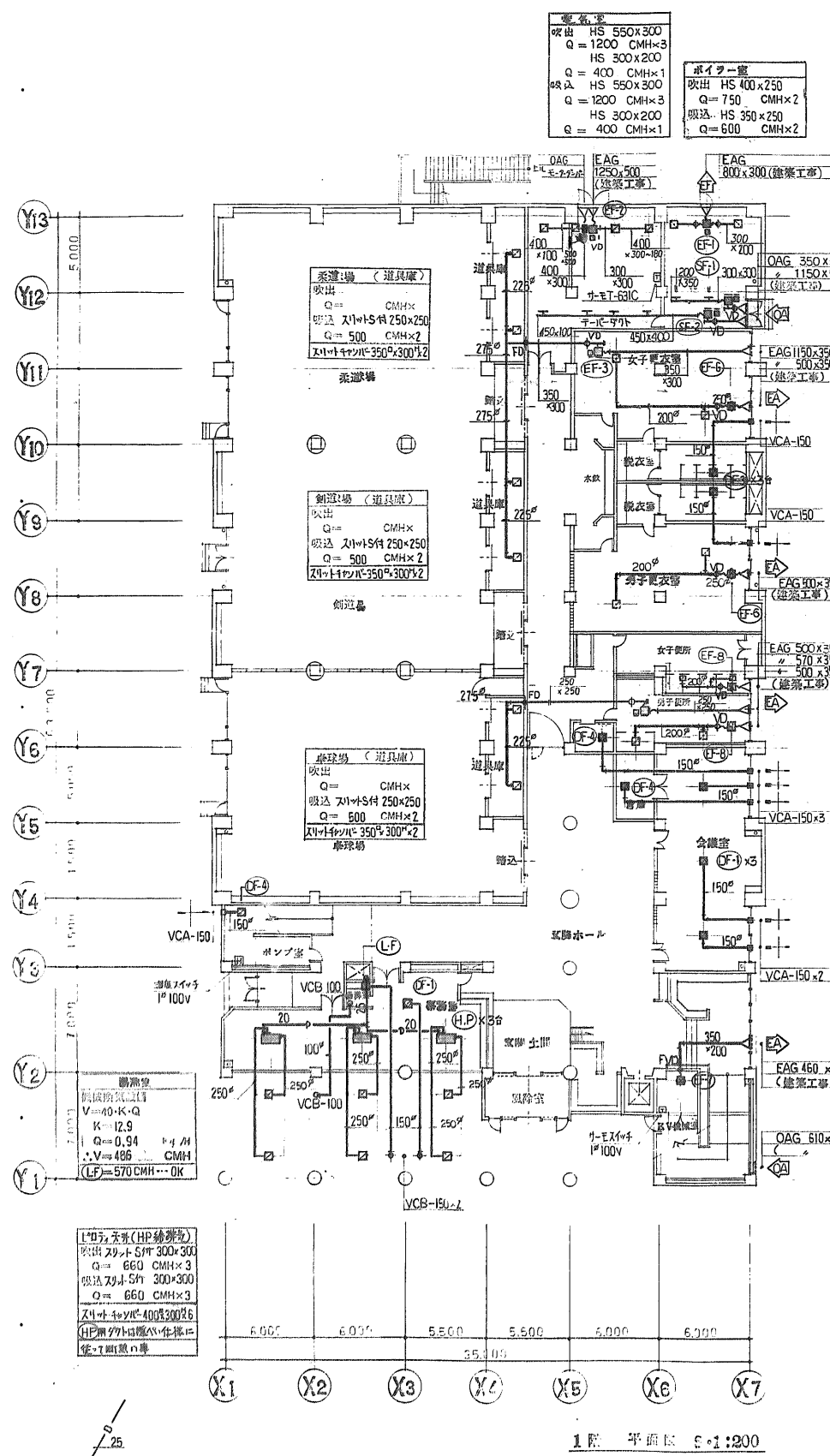
2階 平面図 S:1:200

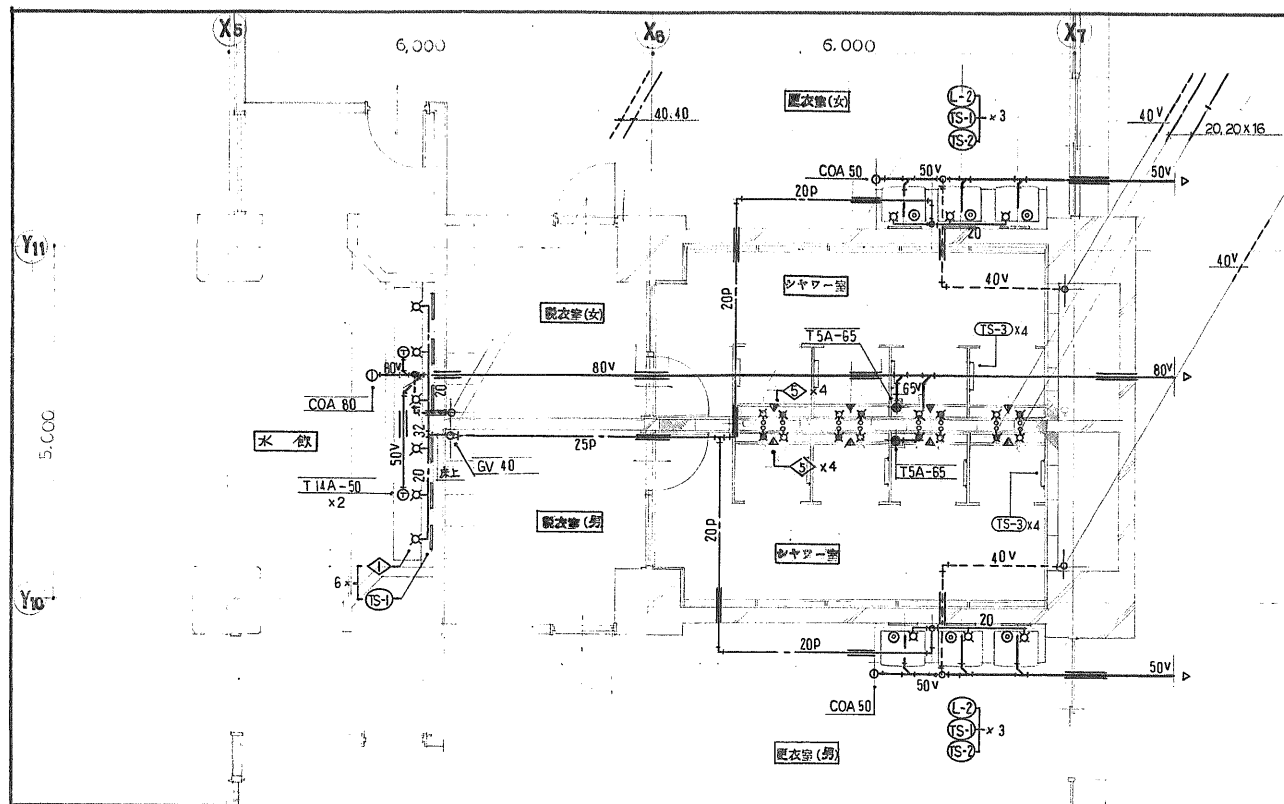
2Fa~2Fb 平面図 S:1:200

MEMO	承認	調査	設計	設計年月日	全案	NO
				60.11	12	5

工事名・昭和三十九年度国民体育センター建設（附属施設）工事  
 図面名・1~2Fb 電気配線図（衛生） Scale 1:200

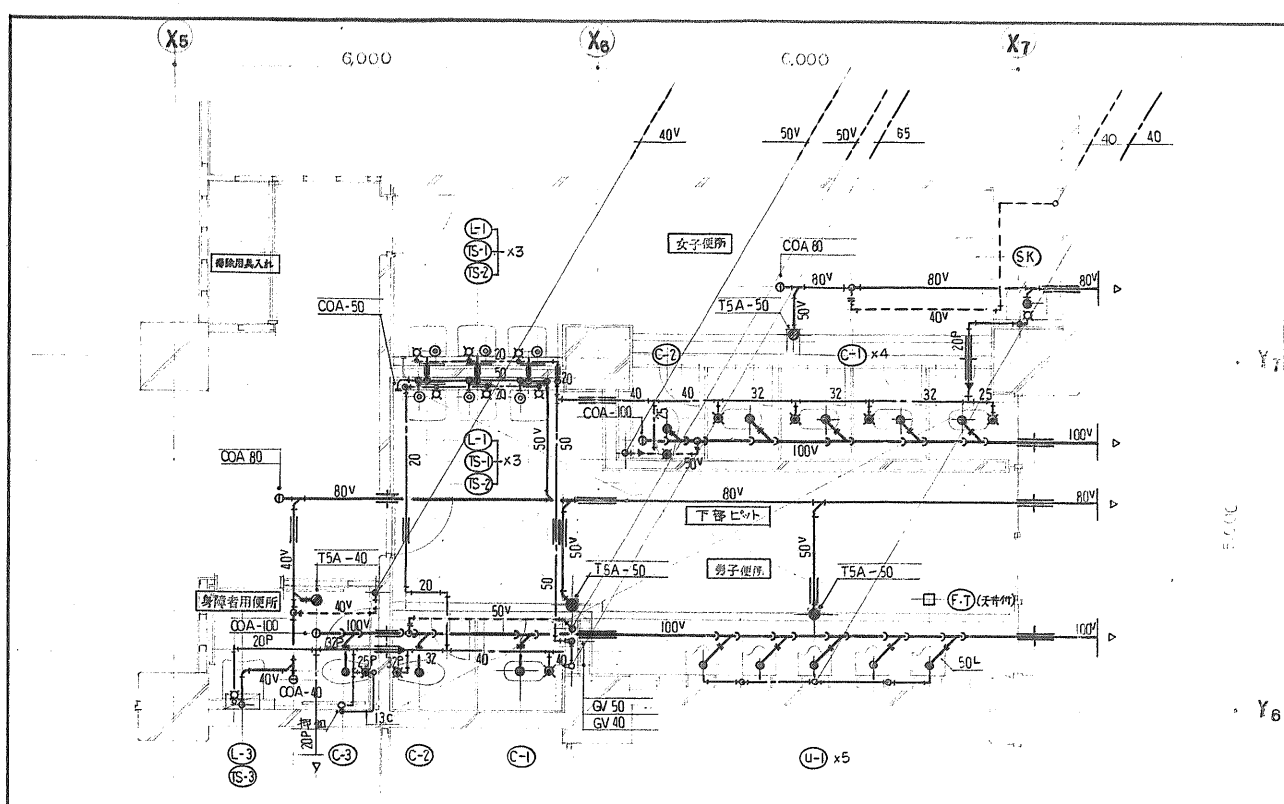






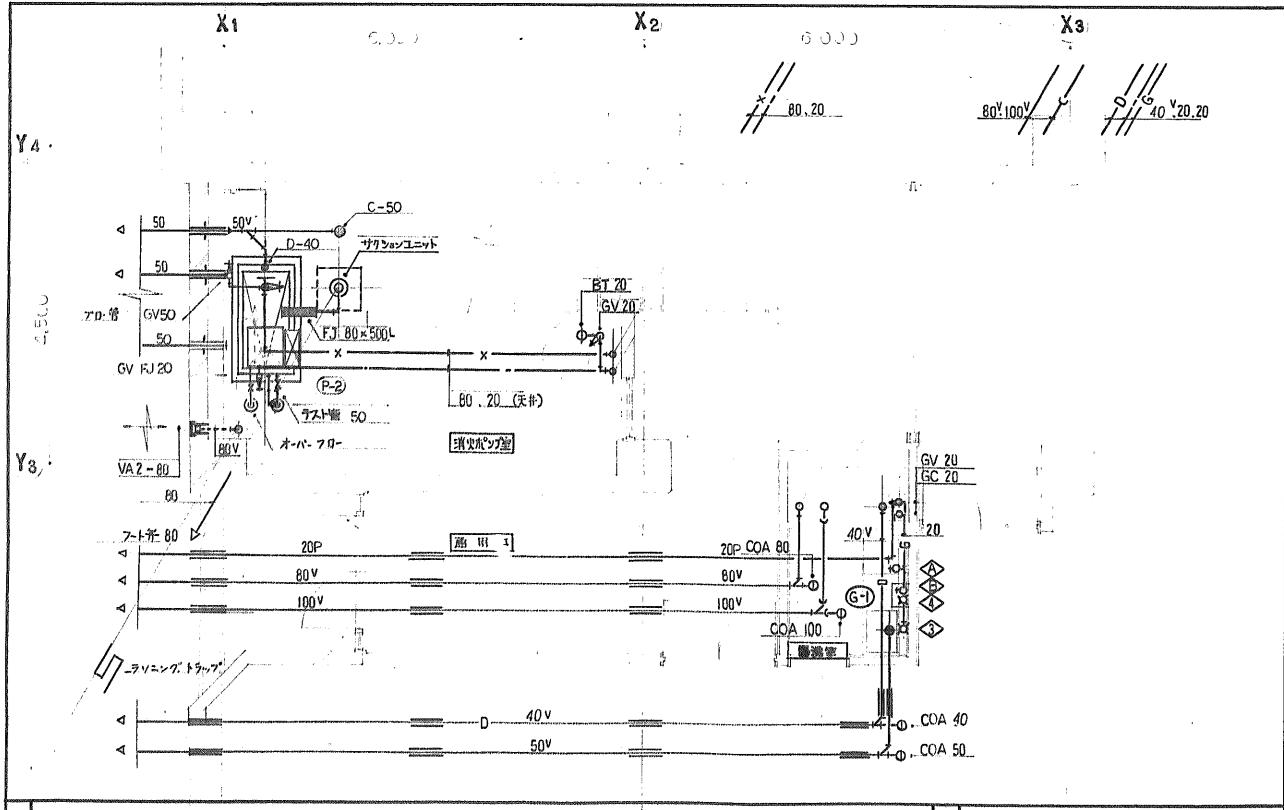
備考 1 更衣室上りの配管は GP(自)を共用する。

名称 1 階・水飲・シャワー室廻り詳細図  
縮尺 1:50 番号 D-1



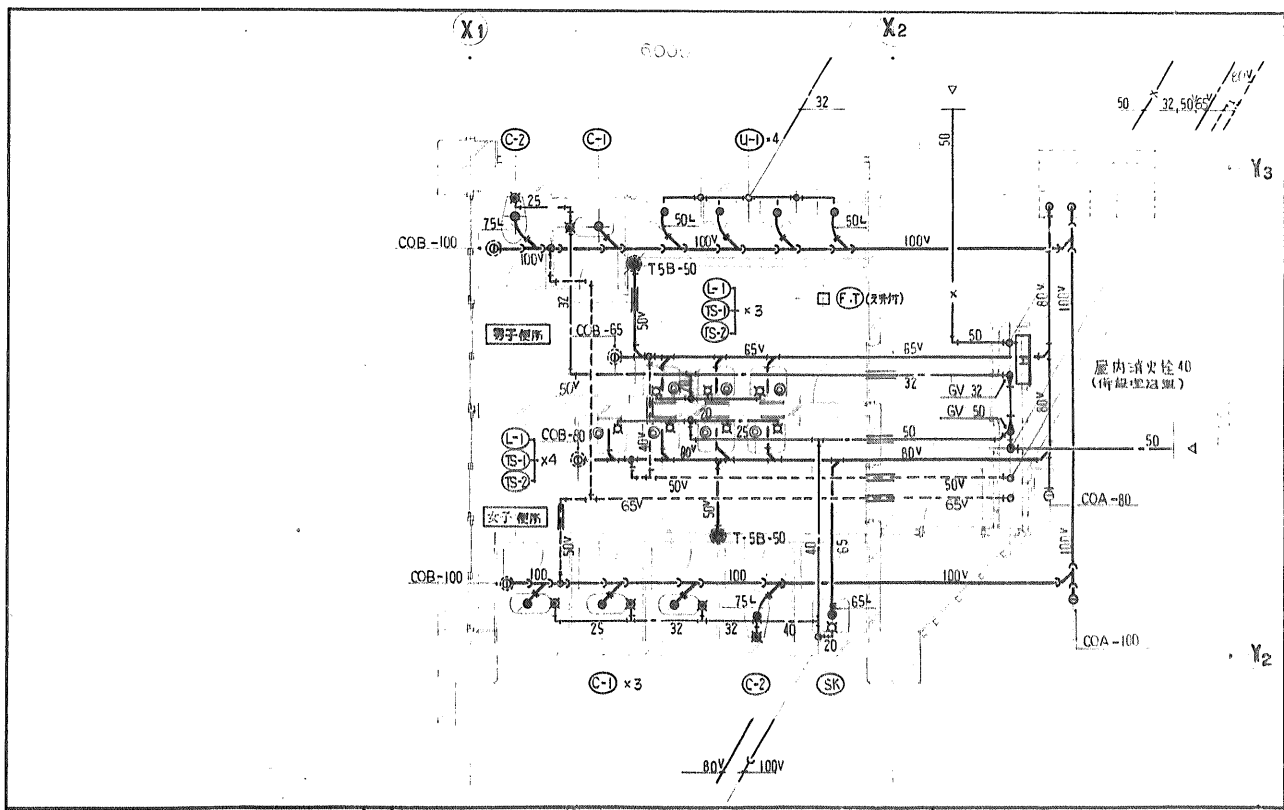
備考

名称 1 階 便所廻り詳細図  
縮尺 1:50 番号 D-3



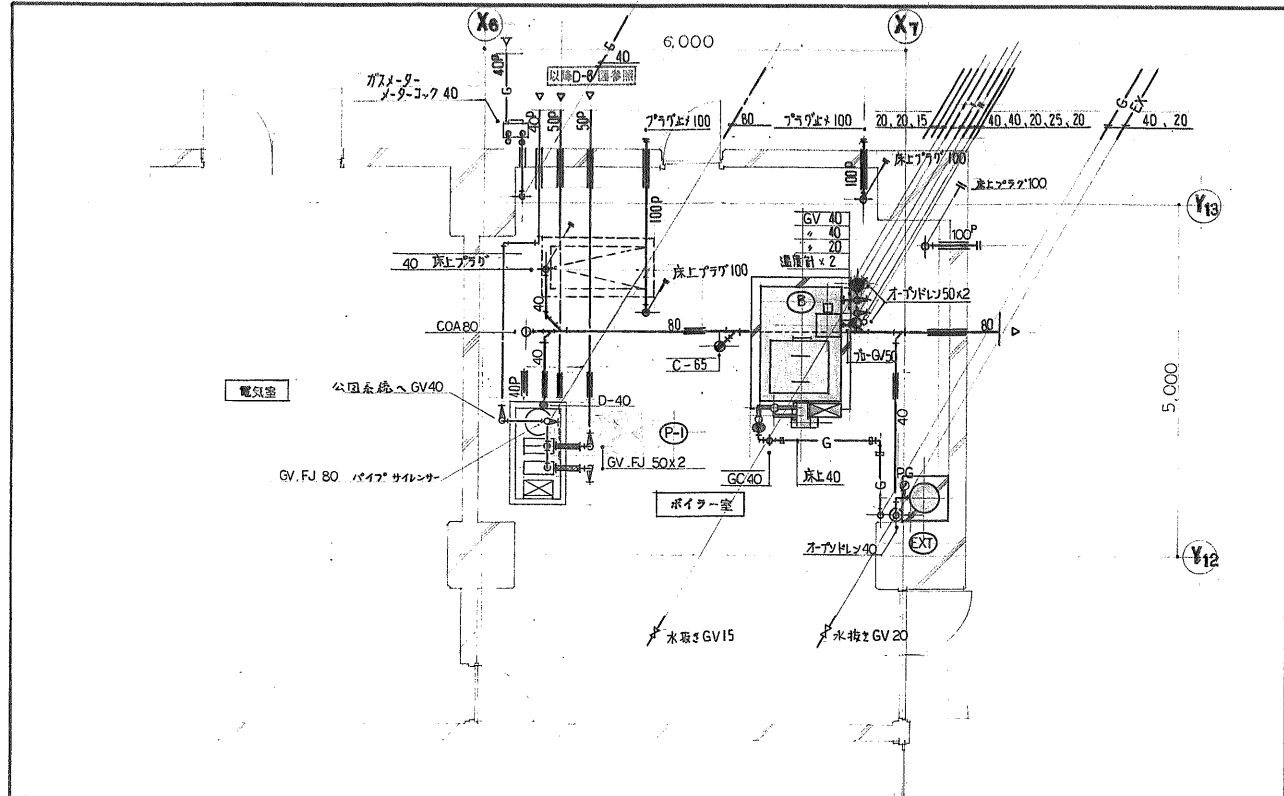
備考

名称 1 階 消火ポンプ室・湯浴室 詳細図  
縮尺 1:50 番号 D-2



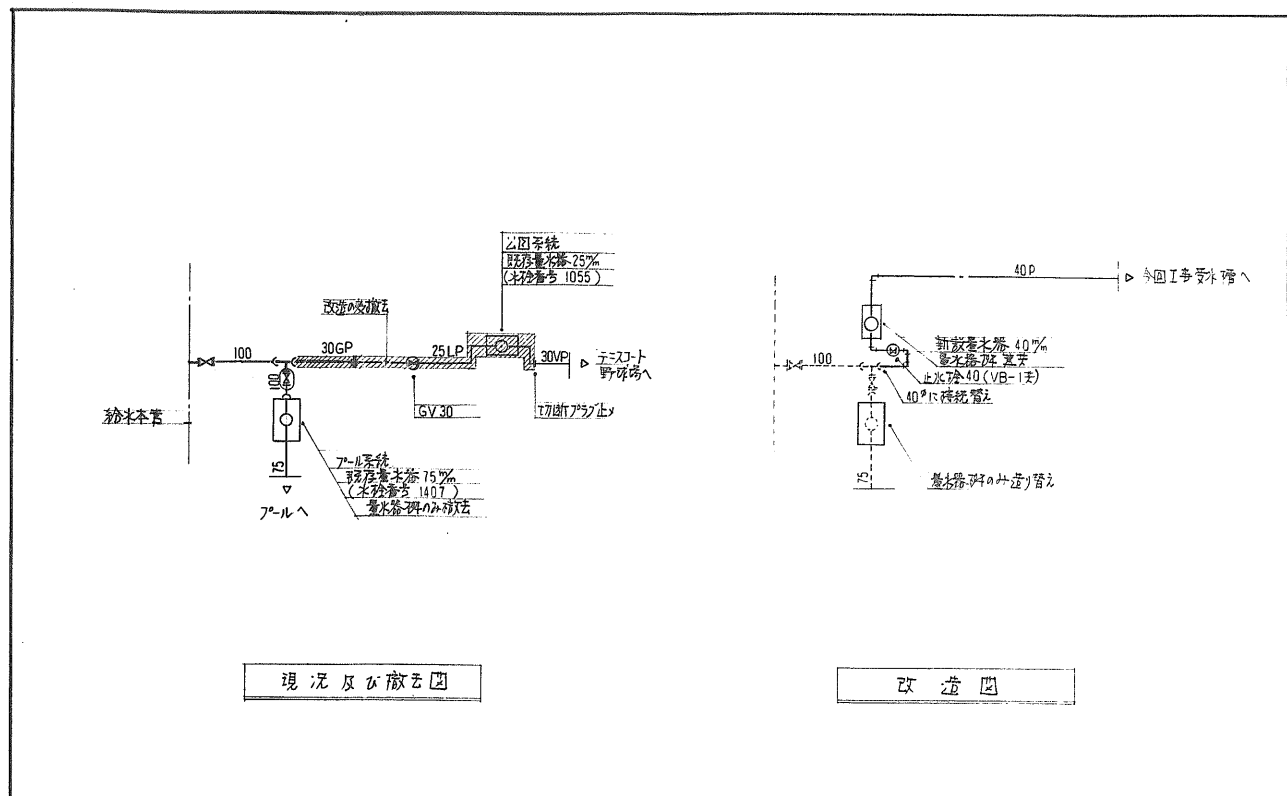
備考

名称 2 階 便所廻り詳細図  
縮尺 1:50 番号 D-4

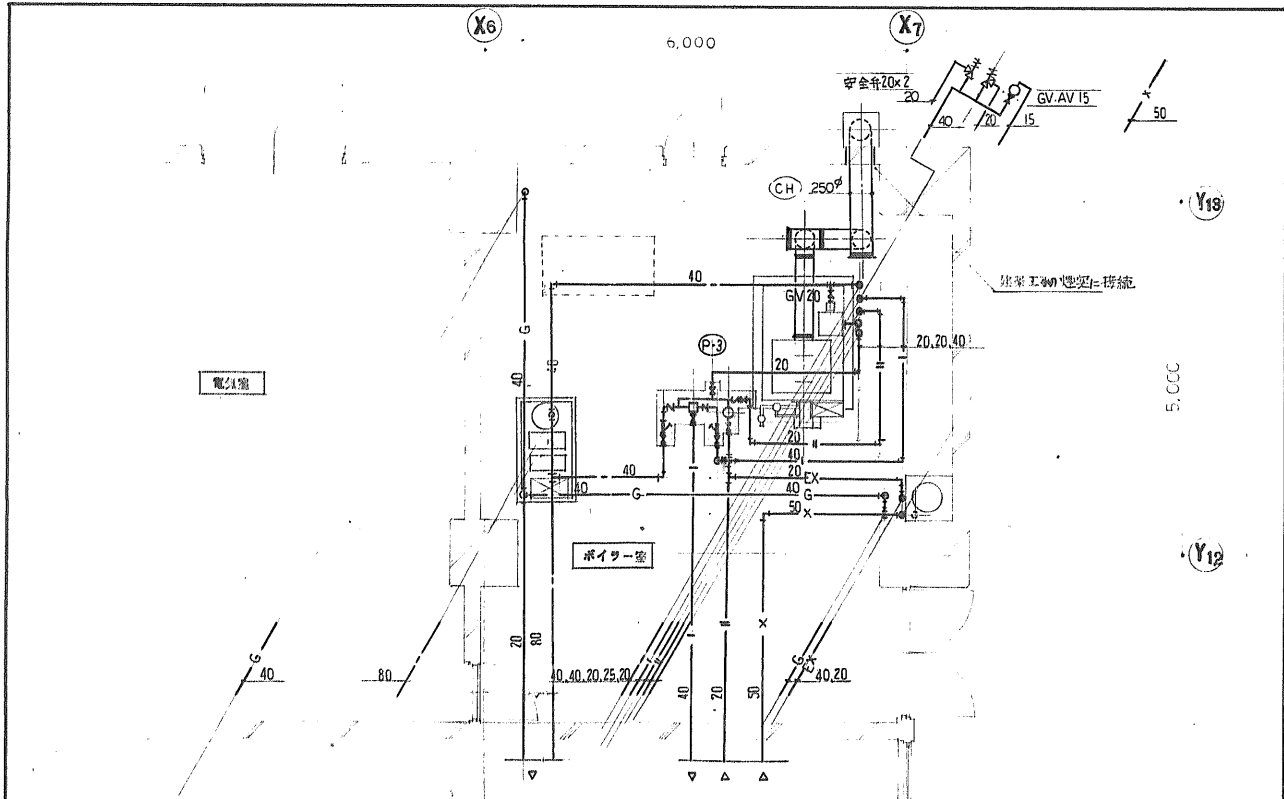


備考 1. ボイラーフロア、ボイラー室は鋼管を使用する

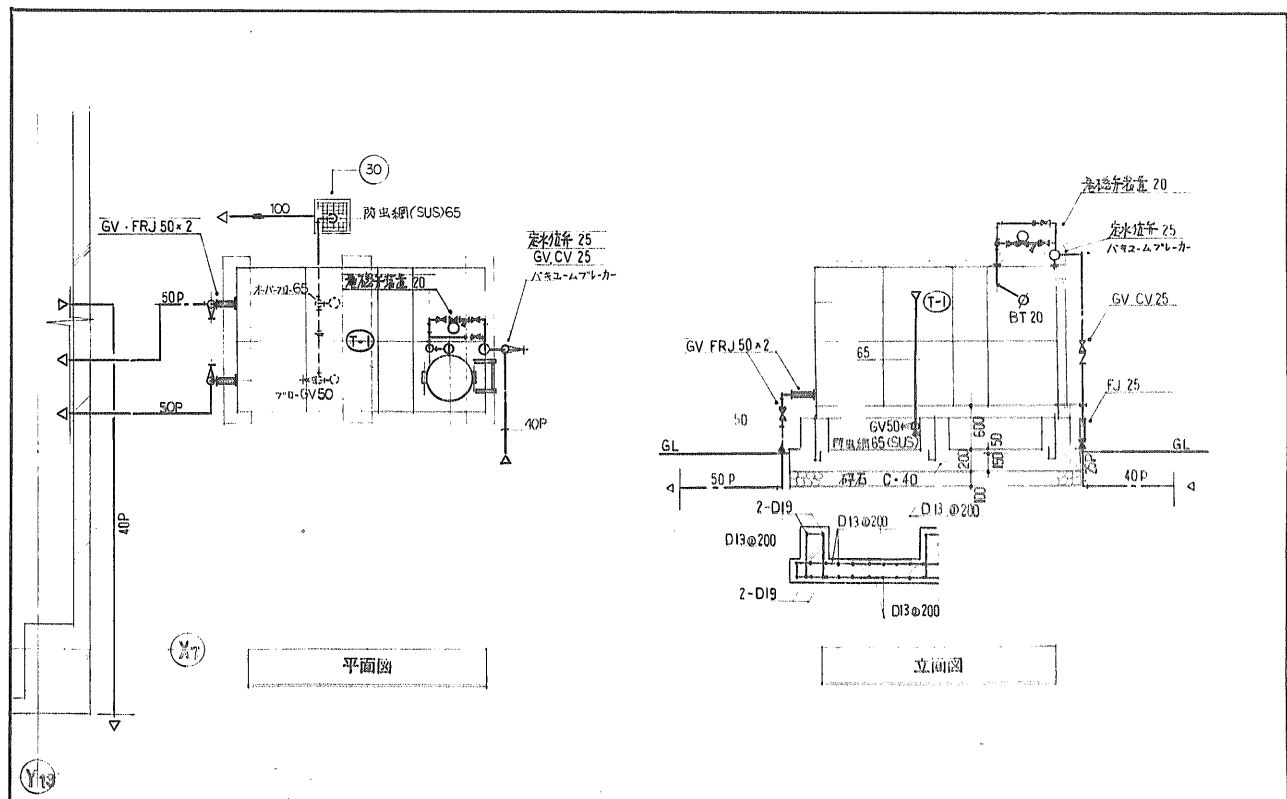
名称 ボイラー室配管(左)詳細図  
縮尺 1:50 番号 D-5



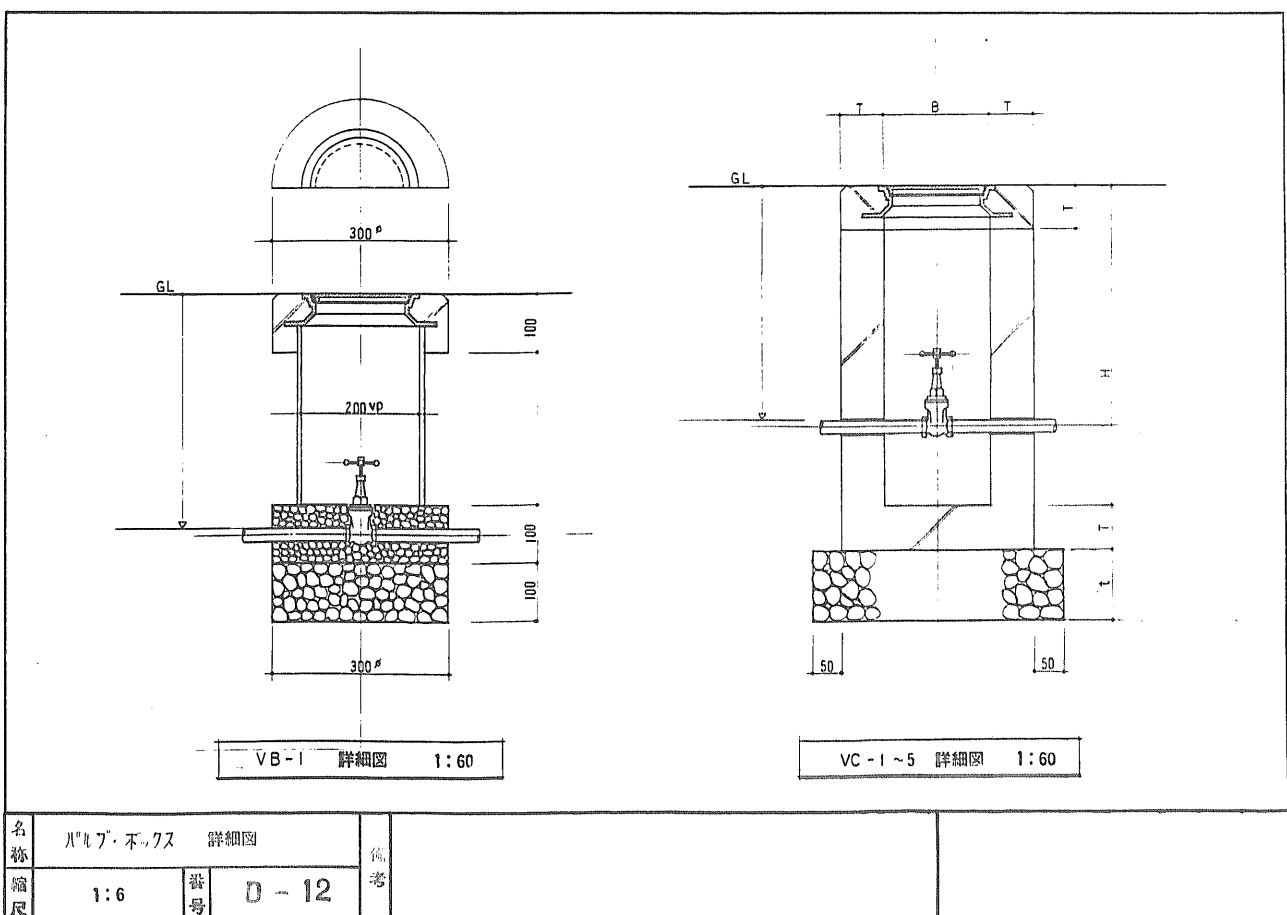
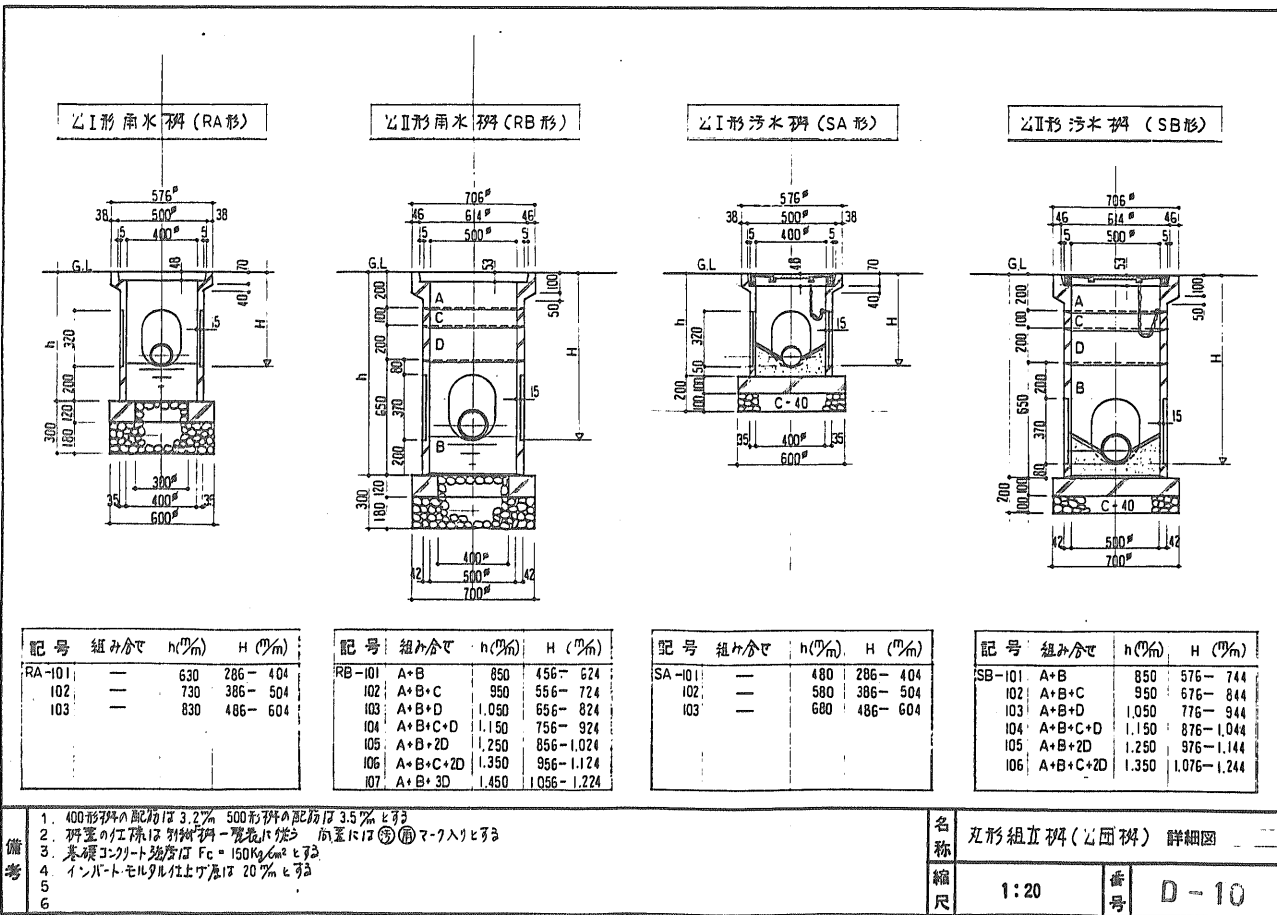
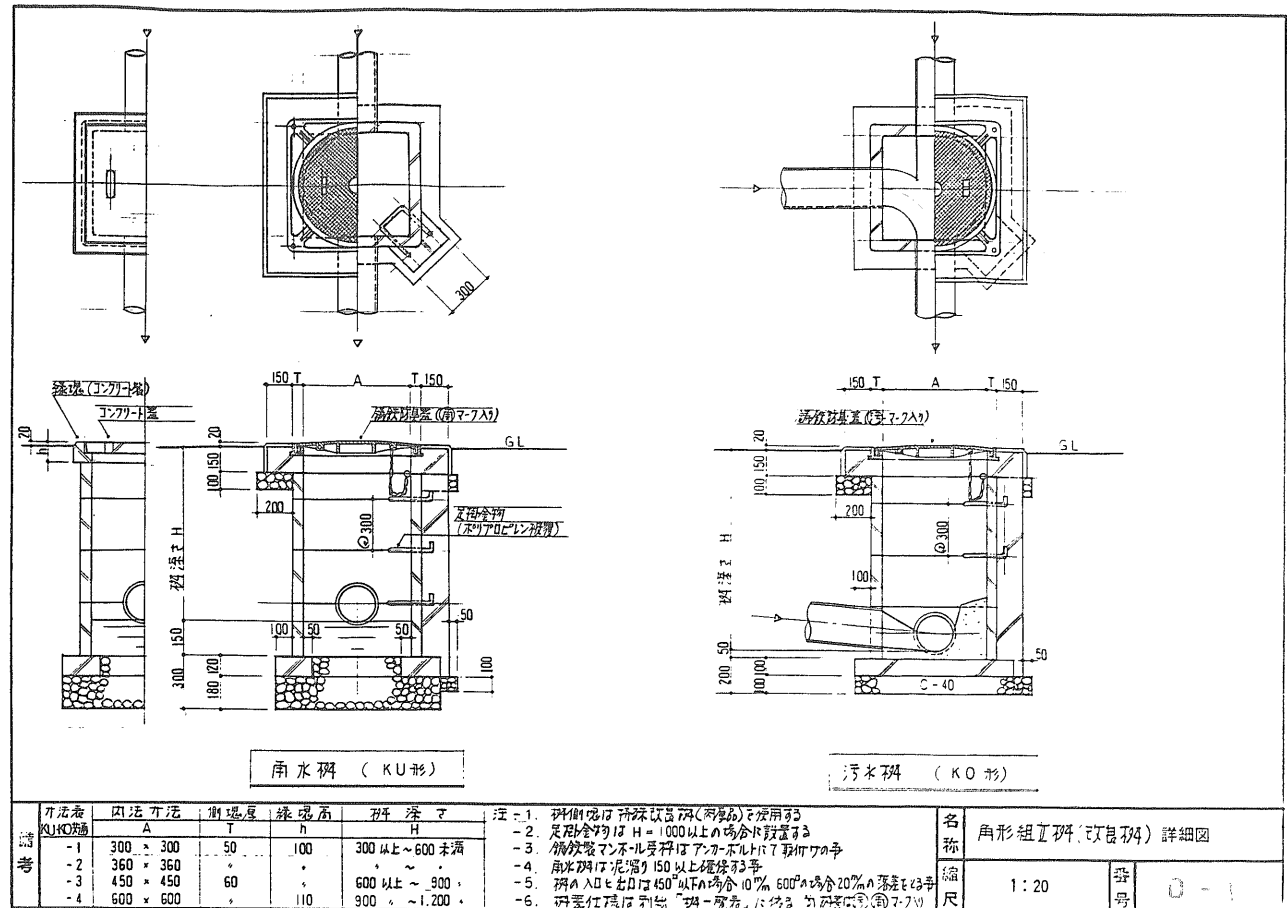
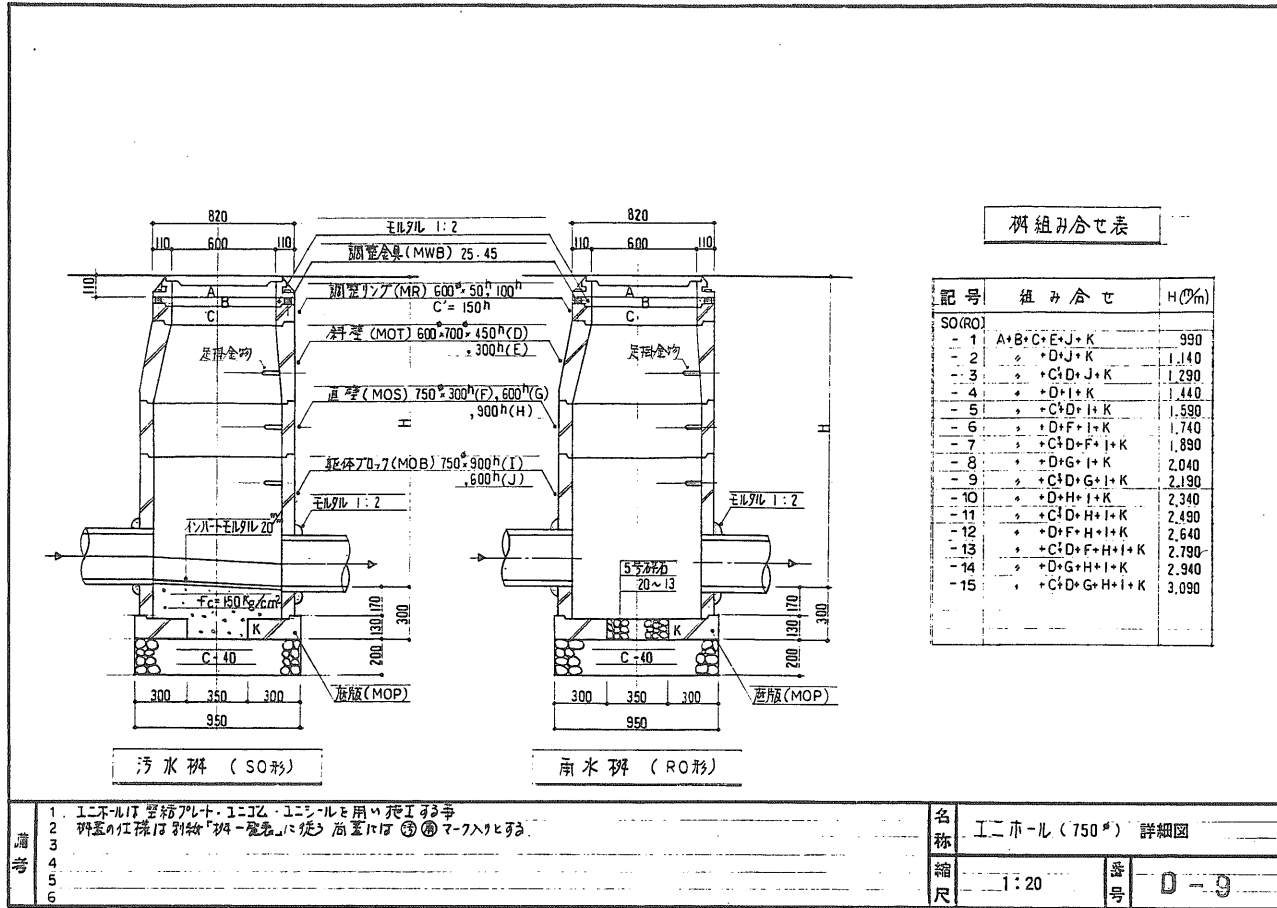
備考 絵本引込改造要領図  
縮尺 NO SCALE 番号 D-7



備考 名称 ボイラー室配管(天井)詳細図  
縮尺 1:50 番号 D-6

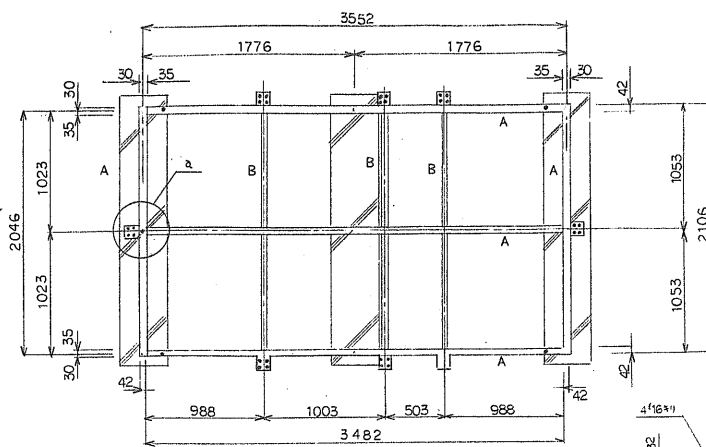
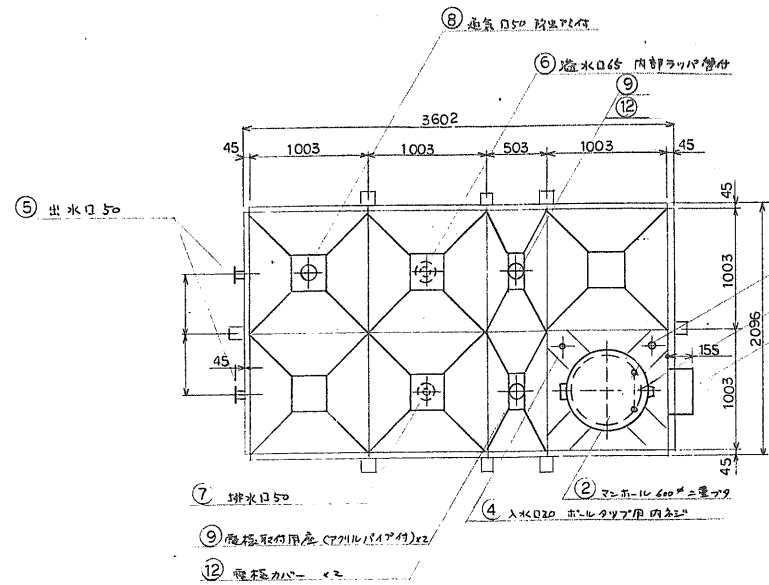


備考 名称 受水槽廻り配管詳細図  
縮尺 1:50 番号 D-8  
1. 水量タンクは鋼管で全7SGP-VBとする

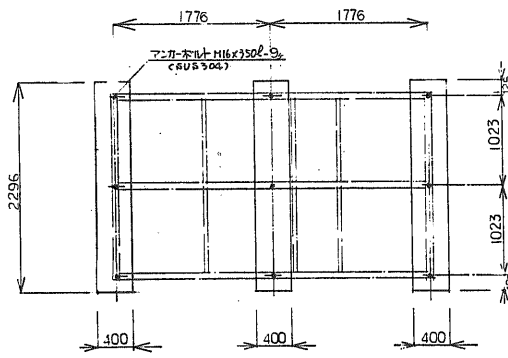
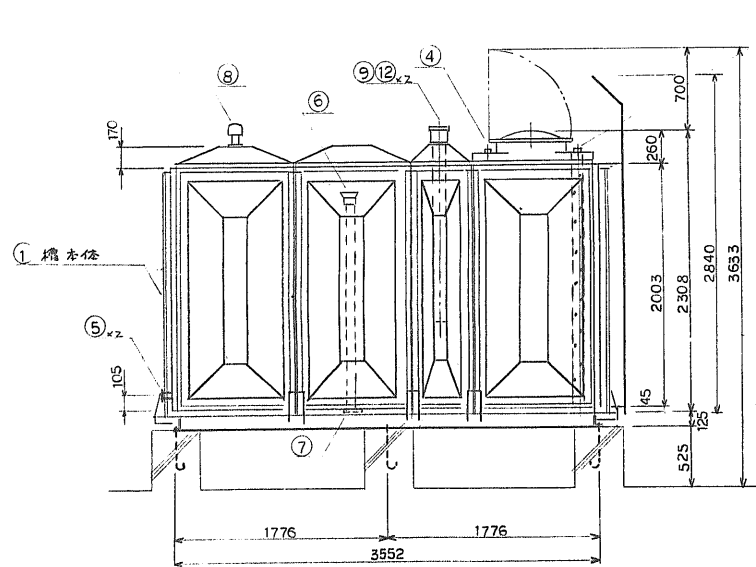
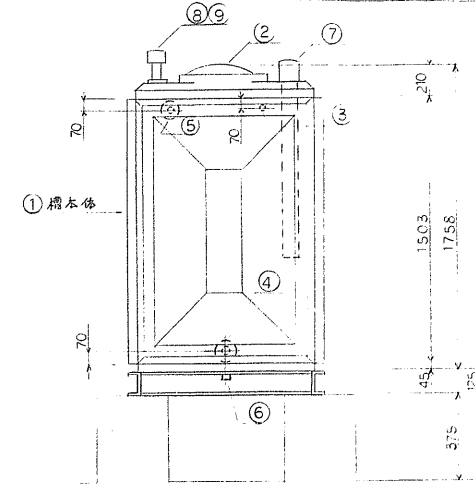
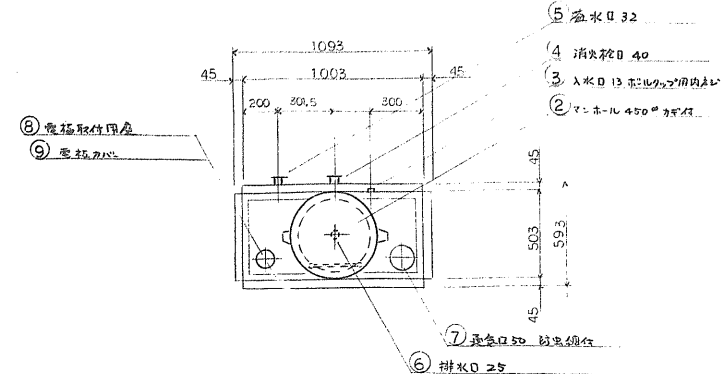




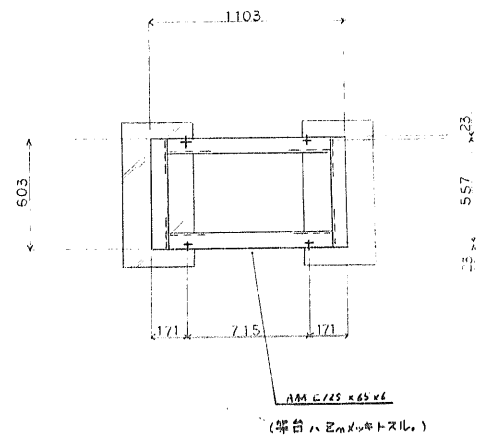




架台図 SCAL 1/30  
(架台ハ Zmメッキトスル。)

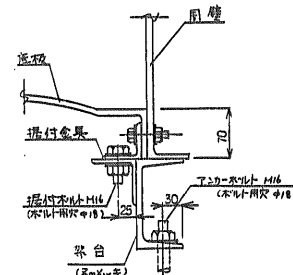


アンカーボルト位置図 SCAL 1/40

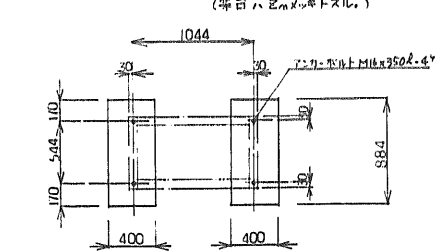


受水槽	精製構造) 14 M <sup>3</sup>
2000 x 3500 x 2000"	SCAL 1/30
耐震等級 KH-2/3 4	1034 t4

仕様	
1	タンク外観色ハ、アイボリートスル。(22セル Z.5 Y 9/2)
2	パネル締結用ボルトハ SUS 304品トスル。(後詳細ハ エコパインボルト)
3	マンホールハ FRP製子 検査具取付可能トスル。(取リハズ) 兼用型)
4	( ) 寸法ハ、タンク外寸法ヲ示ス。
5	架台ハ Zmメッキトスル。



据付金具取付詳細図



消防用給水用 精製構造 0.75 M <sup>3</sup>
500 x 1000 x 1500"
耐震等級 KH-2/3 4

# 電気設備工事特記仕様書

工事名称 愛川町総合体育館建設工事(外構)  
 工事場所 神奈川県愛甲郡愛川町中津 校台 4043番地  
 建築概要 体育館建設工事に伴う外構外灯設備  
 工事種別

1. 外構外灯幹線設備工事 2. 外灯設備工事 3. 既存撤去工事  
~~1. 電力引込及受変電設備工事~~ ~~4. 電話配管設備工事~~  
~~2. 幹線動力設備工事~~ ~~5. 放送、時計、インターホン、テレビ共聴設備工事~~  
~~3. 電灯コンセント設備工事~~ ~~6. 火災報知設備工事~~

1. 工事区分  
~~1. 各電動機、換気扇の設置は空調及衛生設備工事とし、電源の継ぎ込み及接地工事は本工事とする。~~  
~~2. 各種電極棒及ソケットは本工事とする。但し、高圧水槽の電極用ソケットは衛生設備とする。~~  
~~3. 水中ポンプのケーブルは空調及衛生設備工事とし、通線は本工事とする。~~  
~~4. 埋込器具の天井切込、補強は本工事とする。点検口は本工事とする。キュービクル基礎は本工事とする。~~

1. 管理棟側 浄化槽撤去に伴う電気配線の撤去工事は本工事とする。  
 2. 外構工事範囲内に於ける 不要な電気施設の撤去は建築工事に於て行う。

2. 工事基準  
 本工事は本記事及本図面以外に電気設備技術基準、電力会社内線規定、建築基準法、消防法その他関連諸法規最新版に準拠して施工する。
3. 手続  
 本工事に関連する官公庁及電力会社、電々公社等の手続一切は請負者が代行し、これに要する費用は請負者が負担する。又、電力、電話の引込位置及方法を夫々の供給者と十分な協議を行うこと。尚、打合せの結果本図面と相違しても軽微なる変更については 工事費の増減はしない。
4. 別途工事との協力  
 請負者は、併行して行なわれる建築工事、空調工事、給排水工事、その他の工事の進捗に伴い、本工事との施工上の取合い、仮施設の使用等に関して当該工事関係者と密接な連絡をとり、これらに支障のないよう万全の準備をしなければならない。又、工事進行中に此等に関して、工事監理者より指示を受けた場合は、異議なく直ちに実施し、常に協力して、これら各工事の進捗と完全な施行に努め、工事間の紛争を未然に防ぐ事。本工事の施工に当り、建物の主体コンクリートを研る場合は、工事監理者の承認を得る事。この場合の破損個所の補修費用は請負者の負担とする。
5. 軽微なる変更  
 設計図上不明確な点及取付位置、仕様等の軽微なる変更は、工事監理者の指示に従い、異議なく誠意をもって協力する事。この場合に生ずる費用は、工事請負額の範囲内に於て処理する事。
6. 工事計画書  
 請負者は、工事に先立ち工事計画書(工程表、代人届、下請業者一覧表、主要材料製造業者一覧表)を提出すること。
7. 材料  
 本工事に使用する材料は全て新品とし、工事監理者の検査に合格したものでなければならない。不合格品は直ちに返品又は場外に搬出する。主要材料業者は指定業者より選定の上、工事監理者の承認を得る事。下記項目に関しては、工事監理者立会のもとに工場に於て、所定の試験を行い、据付後総合試験を行う。尚、これに要する費用は請負者の負担とする。  
 1. 盤類 ~~2. 発電機~~ ~~3. 非常電源装置~~ 4. 照明器具 ~~5. 火災報知機~~
8. 施工図及製作図の提出及承認  
 請負者は、工事に先立ち施工図及各機器の製作図を提出し、工事監理者の承認後に施工及製作する事。
9. 工程写真、工事日報及周報の提出  
 請負者は、工事進捗に伴い、重要個所の工事写真を撮影し、工事監理者に提出する事。
10. 試験  
 請負者は、工事の進捗に伴い、各種試験を行い、試験成績表を工事監理者に提出する事。

11. 中間及竣工検査  
 請負者は、中間検査願及竣工検査願を工事監理者に提出し、検査を受けなければならない。検査により生じた手直し箇所は速かに手直し工程表を工事監理者に提出し、手直し終了後再検査を受けるものとする。
12. 引渡し  
 請負者は、工事完成時に、竣工図、官公庁及電力会社、電々公社等手続書、工程写真綴、試験成績表綴等を各2部提出する事。
13. 保証  
 本工事の実施に当り、施工担当の専門業者としての善意の注意管理又は努力を怠り、そのために事故・損害を生じた場合。当該業者はそれを賠償しなければならない。本工事の保証期限は契約書によるものとする。
14. その他  
 本設計図及仕様書は、工事の概要を示すものである故、図面及仕様書に明記なき事項と云えども、技術上及外見上等に於て、当然必要と思われるものについては、工事監理者と充分なる打合せを行い指示に従うものとする。尚、本工事に従事させる請負者側の現場主任及び係員は、工事経験が充分あり、且つ人格技術共にそれぞれの立場に適合した資格をもつもの工事監理者の承認する人物とする。

指定主要材料業者一覧表

1. 電線類 及 ケーブル	日工電線	古河電線	住友電線	昭和電線	三和電線
2. 電線管 及 可とう導線管	日本パイク	松下電工	東芝電材		
3. 同上附属品	全エムカー				
4. 盤類	三菱電機	宇野電機	住友電機	東芝電材	松下電工
5. 照明器具	東芝電材	岩崎電気	松下電工	日工照明	三菱電機
6. 配線器具					
7. 放送機器					
8. 時計					
9. インターホン					
10. テレビ共聴機器					
11. 火災報知機					

本工事に使用する機器材料は、全て新品とし、電気用品取締規則、日本工業規格、その他関連規格に適合するものとし、主要材料は上記指定メーカーの中より選択する。尚上記メーカーの他、同等メーカーの機器材料を係員が認めれば良い。

MEMO

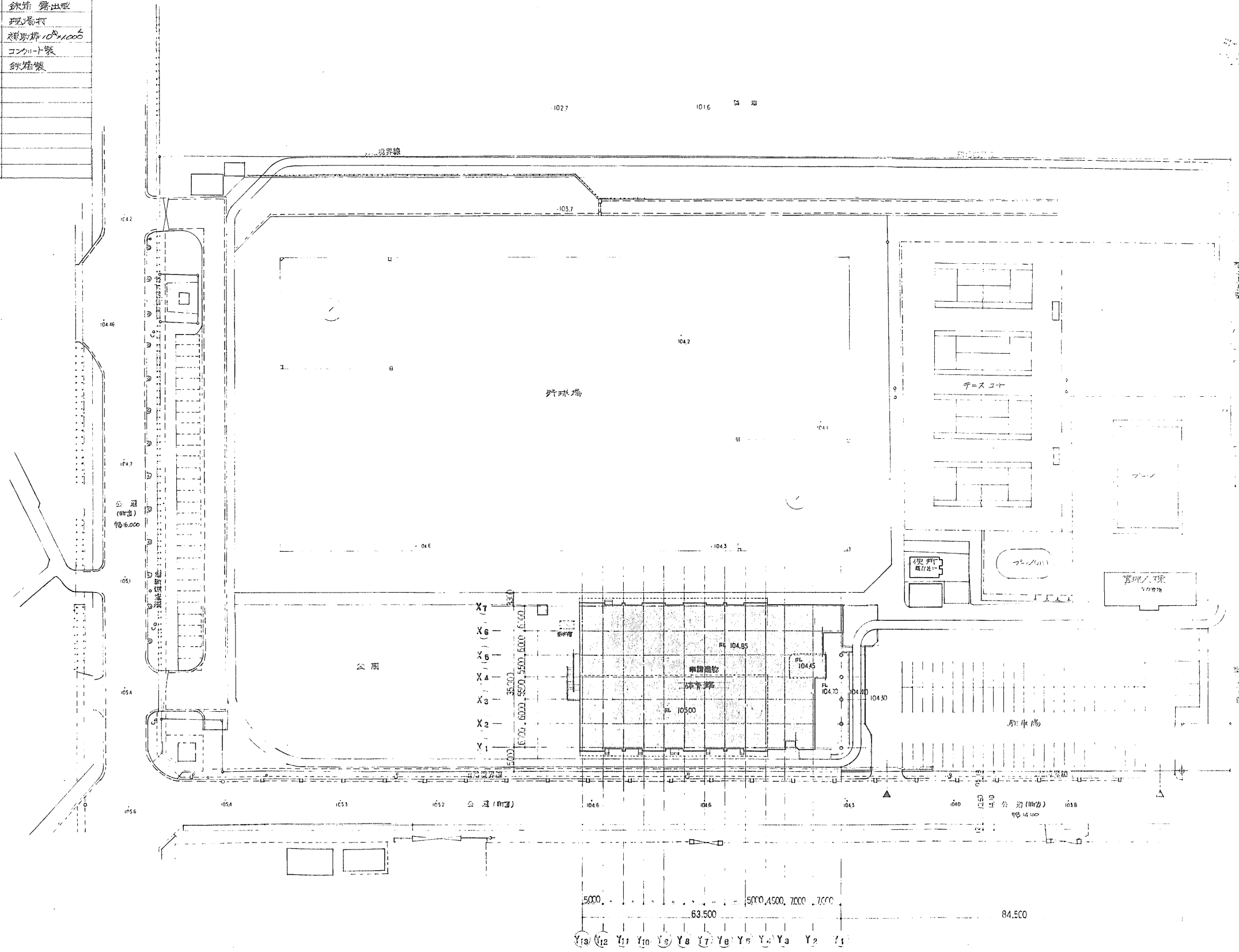
承認 調査 設計 設計年月日 全業 17 NO 14

工事名・ 愛川町総合体育館建設工事(外構) 工事  
 図面名・ 電気設備工事特記仕様書

一級建築士事務所 株式会社 **日比野設計**  
 神奈川県知事登録 2017号  
 一級建築士 第52210号 日比野 満

凡 例

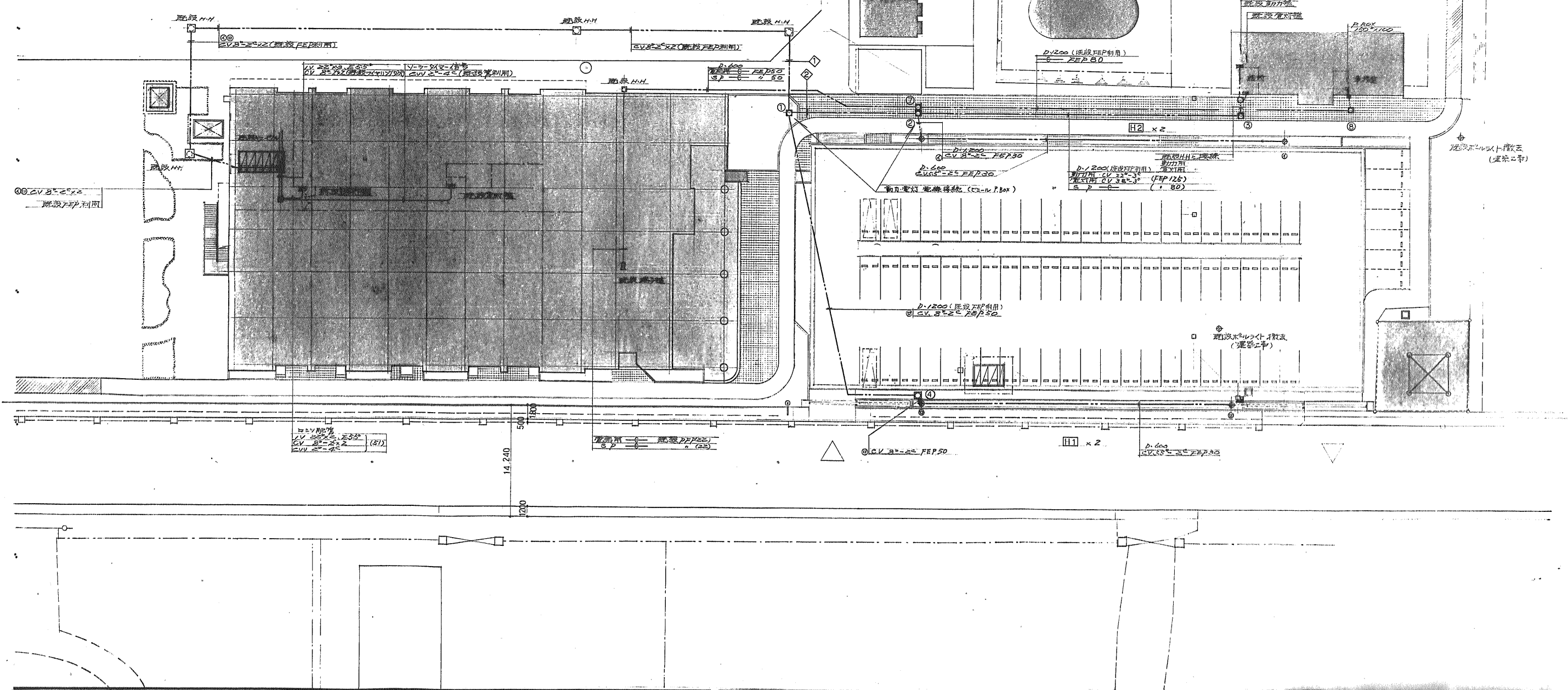
記号	名称	備考
□	外気機	鉄筋露出型
○	ハンドホールド	理髪機
↓E3	接地極 牙埋	埋設深 1000
◆	管筋埋設機	コンクリート製
⊠	プレボックス	鉄筋製
◇	ボルト	



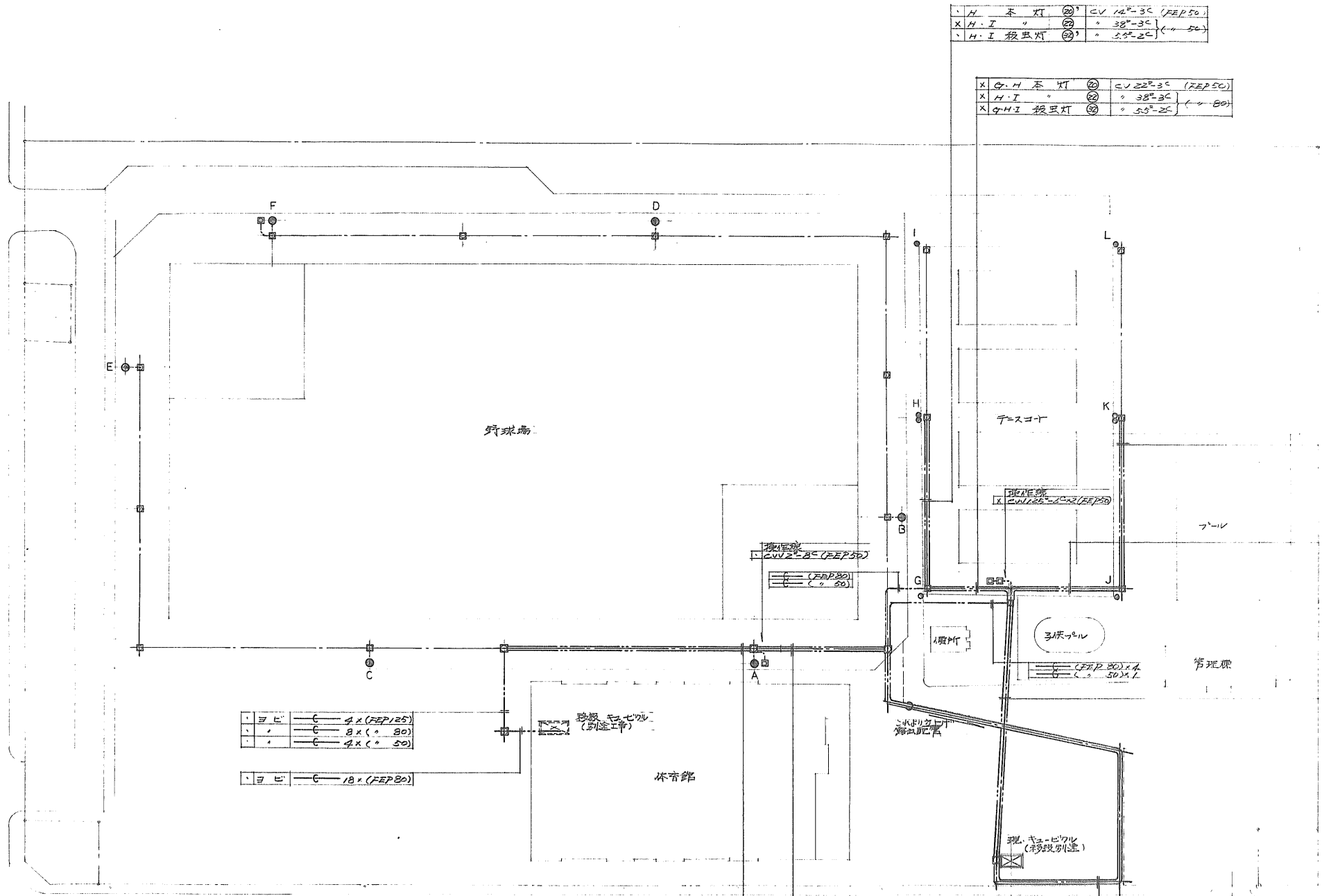
電気設備工事概要

- 1 配線 設備工事**  
 体育館内電気室に外灯用電源を配線し、照明用電源を配線し、  
 ビル用電源を配線する。又外灯の自動的消滅  
 方式の信号線として、配線用電源、V-ラスタシステムの信号を  
 受ける。
- 2 外灯 設備工事**  
 駐車場側にポール・ライト、公園側に柱形灯を、地中管  
 路配線にて外灯より配線する。尚、図示のごとく部分的  
 に配線管路のヨビ管と利用して配線する。又管理棟の  
 動力及び配線用電源線と、ヨビ管路とを併設する。  
 3
- 3 電気 設備 設備工事**  
 管理棟の電気室配管と、体育館内端子箱より管理棟迄の  
 管路を配線する。又、管理棟詰所より車務室迄の配線管路  
 を、図示のごとく部分的に配線管と利用して体育館  
 車務室から管理棟車務室迄のルートを作る。
- 4 配線 撤去工事**  
 1. 配線/電柱及び引込管等各種の撤去。(建築工事)  
 2. 管理棟動力用二次側配線(掛形ケーブル)及び電柱用二次  
 側配線(中心ケーブル)の撤去。(電気工事)  
 3. ポール・ライト撤去(駐車場側 2灯、公園側 1灯)  
 尚、配線用引込管、ポール・ライト基礎ブロック等は建築工事  
 にて撤去する。(建築工事)

	◇	◇
動力用 電灯用	CV 8 <sup>2</sup> -3 <sup>2</sup> FEP (80) CV 22 <sup>2</sup> -3 <sup>2</sup> (80)	CV 22 <sup>2</sup> -3 <sup>2</sup> FEP (125) CV 38 <sup>2</sup> -3 <sup>2</sup> (80)
	新規電線	既設電線







△ H 本灯	②	CV 14°-3C (FEP 50)
△ H-I	②	° 38°-3C
△ H-I 投虫灯	②	° 55°-2C (← 50)

△ G-H 本灯	②	CV 22°-3C (FEP 50)
△ H-I	②	° 38°-3C
△ G-H-I 投虫灯	②	° 55°-2C (← 80)

△ K 本灯	②	CV 14°-3C (FEP 50)
△ K-L	②	° 38°-3C
△ K 投虫灯	②	° 55°-2C (← 80)
△ K-L 投虫灯	②	° 55°-2C

△ J-K 本灯	②	CV 14°-3C (FEP 50)
△ J 投虫灯	②	° 38°-3C
△ K-L 本灯	②	° 38°-3C
△ K 投虫灯	②	° 55°-2C (← 80)
△ J-K-L 投虫灯	②	° 55°-2C

△ I-M 本灯	②	CV 22°-3C (FEP 50)
△ M-I	②	° 38°-3C
△ I-M-I 投虫灯	②	° 55°-2C (← 80)
△ J-K 本灯	②	° 14°-3C (← 80)
△ J 投虫灯	②	° 38°-3C
△ K-L 本灯	②	° 38°-3C
△ K 投虫灯	②	° 55°-2C (← 80)
△ J-K-L 投虫灯	②	° 55°-2C
△ 操作棟	②	CV 125°-2x2 (FEP 50)

△ 目 E'	②	C 4x (FEP 125)
△ 目 E	②	C 8x (← 80)
△ 目 E	②	C 4x (← 50)

△ 目 E	②	C 18x (FEP 80)
-------	---	----------------

△ C 本灯	②	CV 100°-3C (FEP 125)
△ C'	②	° 100°-3C
△ E1	②	° 100°-3C (← 125)
△ E2	②	° 100°-3C
△ E 投虫灯	②	° 14°-3C
△ C-E 投虫灯	②	° 55°-2C (← 80)
△ 塔内灯	②	° 55°-2C
△ 目 E'	②	C 1x (FEP 125)
△ 目 E	②	C 8x (← 80)
△ 目 E	②	C 4x (← 50)

△ A.C 本灯	①	CV 100°-3C (FEP 125)
△ C	②	° 100°-3C
△ E1	②	° 100°-3C (← 125)
△ E2	②	° 100°-3C
△ E 投虫灯	②	° 14°-3C
△ A.C-E 投虫灯	②	° 55°-2C (← 80)
△ 塔内灯	②	° 55°-2C
△ 操作棟 A	②	CV 2°-8°x2 (FEP 50)
△ 目 E'	②	C 1x (FEP 125)
△ 目 E	②	C 8x (FEP 80)
△ 目 E	②	C 3x (← 50)

△ A.C 本灯	①	CV 100°-3C (FEP 125)
△ C	②	° 100°-3C
△ E1	②	° 100°-3C (← 125)
△ E2	②	° 100°-3C
△ E 投虫灯	②	° 14°-3C
△ A.C-E 投虫灯	②	° 55°-2C (← 80)
△ 塔内灯	②	° 55°-2C
△ B-D 本灯	②	° 100°-3C (FEP 125)
△ D	②	° 100°-3C
△ F1	②	° 100°-3C (← 125)
△ F2	②	° 100°-3C
△ E 投虫灯	②	° 8°-3C
△ B-D-F 投虫灯	②	° 55°-2C (← 80)
△ 塔内灯	②	° 55°-2C
△ 操作棟 A.F	②	CV 2°-8°x2 (FEP 50)

**野球場、テニスコート 既設設備撤去及び切廻し工事**

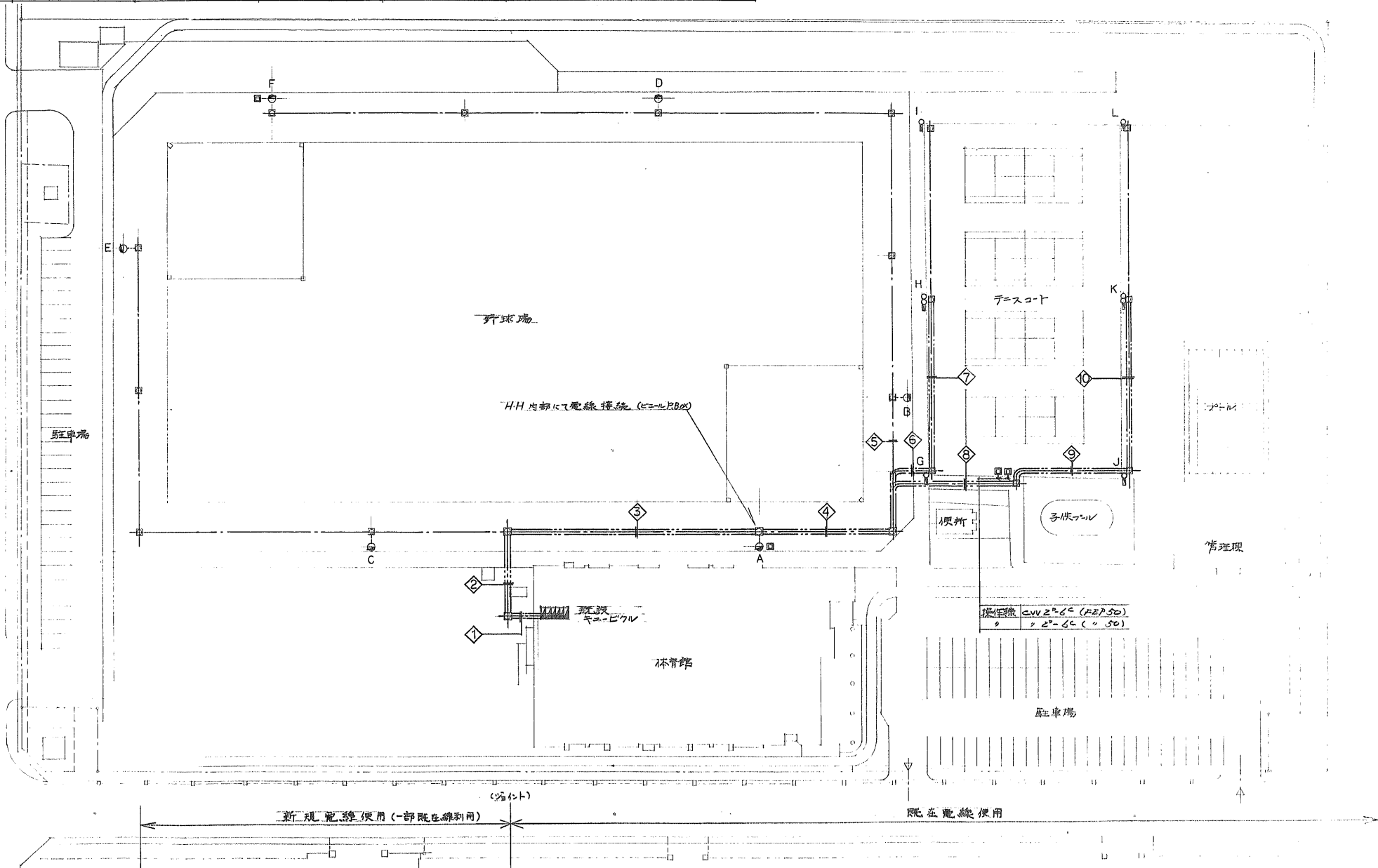
野球場  
既設屋外型キュービクルを体育館内に移設(別途工事)するに伴い、野球場内の屋外型キュービクル撤去(別途工事)及び既設設備撤去、部分的にはルート変更するものがある。

テニスコート  
上記と同様、既設ルート変更するものがあるが、既設設備(ケーブル)は全量撤去し、新たに体育館内屋外型キュービクルを移設するものがある。

本図中特記の既設設備は撤去するものとする。尚、野球場内屋外型キュービクルは全量撤去し、再利用する。又本図の頭に記入の記号は下記により撤去する。

- 既設ケーブル撤去せずのもの
- × 既設ケーブル撤去処分
- △ 既設ケーブル切廻し(←晴取外し再使用)

野球場照明系統新設工事		①	②	③	④	⑤
1. 本図及び表によるケーブルは全て新設とし、旧屋外ケーブルは圧断撤去し、体育館内ケーブルは圧断撤去の必要に応じて行う。	A-C 本 灯	①	CV 100 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	CV 100 <sup>2</sup> -3C (FEP 125)	CV 100 <sup>2</sup> -3C	
	C	②	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 100 <sup>2</sup> -3C		
	E1	③	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 125)	(FEP 125)	
	E2	④	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 100 <sup>2</sup> -3C		
2. 野球場の配管 (FEP) は既設管も利用し、既設エレベーター室等も利用する。	E 残置灯	⑤	CV 14 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	CV 14 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	CV 2 <sup>2</sup> -3C	
	A 操作盤	⑥	CV 2 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	CV 2 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	CV 2 <sup>2</sup> -3C	
	A-C/E 検出灯	⑦	CV 55 <sup>2</sup> -2C (〃 80)	CV 55 <sup>2</sup> -2C (〃 50)	CV 55 <sup>2</sup> -2C (〃 50)	
	塔内灯	⑧	〃 55 <sup>2</sup> -2C	〃 55 <sup>2</sup> -2C	〃 55 <sup>2</sup> -2C	
3. 本図及び表以外の配管は既設の管とすることが、配管の確保、調整を行う。	B-D 本 灯	⑨	CV 100 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	CV 100 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	CV 100 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	CV 100 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)
	B 残置灯	⑩	〃 8 <sup>2</sup> -3C	〃 8 <sup>2</sup> -3C	〃 8 <sup>2</sup> -3C	〃 8 <sup>2</sup> -3C
	D 本 灯	⑪	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 125)	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 125)	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 125)
	F1	⑫	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 125)	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 125)	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 125)
	F2	⑬	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 80)
	F 操作盤	⑭	CV 2 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	CV 2 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	CV 2 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	CV 2 <sup>2</sup> -3C (〃 80)
	B-D/F 検出灯	⑮	CV 55 <sup>2</sup> -2C (〃 80)	CV 55 <sup>2</sup> -2C (〃 50)	CV 55 <sup>2</sup> -2C (〃 50)	CV 55 <sup>2</sup> -2C (〃 50)
	塔内灯	⑯	〃 55 <sup>2</sup> -2C	〃 55 <sup>2</sup> -2C	〃 55 <sup>2</sup> -2C	〃 55 <sup>2</sup> -2C



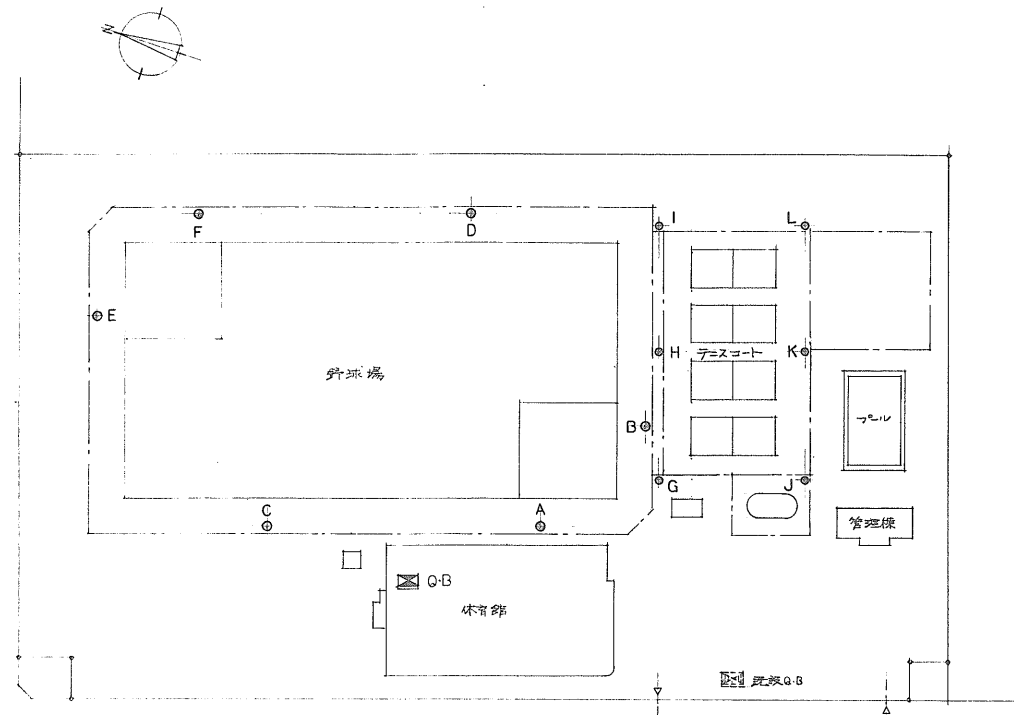
テニスコート照明系統新設工事		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
1. 本図及び表によるケーブルは全て新設とし、体育館内ケーブルは圧断撤去の必要に応じて行う。	H-I 本 灯	①	CV 100 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	CV 100 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	CV 100 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	CV 22 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	G-H 本 灯	①	CV 22 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)		
	K-L	②	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 100 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 58 <sup>2</sup> -3C	H-I	②	〃 38 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	CV 55 <sup>2</sup> -3C (FEP 50)	
			(既設電線使用)				G-H/E 検出灯	③	〃 55 <sup>2</sup> -2C (〃 50)		
2. 野球場の配管 (FEP) は全て既設管も利用し、既設エレベーター室等も利用する。	J-K 本 灯	③	CV 14 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	CV 14 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	CV 14 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	CV 14 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	J-K 本 灯	④	CV 14 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	CV 14 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)	
	J 残置灯	④	〃 8 <sup>2</sup> -3C	〃 8 <sup>2</sup> -3C	〃 8 <sup>2</sup> -3C	〃 8 <sup>2</sup> -3C	J 残置灯	⑤	〃 8 <sup>2</sup> -3C	〃 8 <sup>2</sup> -3C	CV 38 <sup>2</sup> -3C (FEP 80)
	G-H 本 灯	⑤	〃 38 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 38 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 38 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 38 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	K-L 本 灯	⑥	〃 38 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	〃 38 <sup>2</sup> -3C	
	K 残置灯	⑥	〃 8 <sup>2</sup> -3C	〃 8 <sup>2</sup> -3C	〃 8 <sup>2</sup> -3C	〃 8 <sup>2</sup> -3C	K 残置灯	⑦	〃 8 <sup>2</sup> -3C	〃 8 <sup>2</sup> -3C	
	G-H/E 検出灯	⑦	〃 55 <sup>2</sup> -2C (〃 80)	〃 55 <sup>2</sup> -2C (〃 50)	〃 55 <sup>2</sup> -2C (〃 50)	〃 55 <sup>2</sup> -2C (〃 80)	J-K/L 検出灯	⑧	〃 55 <sup>2</sup> -2C (〃 80)	〃 55 <sup>2</sup> -2C (〃 80)	
	J-K/L 操作盤	⑧	CV 2 <sup>2</sup> -3C (〃 80)	CV 2 <sup>2</sup> -3C (〃 50)	CV 2 <sup>2</sup> -3C (〃 50)	CV 2 <sup>2</sup> -3C (〃 50)	操作盤	⑨	CV 2 <sup>2</sup> -3C (〃 50)	CV 2 <sup>2</sup> -3C (〃 50)	

MEMO

承認 図章 設計 設計年月日 全案 NO 3 E-02

工事名・愛川町総合体育館建設工事(外構・電気工事)の1工事  
 図面名 (改訂版) 野球場・テニスコート照明系統新設工事 Scale 1:500

日比野設計



概要図 S 1/1000

テニスコート詳細負荷表

相、電圧	塔名	設備名称番号	ワット数(W)	最大電流(A)	11000V S.B.A	114940V S.7A	FL35°E 2.3A	FL20°W 0.27A
3φ3W 200V	A	A.C本灯 ①	CV 100 <sup>2</sup> -3C	294.4	2.4	9		
	C	C ↓	" 100 <sup>2</sup> -3C		1.3	5		
	E1	E1 ↓	" 100 <sup>2</sup> -3C	121.1	1.4	7		
	E2	E2 ↓	" 100 <sup>2</sup> -3C	104.4	1.8			
	E	E ↓	" 100 <sup>2</sup> -3C	68.7	3	4		
	E	E 特殊灯 ⑩	" 14 <sup>2</sup> -3C	17.4	3			
1φ2W 100V	A	操作線	CV 2 <sup>2</sup> -3C					
	A-C-E	殺虫灯 ⑳	CV 5.5 <sup>2</sup> -2C	6.9			1 x 3	
3φ3W 200V	B	B ↓	CV 2 <sup>2</sup> -3C	17.4	3			
	D	D ↓	" 100 <sup>2</sup> -3C	294.2	2.1	7		
	D	D ↓	" 100 <sup>2</sup> -3C	103.9	1.5	5		
	F	F1 ↓	" 100 <sup>2</sup> -3C	104.4	1.8			
	F	F2 ↓	" 100 <sup>2</sup> -3C	86.1	2	7		
	F	操作線	CV 2 <sup>2</sup> -3C					
1φ2W 100V	B-D-F	殺虫灯 ㉑	CV 5.5 <sup>2</sup> -2C	6.9			1 x 3	
	B-D-F	塔内灯 ㉒	" 5.5 <sup>2</sup> -2C	2.43				3 x 3

テニスコート詳細負荷表

相、電圧	塔名	設備名称番号	ワット数(W)	最大電流(A)	11000V S.B.A	114940V S.7A	FL35°E 2.3A
3φ3W 200V	G	G ↓	CV 33 <sup>2</sup> -3C (塔内)	34.6	4	2	
	H	H ↓	" 100 <sup>2</sup> -3C	34.6	4	2	
	I	I ↓	" 33 <sup>2</sup> -3C	17.4	4	2	
	J	J ↓	" 22 <sup>2</sup> -3C	34.6	4	2	
	J	J 特殊灯 ㉓	" 8 <sup>2</sup> -3C	17.4	3		
	K	K ↓	" 14 <sup>2</sup> -3C	17.4	3		
	K	K ↓	" 14 <sup>2</sup> -3C	17.4	3		
	K	K 特殊灯 ㉔	" 8 <sup>2</sup> -3C	17.4	3		
	L	L ↓	" 33 <sup>2</sup> -3C	34.6	4	2	
	L	L ↓	" 22 <sup>2</sup> -3C	34.6	4	2	
1φ2W 100V	G-H-I	殺虫器 ㉕	CV 5.5 <sup>2</sup> -2C	6.9			1 x 3
	J-K-L	" ㉖	" 5.5 <sup>2</sup> -2C	6.9			1 x 3

MEMO

# 昭和60年度

## 愛川町総合体育館建設工事(電気)設計図

### 図面リスト

意	匠	図	構造図	電気設備図	給排水衛生設備図
1	51	101	201 特記仕様書	301	401
2	52	102	202 外箱幹線	302	402
3	53	103	203 動力・電灯幹線 系統図	303	403
4	54	104	204 受・変電 設備図	304	404
5	55	105	205 幹線動力 設備図	305	405
6	56	106	206 電 灯 設備図	306	406
7	57	107	207 非常照明・誘導灯 設備図	307	407
8	58	108	208 コンセント 設備図	308	408
9	59	109	209 動力制御盤 結線図	309	409
10	60	110	210 分電盤・端子盤 結線図	310	410
11	61	111	211 複合型総合盤図	311	411
12	62	112	212 照明器具仕様・姿図	312	412
13	63	113	213 照明システム 操作盤図	313	413
14	64	114	214 弱電設備 系統図	314	414
15	65	115	215 弱電設備図	315	415
16	66	116	216 振動機器仕様・姿図-1	316	416
17	67	117	217 振動機器仕様・姿図-2	317	417
18	68	118	218 振動放送ブロック図・器具表	318	418
19	69	119	219 電気時計・インター仕様・姿図	319	419
20	70	120	220 自動火災報知・防煙設備 系統図	320	420
21	71	121	221 自動火災報知・防煙設備 凡例表	321	421
22	72	122	222 自動火災報知・防煙設備図	322	422
23	73	123	223 警備保障配管 設備図	323	423
24	74	124	224 非常用自警装置 設備図	324	424
25	75	125	225	325	425
26	76	126	226	326	426
27	77	127	227	327	427
28	78	128	228	328	428
29	79	129	229	329	429
30	80	130	230	330	430
31	81	131	231	331	431
32	82	132	232	332	432
33	83	133	233	333	433
34	84	134	234	334	434
35	85	135	235	335	435
36	86	136	236	336	436
37	87	137	237	337	437
38	88	138	238	338	438
39	89	139	239	339	439
40	90	140	240	340	440
41	91	141	241	341	441
42	92	142	242	342	442
43	93	143	243	343	443
44	94	144	244	344	444
45	95	145	245	345	445
46	96	146	246	346	446
47	97	147	247	347	447
48	98	148	248	348	448
49	99	149	249	349	449
50	100	150	250	350	450

特記仕様書

I. 工事概要

Table with 2 columns: 1. 工事場所 (Project Location), 2. 建物概要 (Building Overview), 3. 工事種目 (Work Items). Includes details for the building at 4043 Sakai-cho, Nagoya.

II. 工事仕様

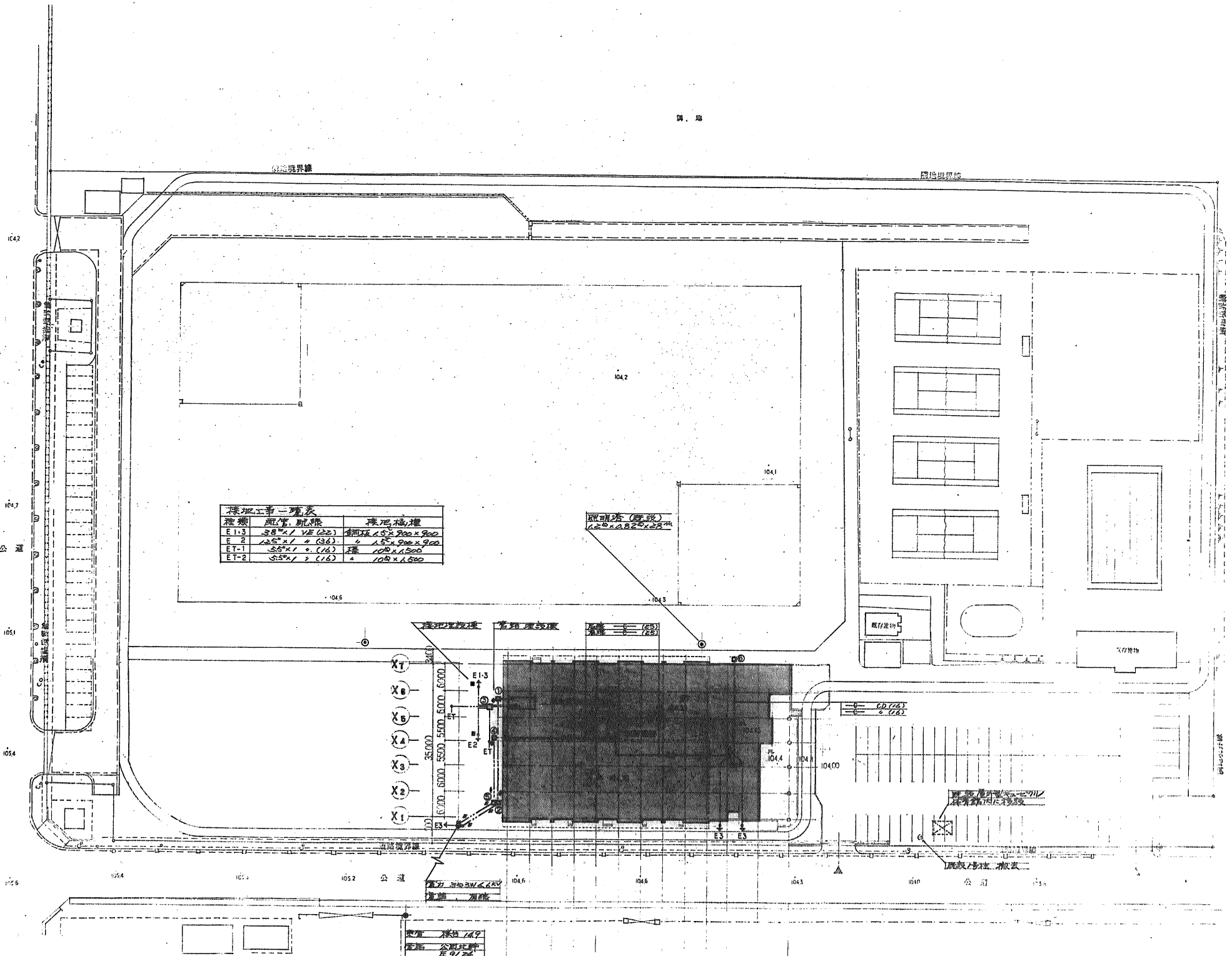
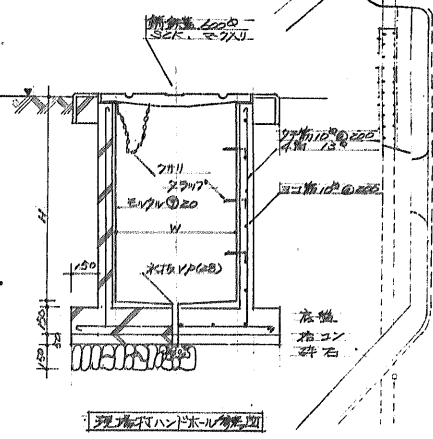
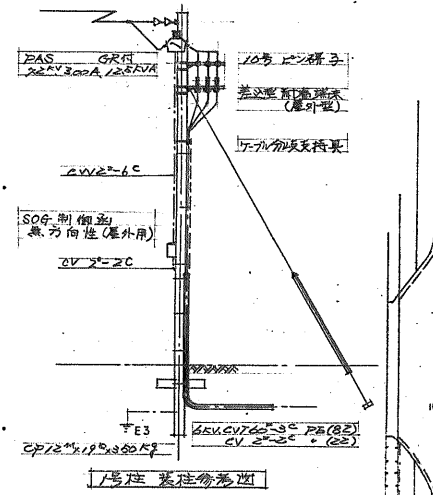
- 1. 共通仕様 (General Specifications): 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、建設大臣官庁官庁事務部監修の「電気設備工事共通仕様書」(昭和60年版)及び「電気設備工事標準図」(昭和60年版)によるほか、...
- 2. 特記仕様 (Special Specifications): 章は○印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたもの、特記事項は○印の付いたものを適用する。

Main specification table with columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Specifications). Lists requirements for electrical equipment, materials, and installation methods.

Table with 2 columns: 1. 電気方式 (Electrical System), 2. 主送断装置 (Main Disconnector), 3. 設備 (Equipment), 4. 配電盤 (Distribution Panel), 5. その他 (Others). Details technical specifications for power systems and equipment.

Table with 2 columns: 1. 受電機等 (Receiving Equipment), 2. 自動火災警報装置 (Automatic Fire Alarm), 3. 避雷設備 (Lightning Protection), 4. 引込 (Introduction), 5. 屋外通信設備 (Outdoor Communication Equipment), 6. 接地 (Grounding). Details specifications for safety and communication equipment.

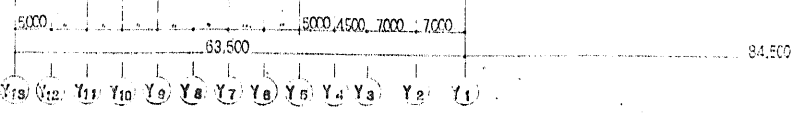
Table with 2 columns: 1. 施工事との取合い (Integration with Construction Work), 2. 他 (Others). Lists various electrical components and their integration with building construction.



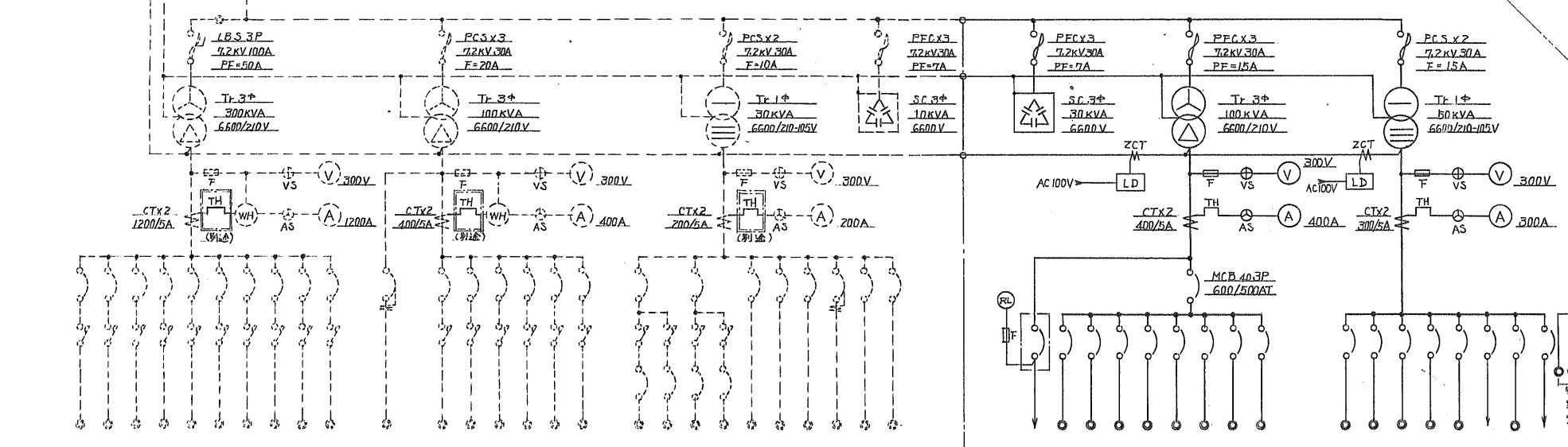
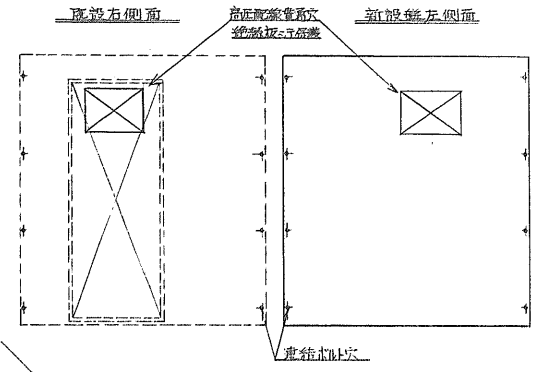
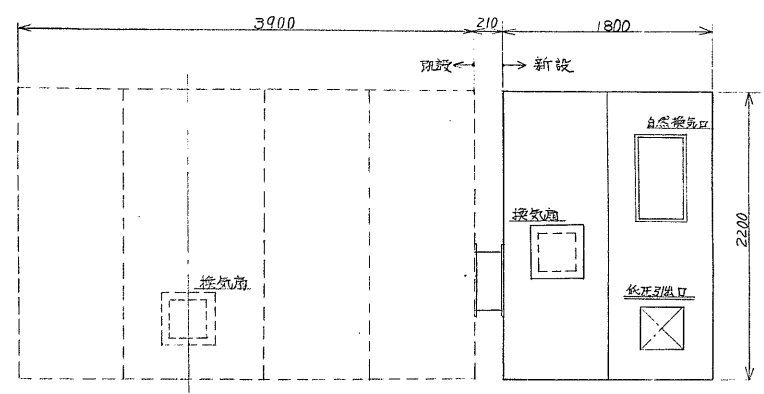
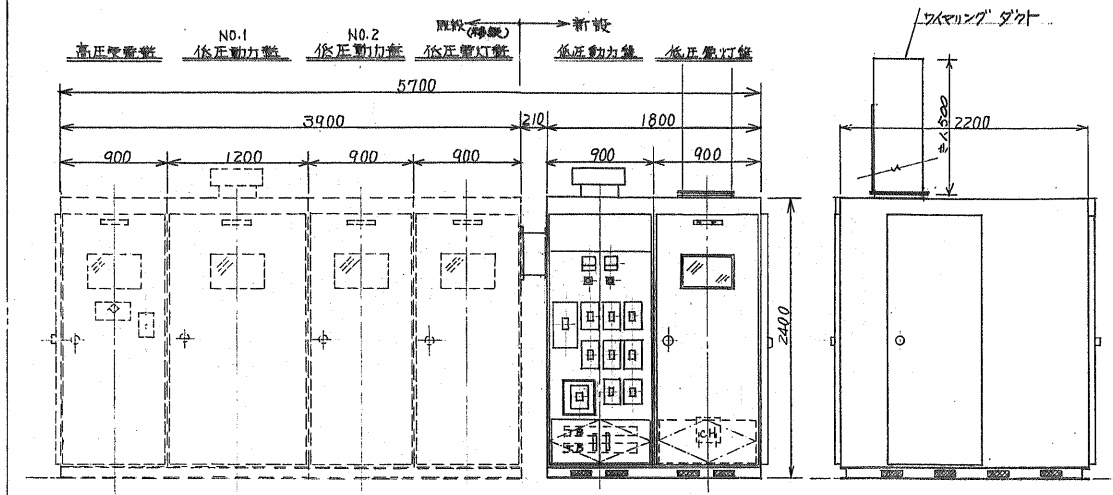
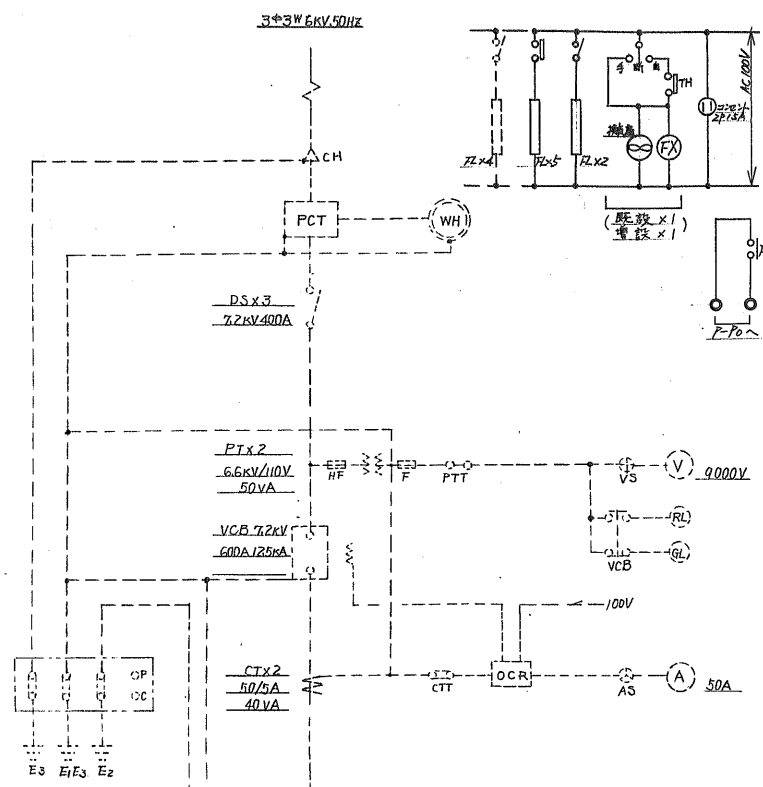
柱種	筋径	筋種	柱径
E1-3	58	VE (22)	鋼筋 150 x 900 x 900
E2	42	VE + (24)	150 x 900 x 900
ET-1	58	VE + (16)	100 x 1500
ET-2	58	VE + (16)	100 x 1500

屋外鉄筋管路一覽表	1号柱	2号柱
筋径引込	45UCV160-SS PE (22)	45UCV160-SS PE (22)
GR埋戻	CV 2-2C + (22)	CV 2-2C + (22)
底圧埋戻	18 x VE (22)	18 x VE (22)
筋径埋戻	1 x PE (22)	1 x PE (22)
筋径埋戻	1 x PE (22)	1 x PE (22)

ハンドヘル一覽表 (現場打込式)	筋径	筋種
①	900 x 900 x 1500	S2K
②	600 x 600 x 900	S2K
③	別途工事	別途
④	別途工事	別途







種別	負荷名	設備名	容量	NO.
照明	照明器具	照明器具	3P 225/225A	MCB1
"	"	"	"	MCB2
"	"	"	3P 100/100A	MCB3
"	"	"	"	MCB4
"	"	"	"	MCB5
"	"	"	3P 100/150A	MCB6
"	"	"	"	MCB7
"	"	"	3P 100/200A	MCB8
"	"	"	"	MCB9
"	"	"	"	MCB10

種別	負荷名	設備名	容量	NO.
照明	照明器具	照明器具	3P 100/150A	ELB2
"	"	"	"	MCB20
"	"	"	"	MCB21
"	"	"	"	MCB22
"	"	"	3P 50/200A	MCB23
"	"	"	"	MCB24
"	"	"	"	MCB25

種別	負荷名	設備名	容量	NO.
照明	照明器具	照明器具	3P 50/200A	MCB26
"	"	"	"	MCB27
"	"	"	"	MCB28
"	"	"	"	MCB29
"	"	"	"	MCB30
"	"	"	"	MCB31

種別	負荷名	設備名	容量	NO.
照明	照明器具	照明器具	3P 100/150A	MCB41
"	"	"	"	MCB42
"	"	"	"	MCB43
"	"	"	"	MCB44
"	"	"	"	MCB45
"	"	"	"	MCB46
"	"	"	"	MCB47

種別	負荷名	設備名	容量	NO.
照明	照明器具	照明器具	3P 225/150A	MCB60
"	"	"	"	MCB61
"	"	"	"	MCB62
"	"	"	"	MCB63
"	"	"	"	MCB64
"	"	"	"	MCB65
"	"	"	"	MCB66
"	"	"	"	MCB67

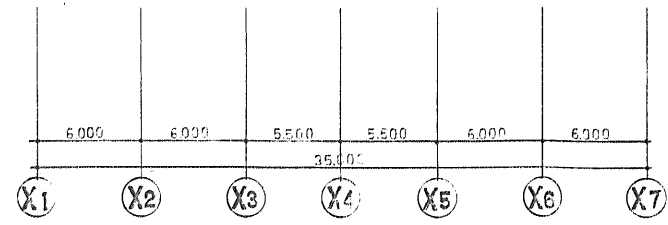
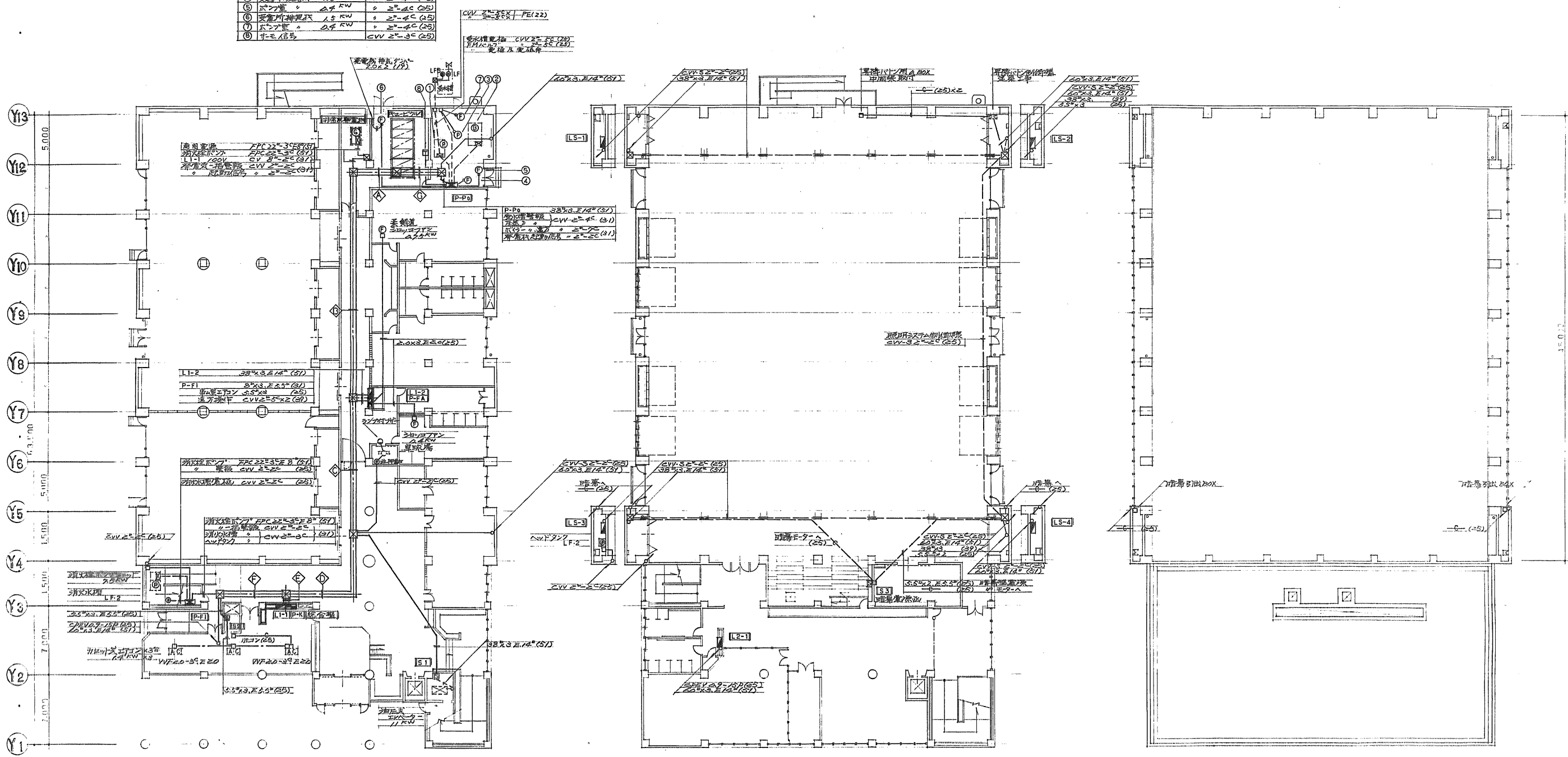
既設ケーブル

新設ケーブル

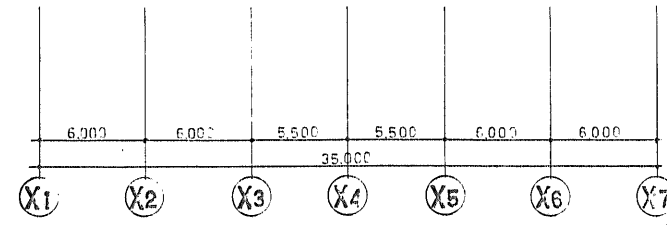
ケーブル仕様

1. ケーブルは、消防庁告示第2号による認定品とする。
2. 此のケーブルは、既設ケーブルと新設ケーブルとからなる。新設ケーブルは、  
屋外型ケーブルとする。
3. ケーブルの仕入れ色は指定色とする。
4. 予備品として、高圧限流ヒューズ「取付」の本、表示灯「取付」の  
表示灯「取付」の本、箱に入れ、別室の庫
5. 既設ケーブルに関する事項  
既設ケーブルは、現在、屋外型認定専用ケーブルとして  
使用しており、非認定品の屋外型ケーブルであるが、別途  
工事を行う、機能、仕様を改定して、別室認定品として  
屋内型の認定ケーブルとなるものとする。 — 別途工事  
6. 以上、全上の認定ケーブルと、別室の認定品との変更  
は、移設する。 — 本工事  
7. 既設ケーブルの依止側と、別室認定品との移設は、別途工事として  
行う。 — 別途工事  
8. 既設ケーブルと、新設ケーブルとの接続（機械的、電気的）  
は、別途工事を行う。 — 本工事

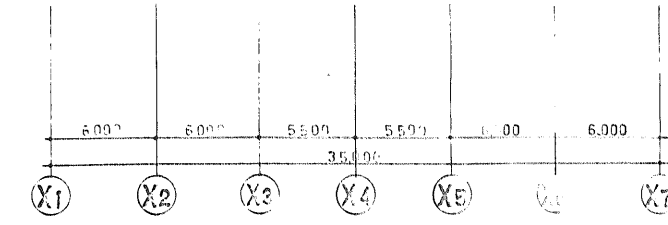
電気配線 配線系統表		
①	圧入ポンプ 3.7kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(21)
②	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(22)
③	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(23)
④	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(24)
⑤	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(25)
⑥	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(26)
⑦	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(27)
⑧	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(28)
⑨	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(29)
⑩	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(30)
⑪	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(31)
⑫	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(32)
⑬	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(33)
⑭	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(34)
⑮	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(35)
⑯	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(36)
⑰	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(37)
⑱	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(38)
⑲	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(39)
⑳	排水ポンプ 1.5kW	CVV 2 <sup>nd</sup> -4C(40)



1F 平面図 5:1:200

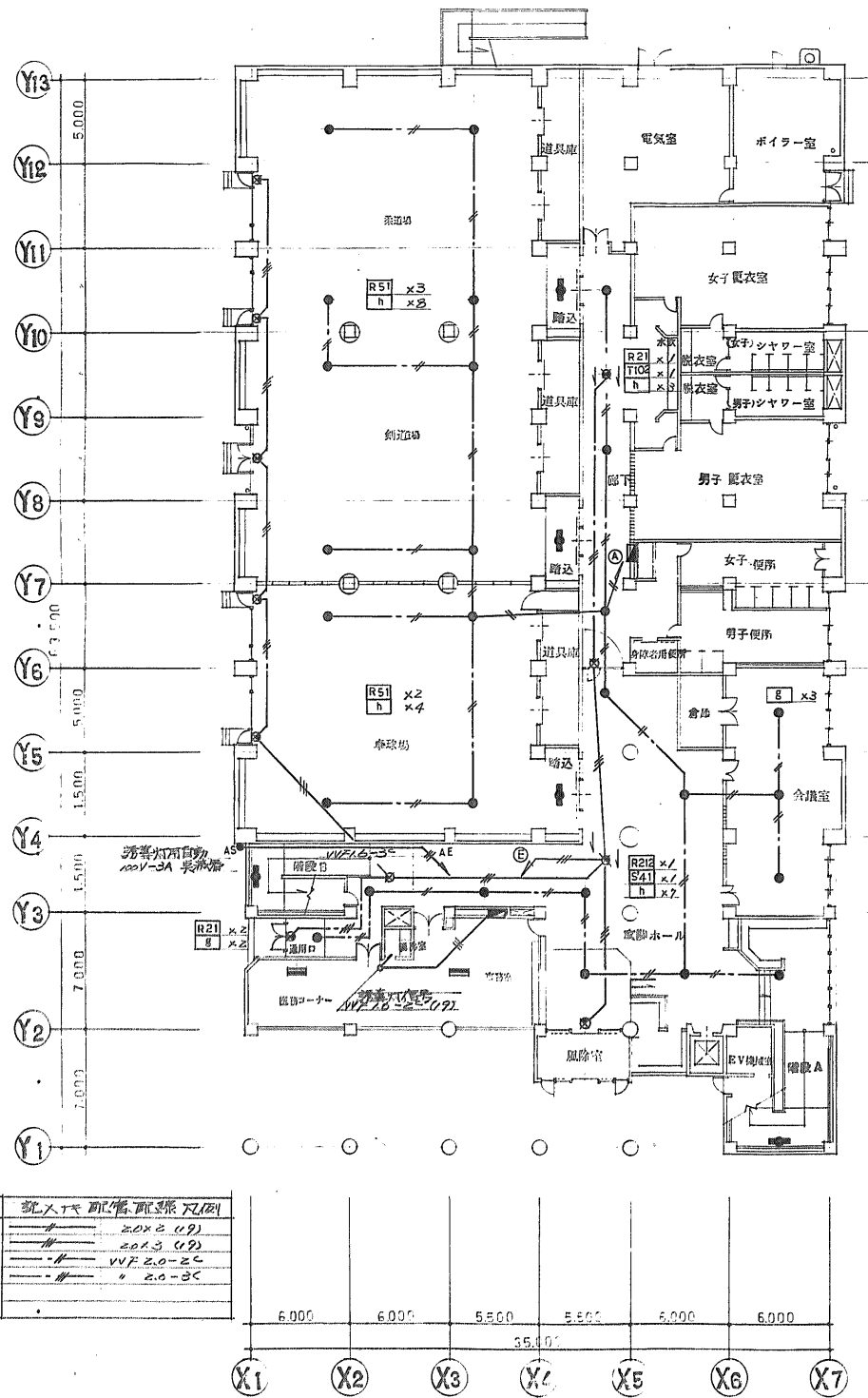


2F 平面図 5:1:200



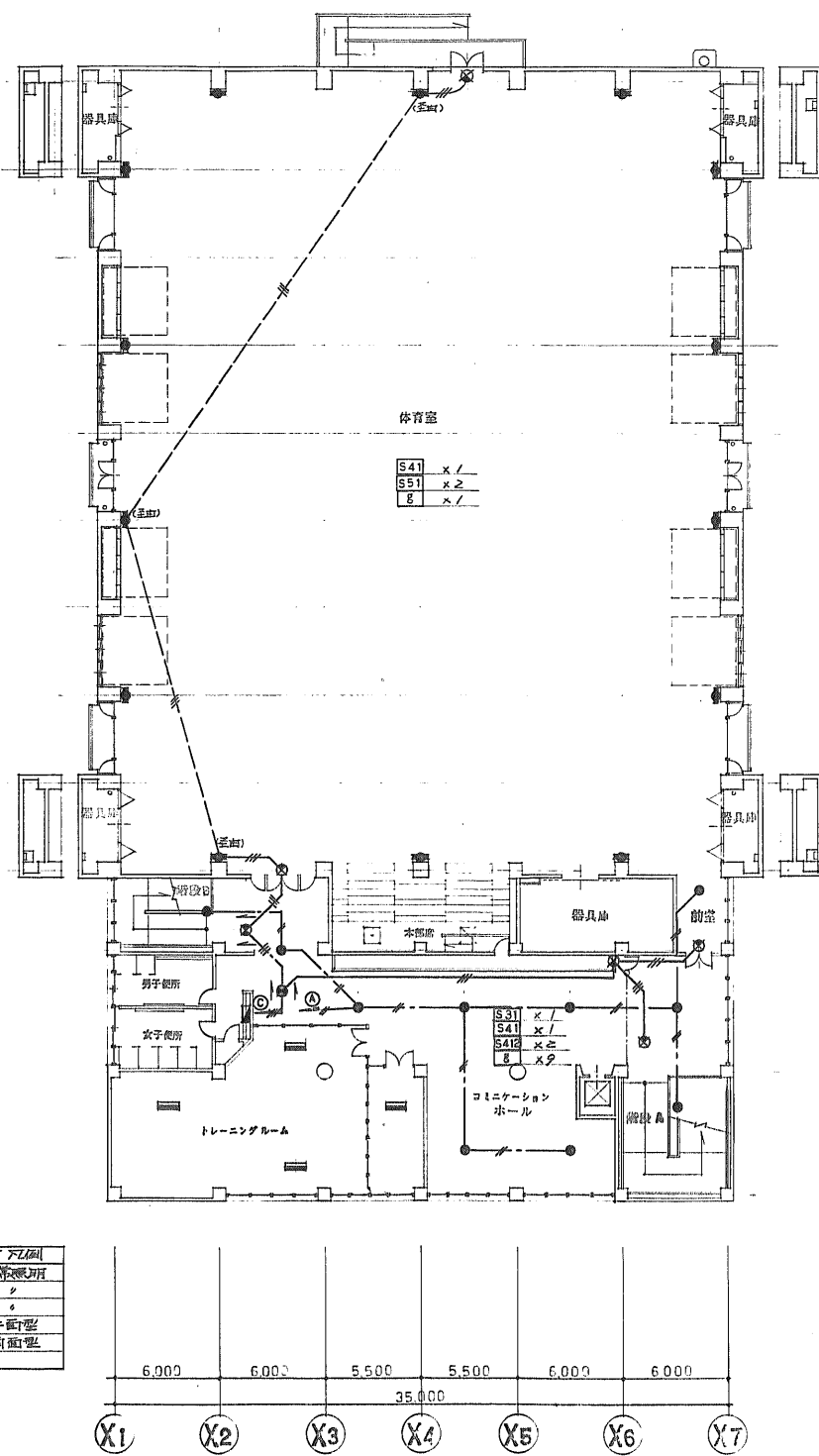
2F-b 平面図 5:1:200





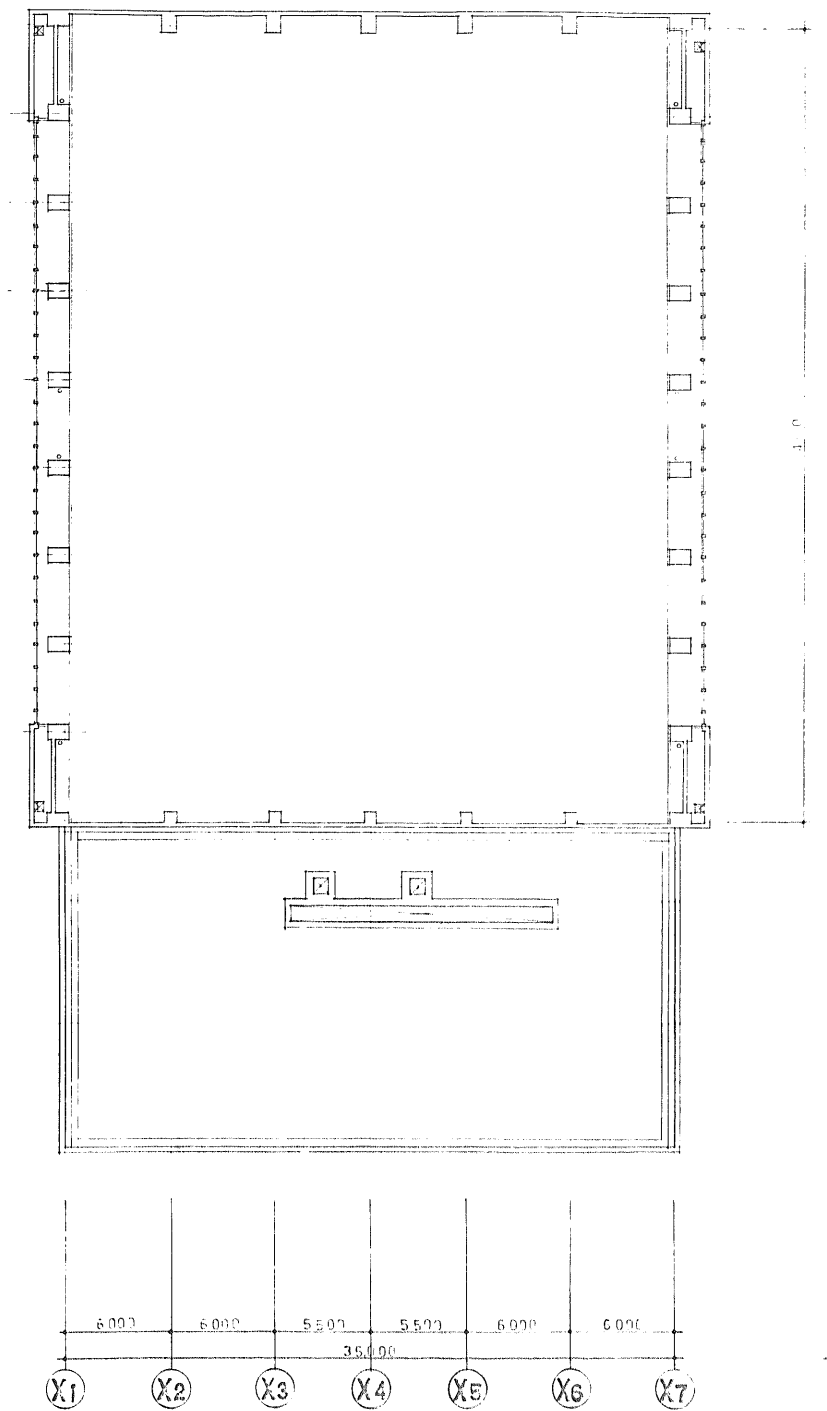
配線記号凡例	
—●—	20x6 (U)
—●—	20x3 (U)
—●—	VVF 2.0-25
—●—	2.0-35

1階 平面図 S:1:200

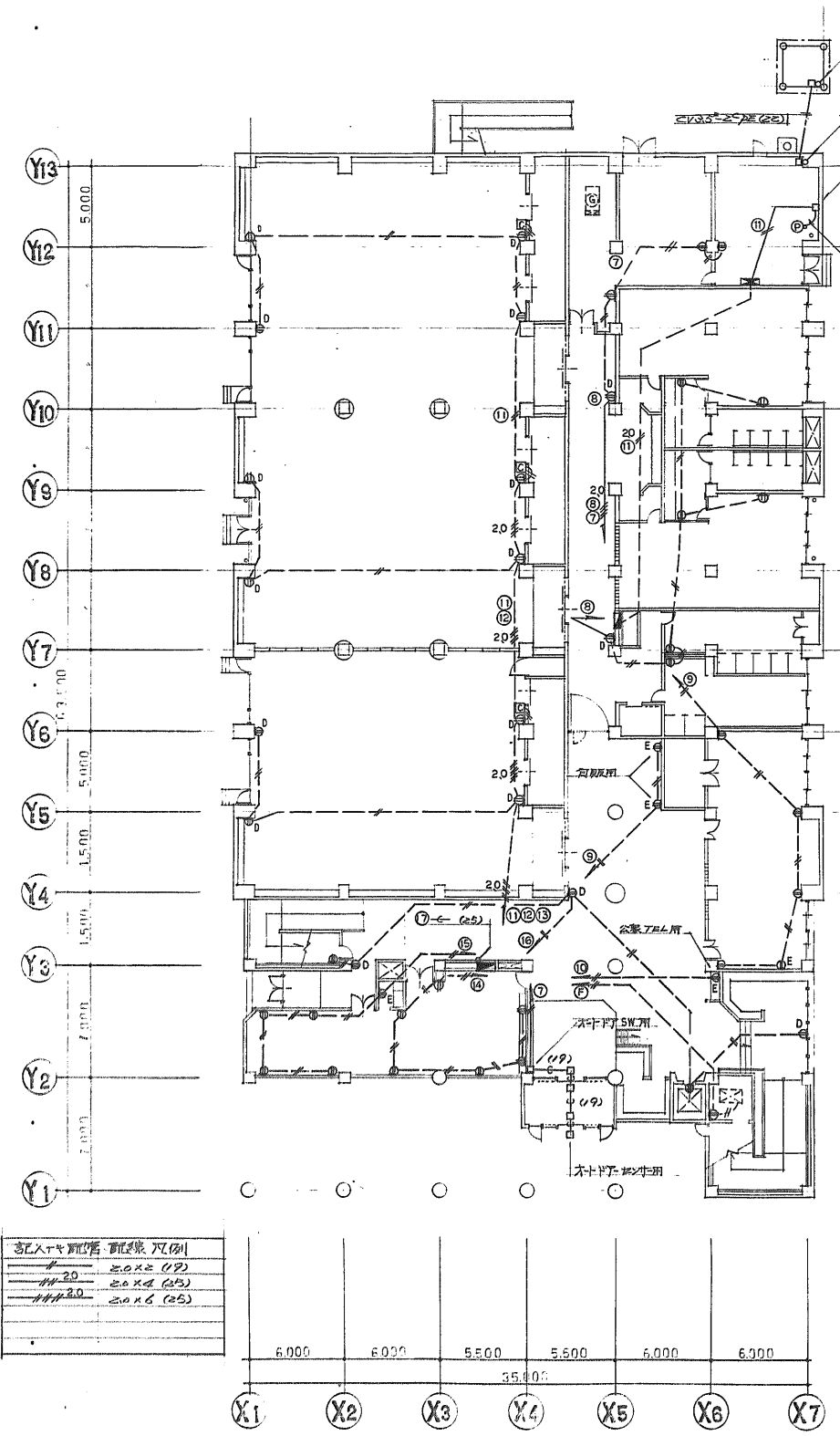


配線記号凡例	
—●—	20x6 (U)
—●—	20x3 (U)
—●—	VVF 2.0-25
—●—	2.0-35

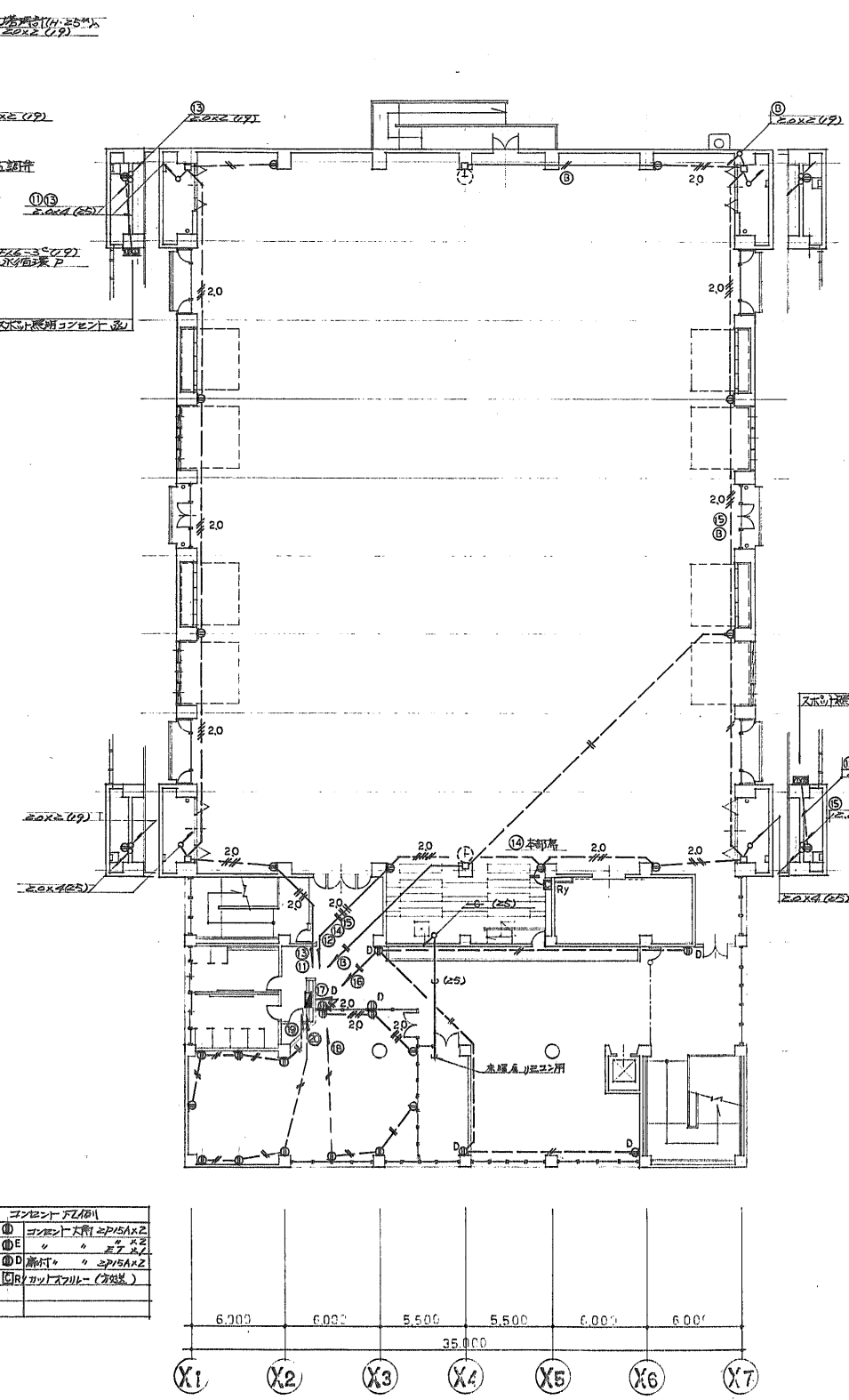
2階 平面図 S:1:200



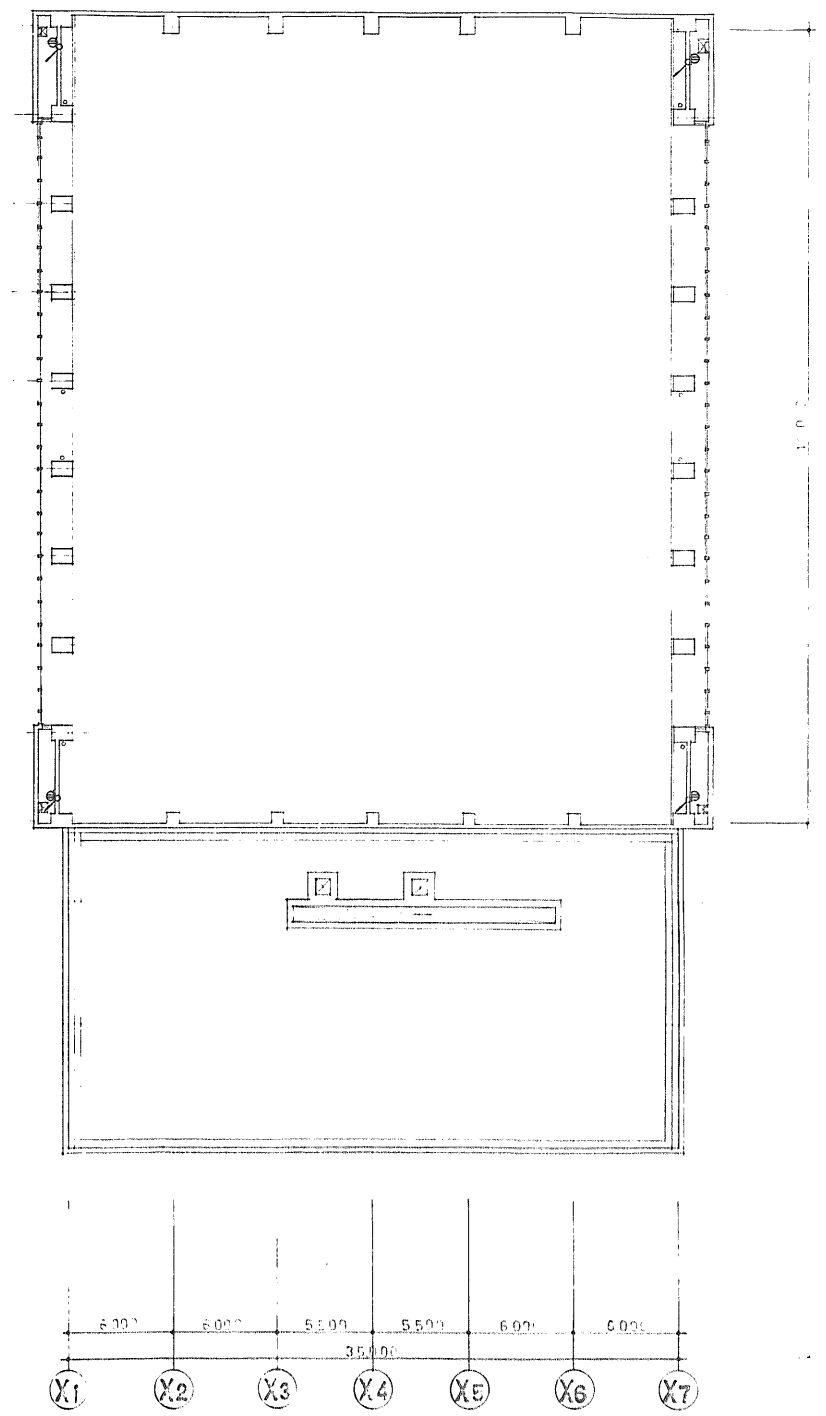
2階b 平面図 S:1:200



1階 平面図 S:1:200



2階 平面図 S:1:200



2階b 平面図 S:1:200

エレベーター設備 詳細表 凡例	
○	2.0 x 2.0 (22)
○	2.0 x 2.4 (25)
○	2.0 x 2.6 (25)

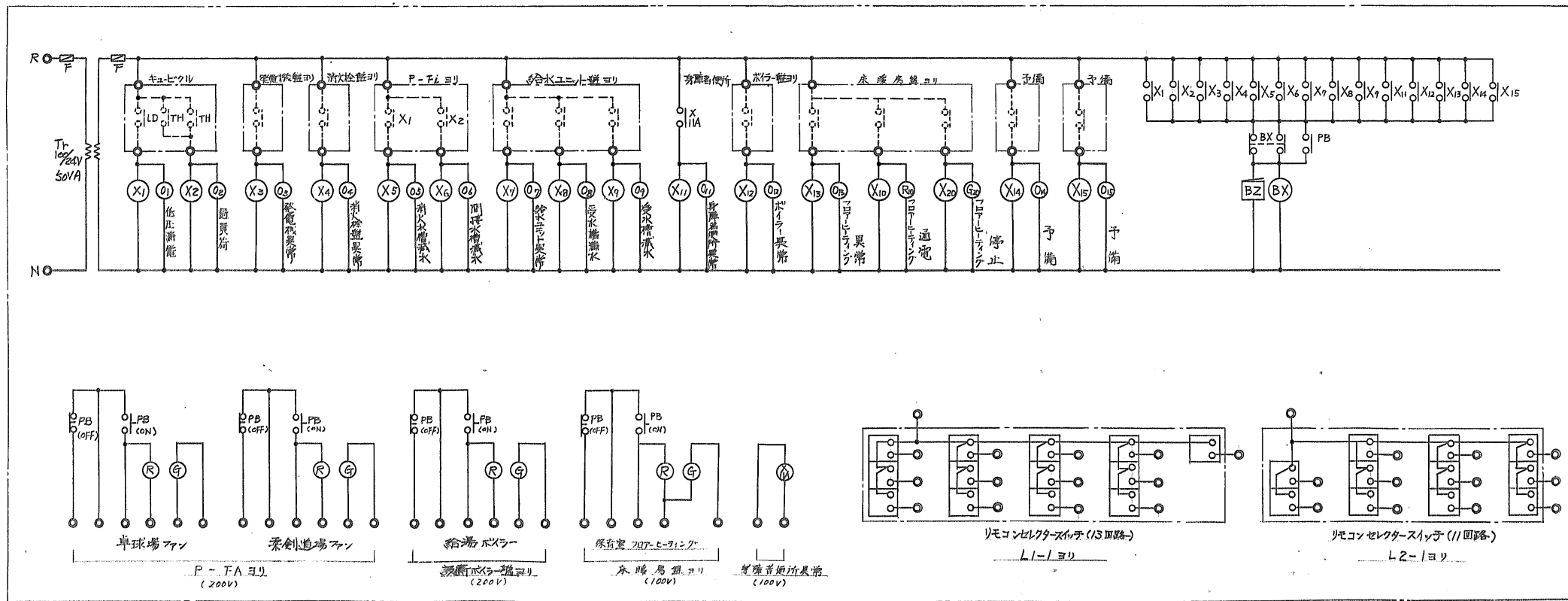
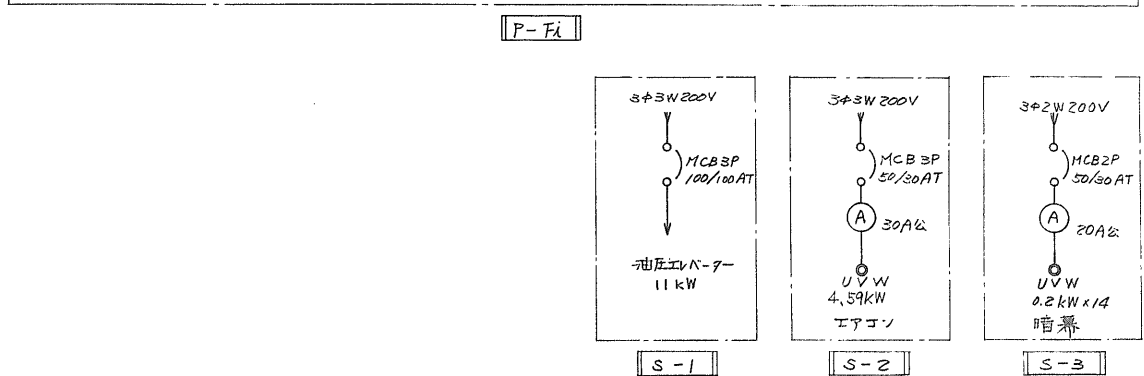
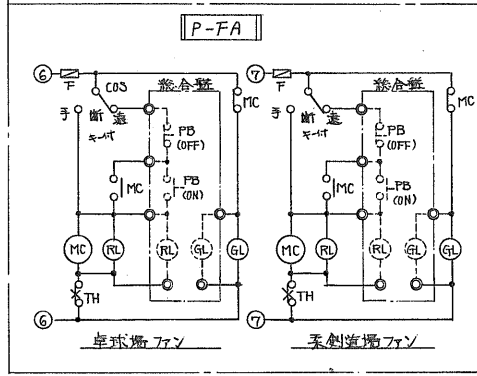
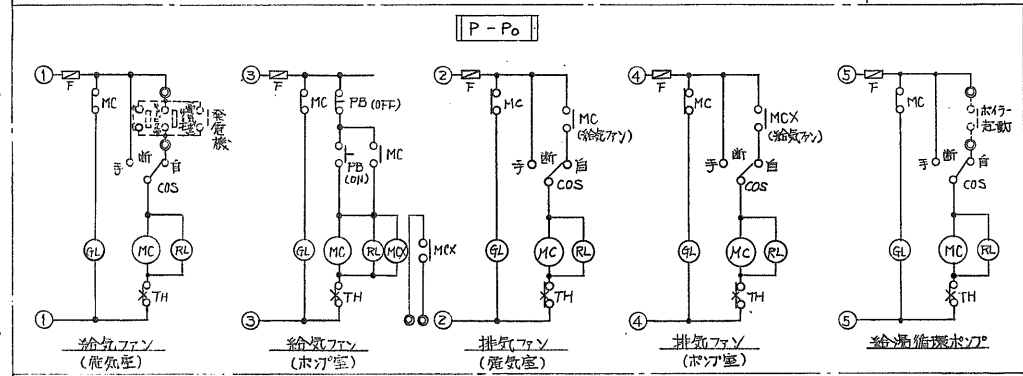
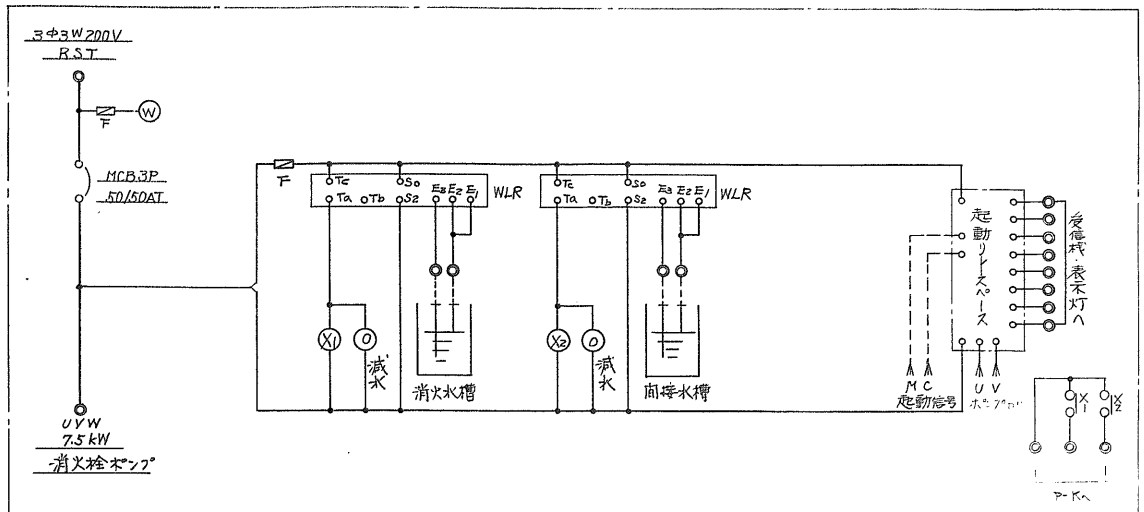
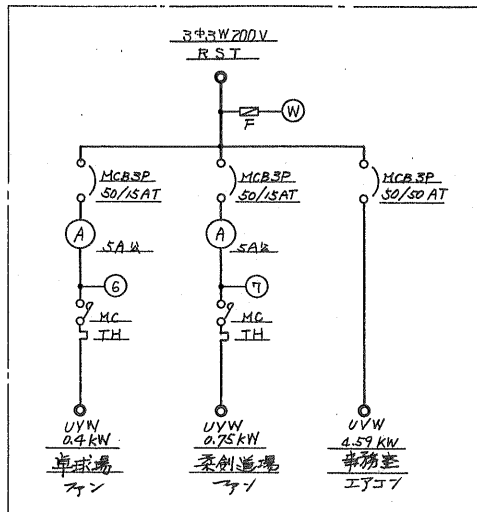
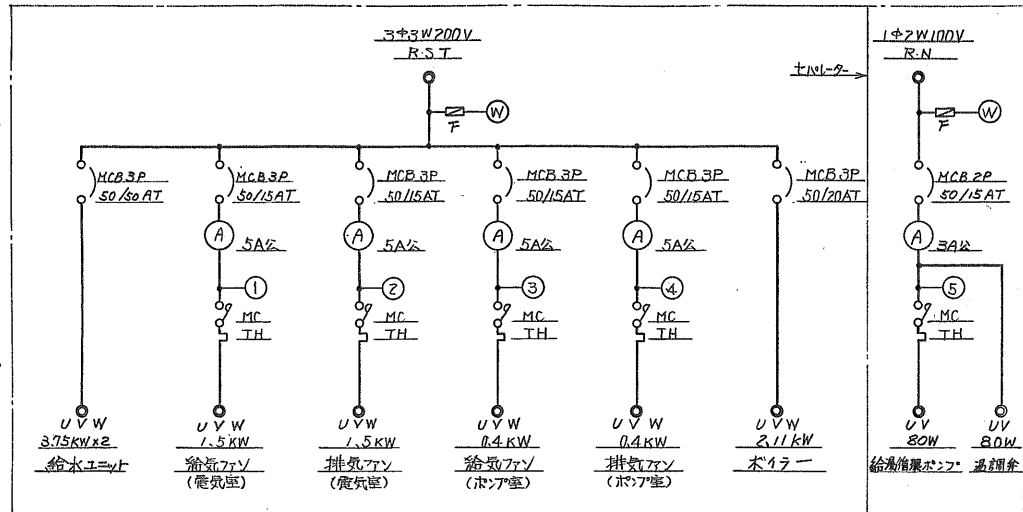
コンクリート配筋 凡例	
○	コンクリート大引 20 x 25 (25)
○	コンクリート中引 20 x 22 (25)
○	コンクリート小引 20 x 18 (25)
○	コンクリートスラット (25)

MEMO

調査	1971	設計年月日	主筆	NO
			24	208

工事名・昭和60年度愛川町総合体育館建設 (電気) 工事  
図面名・コンクリート設備図 Scale 1:200

日比野設計

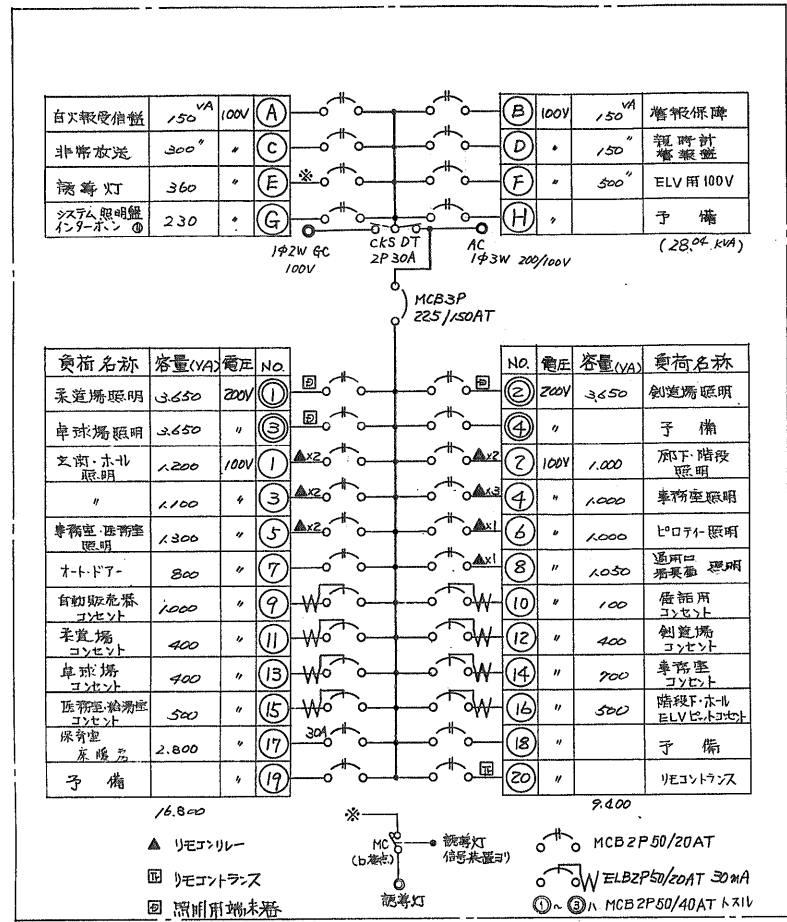


MEMO

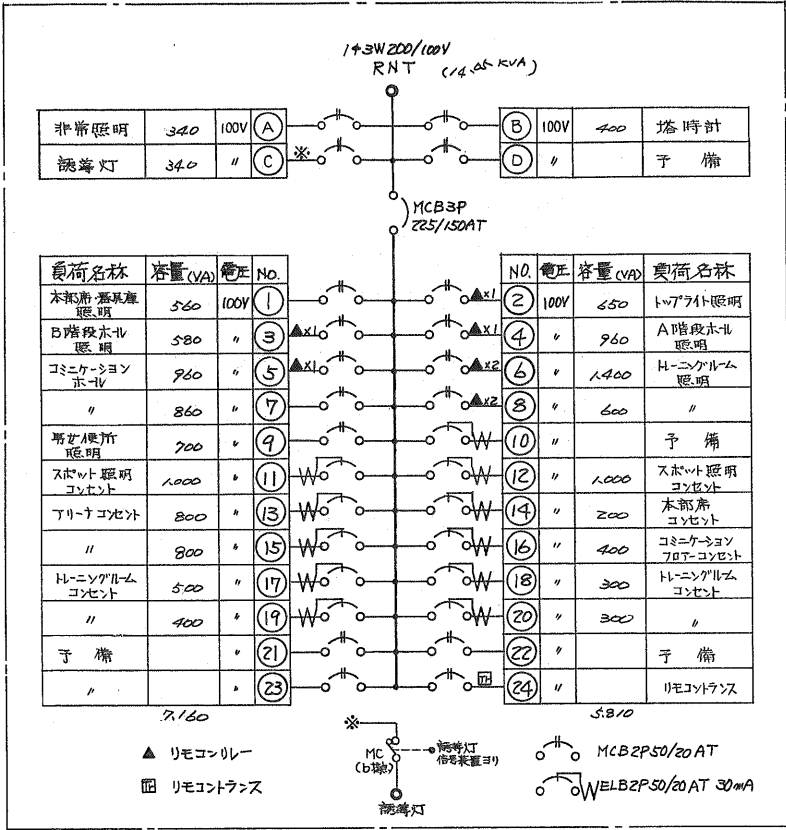
承認 調査 設計 設計年月日 全案 NO 24 209

工事名 昭和60年度富山町総合体育館建設 (電気) 工事  
 図面名 動力制御盤 図面NO Scale 1: —

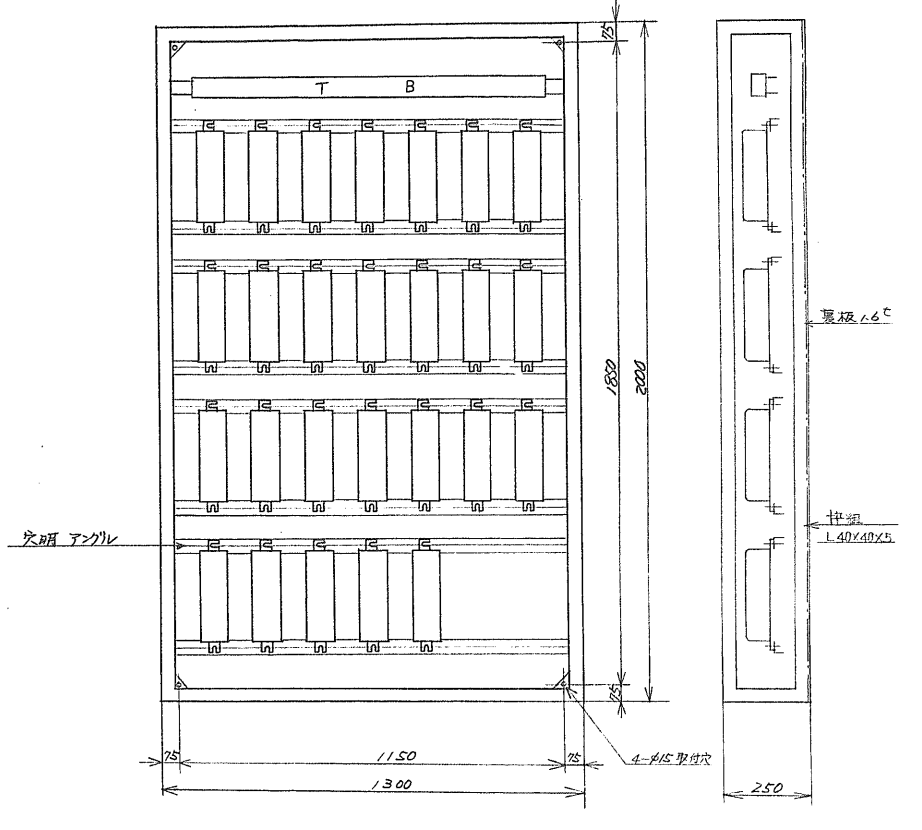
日比野設計



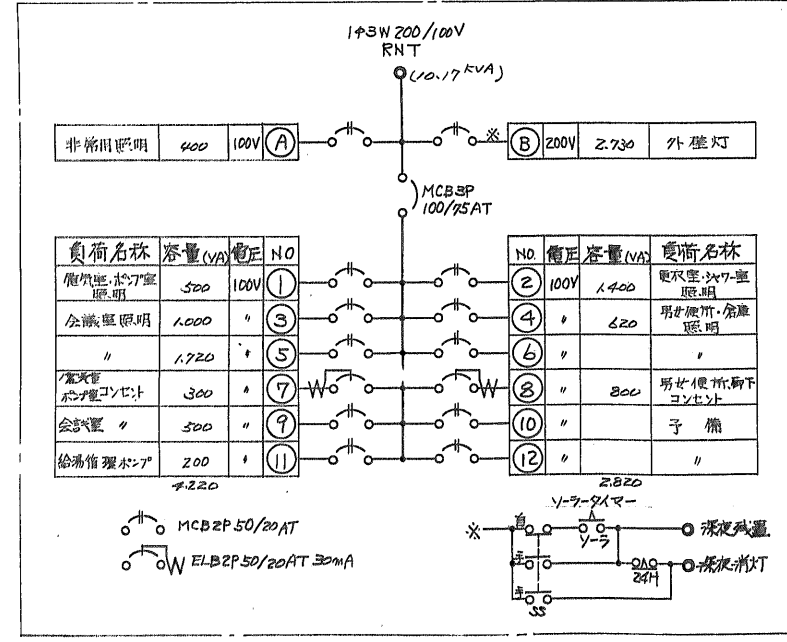
L1-1 (兼合盤組込)



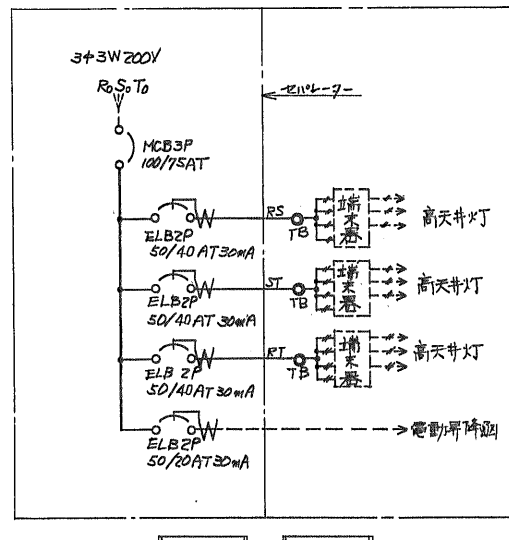
L2-1



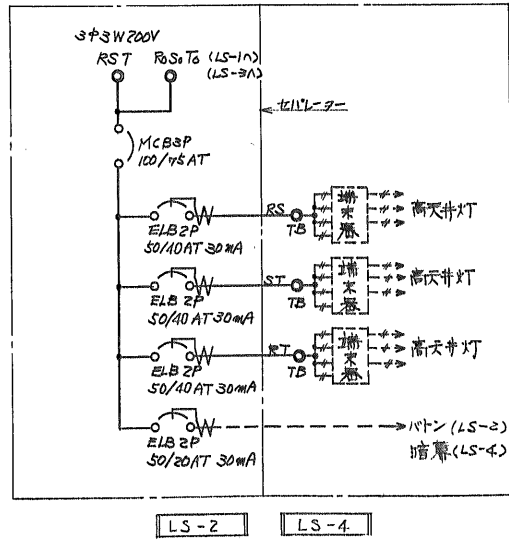
安定器収納ラック



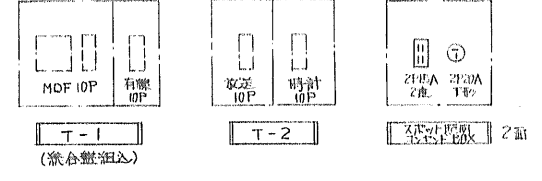
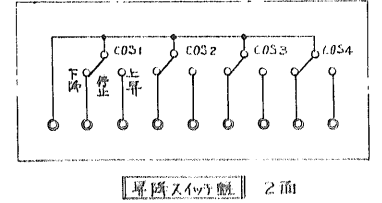
L1-2

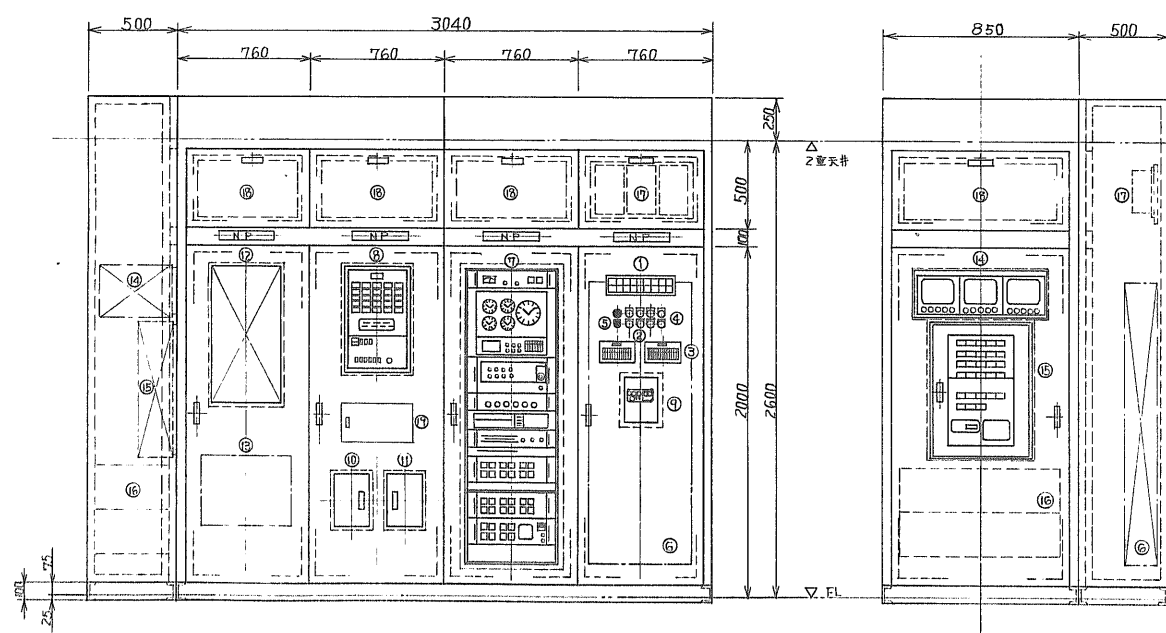
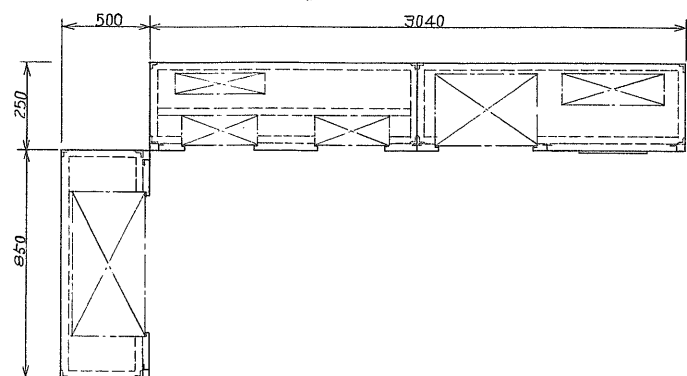


LS-1 LS-3



LS-2 LS-4





No.	機器名
①	警報表示盤 P-K
②	警報 P-F A 動作
③	リモコンリスタート
④	床暖房スイッチ
⑤	アザ-停止
⑥	1:1 分電盤
⑦	非常放送機 4 部時計
⑧	直火警-距離警報機
⑨	誘導灯信号装置
⑩	インターホン装置
⑪	備品 X
⑫	準備品 2 部
⑬	T-1 部
⑭	ITV
⑮	照明システム
⑯	備品 1 部
⑰	照明用器具
⑱	警報スイッチ (1 部)
⑲	警報スイッチ (1 部)







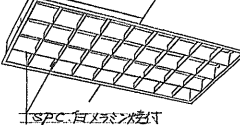
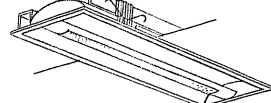

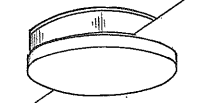
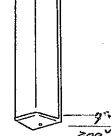


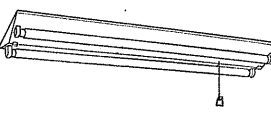

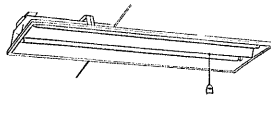
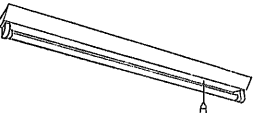
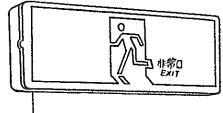
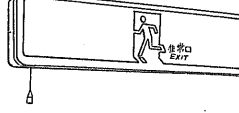
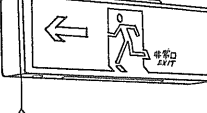
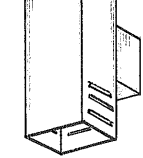
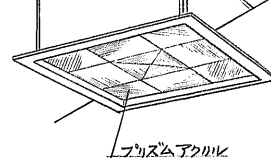
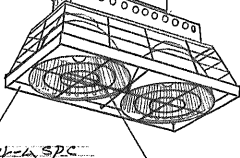
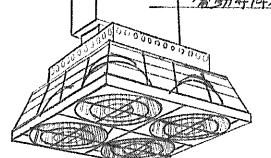

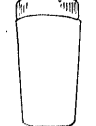
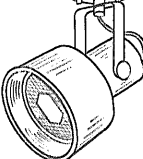
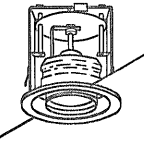
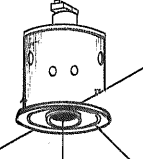
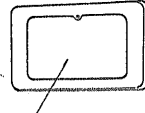
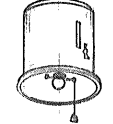
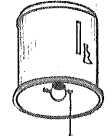
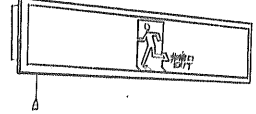
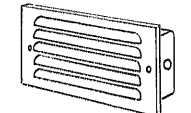
複合型総合盤 S 1/30

MEMO

承認 調査 設計 設計年月日 全巻 NO 24 211

工事名・昭和60年度愛知県総合庁舎建設(電気) 工事  
 図面名・複合型総合盤 図 Scale 1:30

日比野設計

<p>A</p> <p>41 FL40Wx1 PP 42 FL90Wx2 51 FL90Wx1 既製ガード付 52 FL90Wx2 21 FL20Wx1</p> 	<p>B</p> <p>41 FL90Wx1 51 FL90Wx1 既製ガード付</p>  <p>片及釘着</p>	<p>C</p> <p>21 FL20Wx1 41 FL90Wx1</p>  <p>フック</p>	<p>D</p> <p>21 FL20Wx1 22 FL20Wx2 41 FL90Wx1 42 FL90Wx2</p> 	<p>E</p> <p>41 FL40Wx1</p>  <p>フック</p>	<p>F</p> <p>41 FL40Wx1 42 FL40Wx2</p> 	<p>G</p> <p>24 FL20Wx4 41 FL40Wx1 42 FL40Wx2 48 FL40Wx2</p>  <p>SPC 自在吊り</p>	<p>H</p> <p>42 FL40Wx2</p>  <p>同接継ぎ型</p>
<p>I</p> <p>41 FL40Wx1 SUS (WP)</p>  <p>SUS 自在吊り</p>	<p>J</p> <p>31 FCL30Wx1</p> 	<p>K</p> <p>21 FL20Wx1 SUS (WP) 22 FL20Wx2</p>  <p>自在吊り付 200V/100V</p>	<p>L</p> <p>41 FL40Wx1 電池内蔵 50%</p>  <p>非常用照明</p>	<p>M</p> <p>51 FL40Wx1 電池内蔵 50%</p>  <p>非常用照明</p>	<p>N</p> <p>41 FL40Wx1 電池内蔵 50% 42 FL90Wx2 50%</p>  <p>非常用照明</p>	<p>O</p> <p>21 FL20Wx1 電池内蔵 55%</p>  <p>90度特殊ガード付</p> <p>非常用照明</p>	<p>P</p> <p>41 FL90Wx1 電池内蔵 50% 42 FL90Wx2</p>  <p>非常用照明</p>
<p>Q</p> <p>41 FL90Wx1 (WP) 電池内蔵 50% 42 FL90Wx2 (WP)</p>  <p>非常用照明</p>	<p>R</p> <p>21 FL20Wx1 片面 21Z FL20Wx1 両面 51 FL20Wx1 片面 90度特殊ガード付</p>  <p>誘導灯</p>	<p>S</p> <p>41 FL40Wx1 片面 41Z FL40Wx1 両面 51 FL40Wx1 片面 90度特殊ガード付 31 FL32Wx1 片面</p>  <p>電池内蔵 誘導灯</p>	<p>T</p> <p>10Z FL10Wx1 両面 PP</p>  <p>電池内蔵 両面誘導灯</p>	<p>U</p> <p>BHF 250Wx1 (WP) フェノール</p>  <p>BSP 自在吊り</p>	<p>V</p> <p>MF 250Wx1 修繕動型</p>  <p>突っ張り付 プラスチック 自在吊り</p>	<p>W</p> <p>MF 900W + NH 360W 修繕動型</p>  <p>自在吊り 電動昇降機 フレーム SPC ガイドワイヤ</p>	<p>X</p> <p>MF 400W x 3 + NH 360W 修繕動型</p>  <p>自在吊り 電動昇降機</p>
<p>a</p> <p>IL40</p> 	<p>b</p> <p>b' IL40 ガード付</p> 	<p>c</p> <p>RF 150W</p> 	<p>d</p> <p>JD 100W ミニハロゲン</p> 	<p>e</p> <p>RF 100W</p>  <p>7K-A SUS 100%</p>	<p>f</p> <p>IL 20W</p>  <p>多白アクリル</p>	<p>g</p> <p>IL 20W 電池内蔵</p>  <p>非常用照明</p>	<p>h</p> <p>IL 40W 電池内蔵</p>  <p>非常用照明</p>
<p>S</p> <p>41 FL40Wx1 埋込型</p>  <p>電池内蔵 誘導灯</p>	<p>f'</p> <p>FL 4Wx1</p> 						<p>照明器具仕様</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 照明器具は本図に示す外、高圧側仕様は本図に示すものとする。又製作仕様は高圧側仕様の外、高圧側仕様は本図に示すものとする。</li> <li>2. 蛍光灯は FL20W 以上は省エネ型とする。</li> <li>3. 蛍光灯の FL20W 以上は高圧型とする。ただし特殊仕様は除く。</li> <li>4. HID 器具の選定は高圧型で修繕動型とする。</li> <li>5. 非常用照明器具は防炎性能試験に合格した製品で、BCJ マーク表示付とする。</li> <li>6. 誘導灯は 誘導灯認定委員会が試験に合格した製品で、30分マーク表示付とする。</li> <li>7. 照明器具に用いる SUS (ステンレス) の材質は SUS-304 とする。</li> </ol>

MEMO

承認

調査

設計

設計年月日

全数

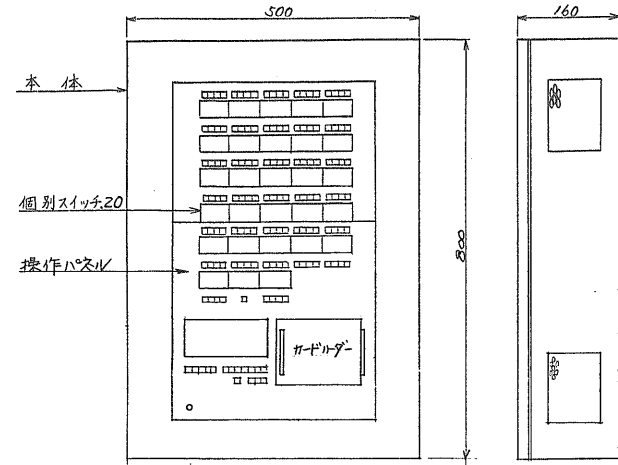
NO

工事名・昭和60年度愛川町総合体育館建設(電気) 工事

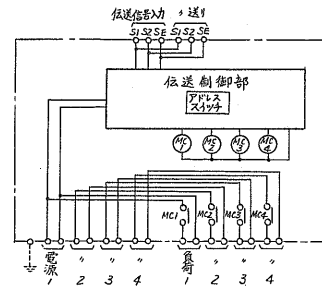
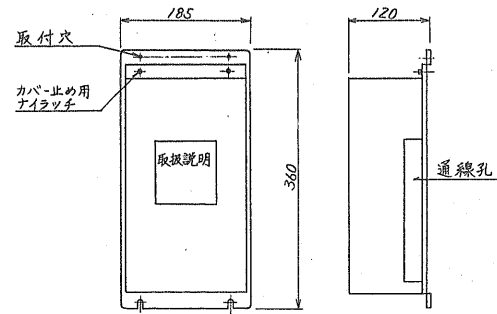
図面名・照明器具仕様書 表面 Scale 1:—

日比野設計

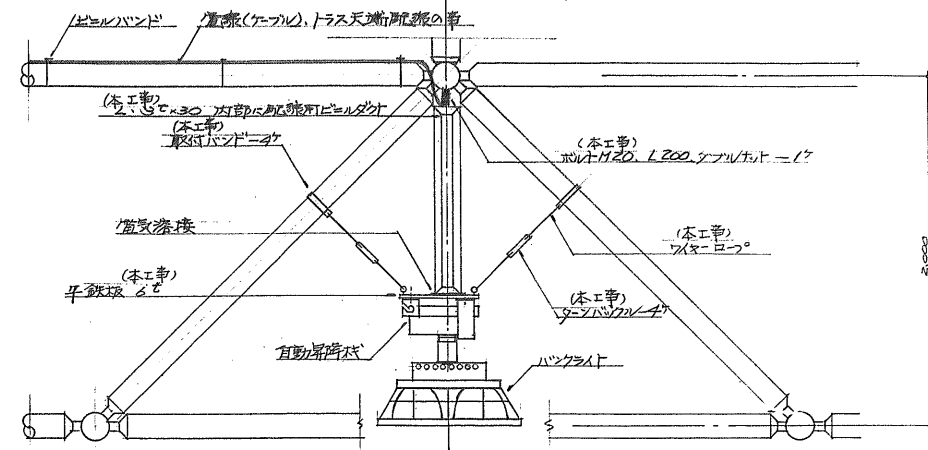
照明システム操作盤



端末盤



高天井照明器具取付物考図

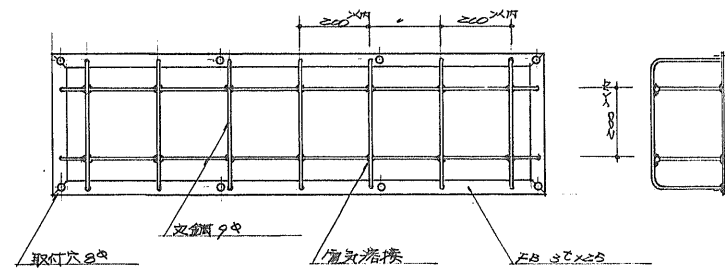


画	体	SPCC 416メッキ焼付塗装
重	約	4.5 kg
電	源	AC 100V 50Hz
消費電力	約	150 VA
伝送方式		2線式ランダム伝送方式
伝送系統数		1系統 250mMAX/系統
カードリーダ		マークシート方式
プログラム方式		カード + 記憶スイッチ
時計		クォーツデジタル表示 (時分秒)
メモ		各制御状態表示その他
制御機能		タイムスケジュール制御 光センサ制御、パターン、ゾーン制御 煙スイッチ制御、手動操作

電源	AC 100V, 200V 指定
周波数	50Hz, 60Hz 共用
制御数	4
定格電流 (1回路当り)	蛍光灯 (除グロー高効率) 15A以下 白熱灯 8A以下 グロー式高効率蛍光灯及び HID 器具は負荷取付台教通用表参照
通用負荷	蛍光灯器具 HID 器具 白熱灯
材質	鋼板 (SPCC 416)
処理	メッキ処理 (Zn)

注記  
設置場所 保守点検が容易にできる場所に設置  
設定 使用電圧に依り、電圧切換ボタン設定  
及び割振されたアドレスをアドレススイッチ  
により設定。  
回路構成 電源端子容量は各々20A

特殊カード考図



- 注
1. FBの取付位置は切欠と切欠間は必ず電気接点にて接続
  2. 仕上り塗装は白亜メラミン焼付塗装とする
  3. この外、有本取付各種のスペーサー等の特殊カードも同様

主操作盤機能仕様

1. 主操作機能

一括操作	手動	一括スイッチ操作により強制一括点灯又は消灯及び解除
ゾーンパターン操作	手動	ゾーンパターンスイッチ操作によりゾーン及びパターン毎の消灯及び解除
個別操作	手動	個別スイッチ操作により回路毎の点灯又は消灯及び解除
手動解除	手動	一括解除、ゾーンスイッチの一括解除
ゾーンパターン制御	自動	任意のゾーンスイッチでパターン毎に照明を選択して点灯又は消灯するものとする
ゾーンパターン解除	手動	解除はゾーン毎又は一括(手動)
タイムスケジュール制御	自動	プログラムにより各パターンの時刻設定がされるとマイコンタイマーに依りて自動運転するものとする
(1) 日スケジュール	自動	0-24 時の時分制御及び曜日別の制御設定ができること、平日、休日、休日別の運転が可能であること
(2) 週間スケジュール	自動	上記内容、その間隔制御設定と週間運転ができること

2. メモ機能

ゾーンスイッチモニタ	個別表示	ゾーンパターン別 動作状態の動作状態表示
個別スイッチモニタ	一括表示	動作状態及び負荷回路の動作状態表示
操作スイッチモニタ	一括表示	手動でゾーン操作をしたときの状態表示
操作解除モニタ	一括表示	手動操作から解除したときの表示
手動モニタ	一括表示	手動操作の動作状態
システムモニタ	一括表示	システムの異常表示
時計	一括表示	0-24 時表示
データ表示部	個別表示	日、週、その他のプログラムパターン表示

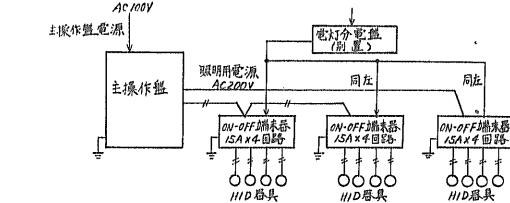
3. フェールセーフ機能

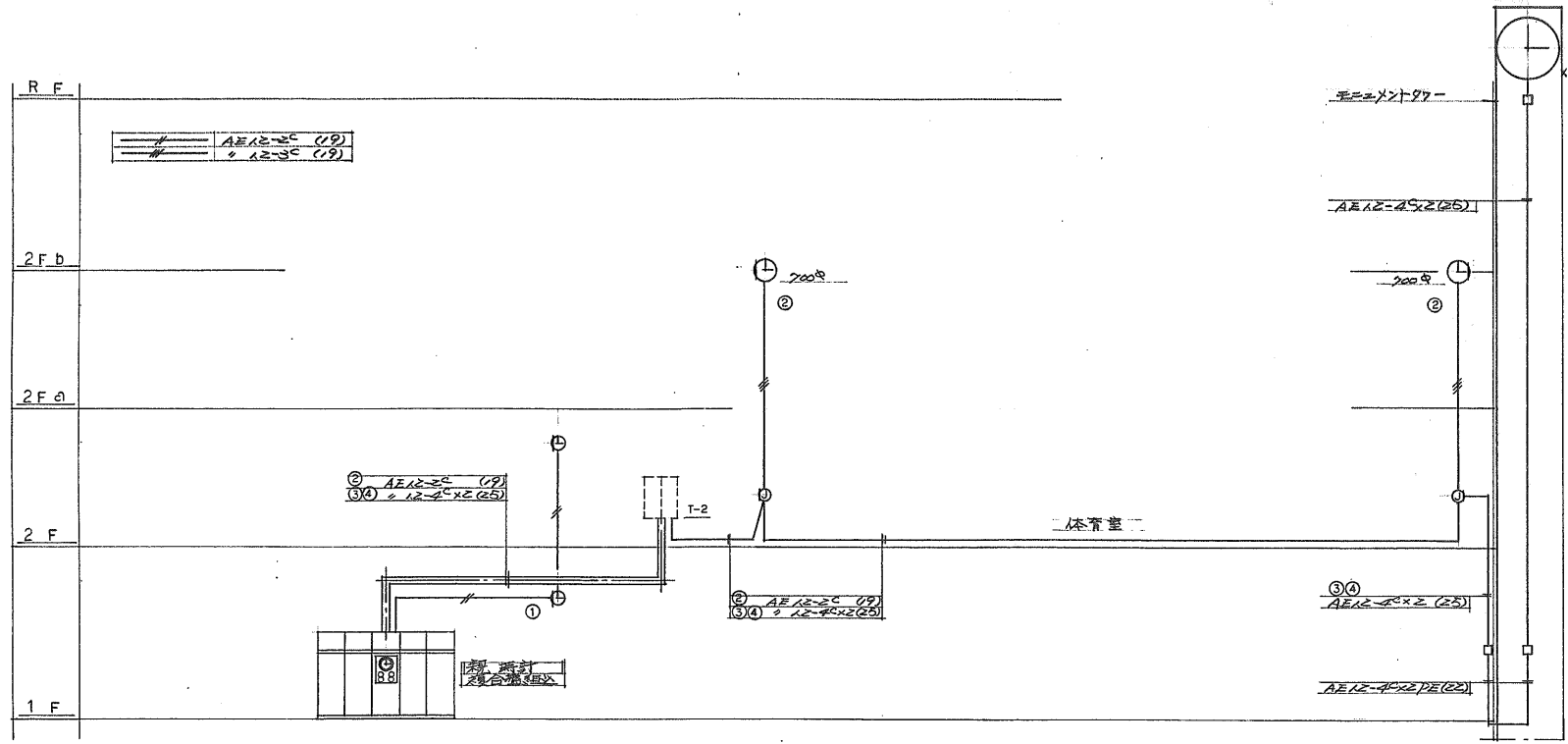
停電	停電時はバッテリーバックアップが施されていること
システム異常	システムダウン時は表示ができること

4. プログラム機能

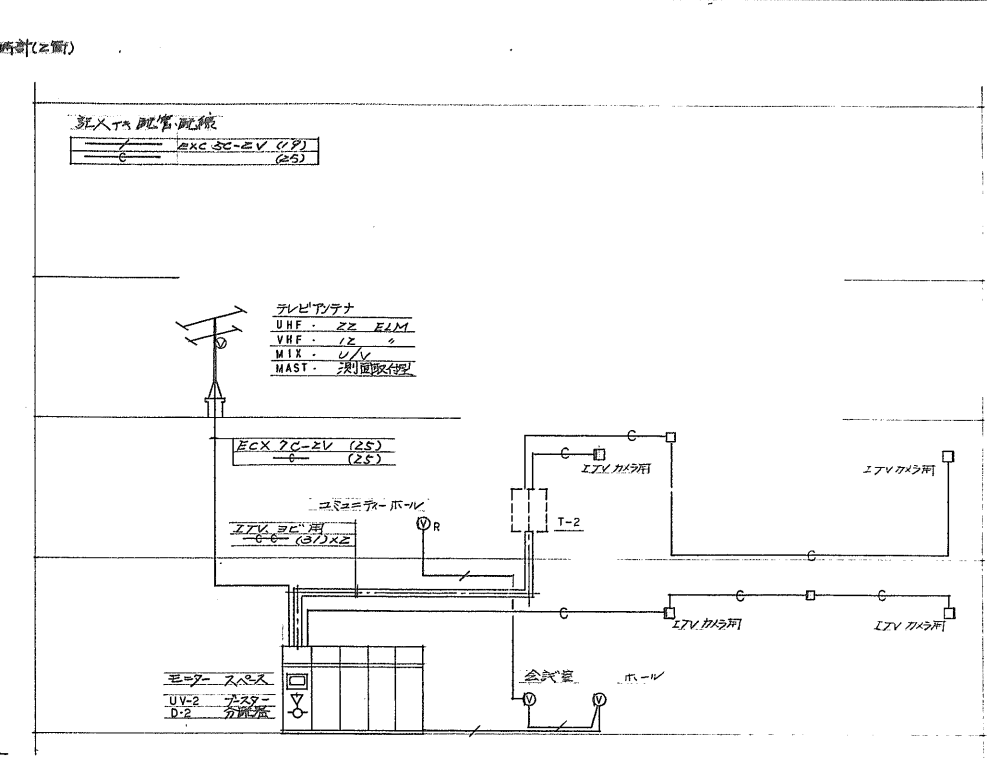
プログラム方式	マークシート方式	カードリーダによるプログラム入力
プログラムの種類	タイムスケジュール	平日、休日、休日の日、週間スケジュール 割付：タイムゾーン
チェック機能		プログラム読み込み後のチェックスイッチ、チェック番号によるチェック機能を有すること

システム系統図

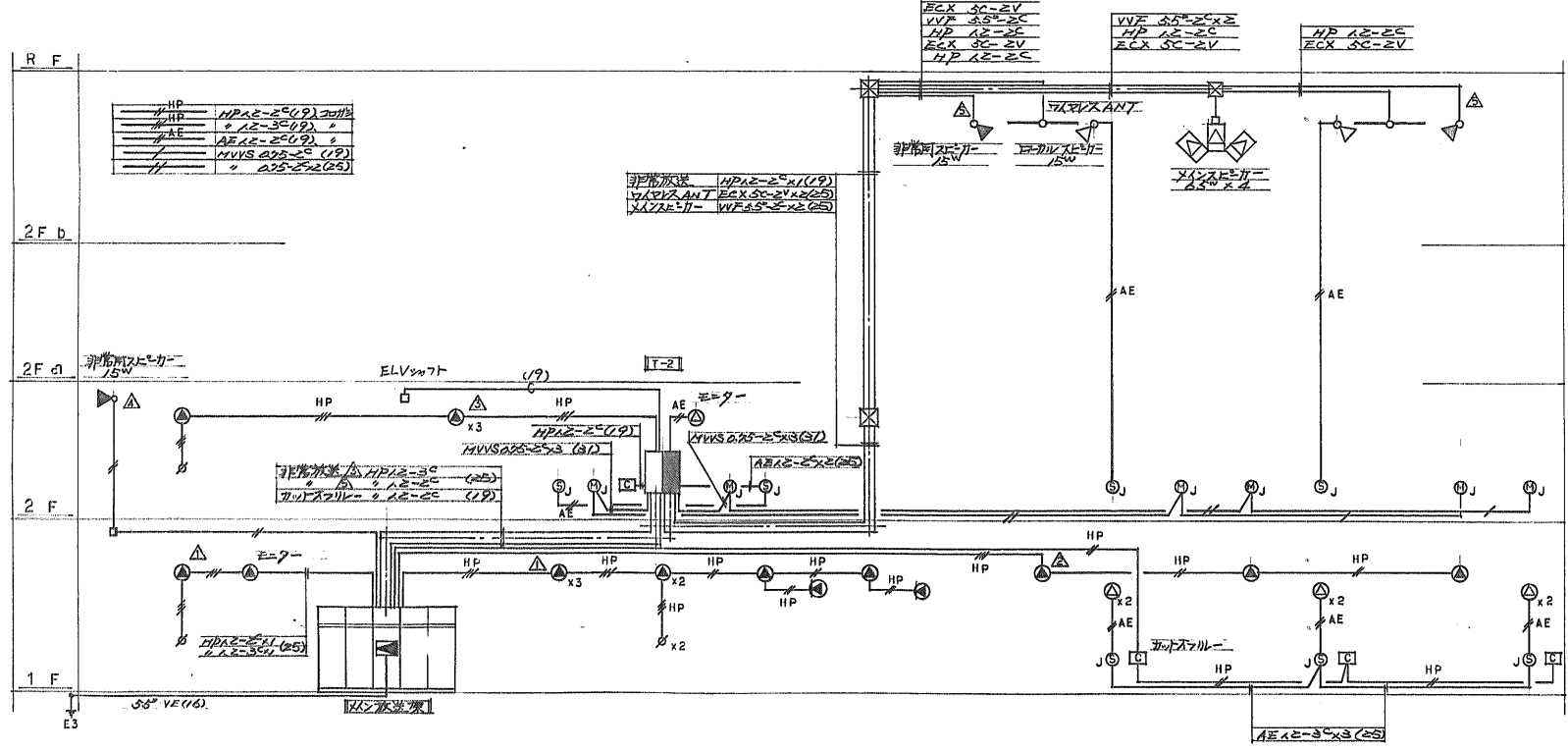




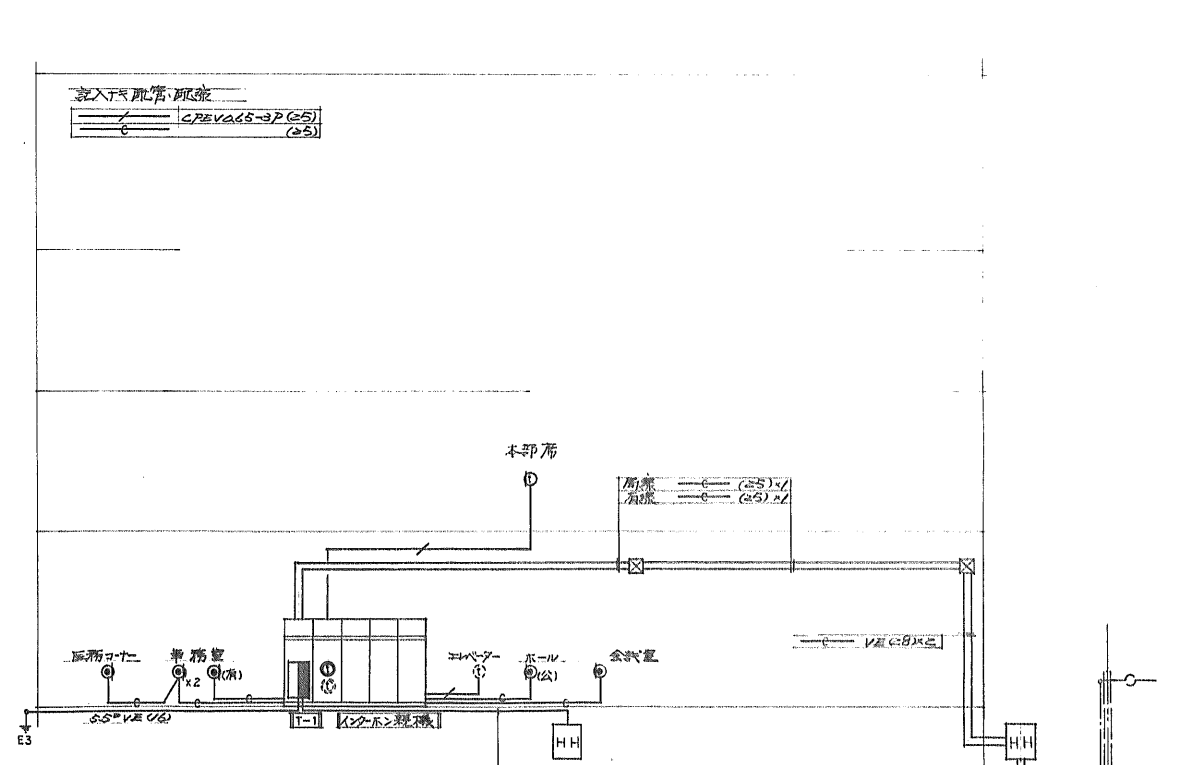
電気設計系統図



共用テレビ、ITV配管系統図

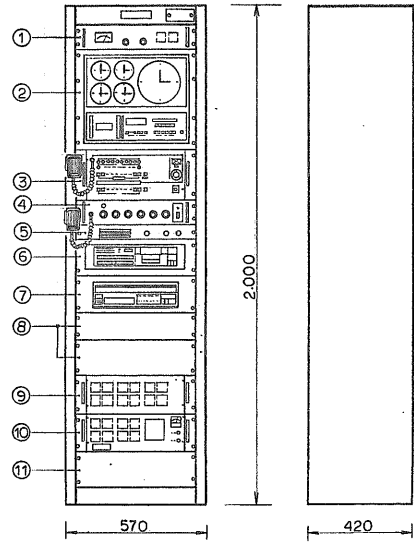


放送放送系統図





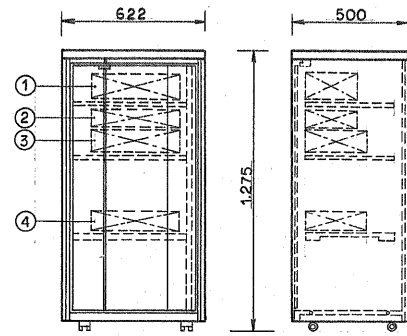
メイン放送架



NO	名	括
①	モニターユニット	
②	親時計	
③	リレー制御式10回線非常通報器	
④	ミキサーユニット	
⑤	ラジオチューナー	
⑥	カセットデッキ	
⑦	レコードプレーヤー	
⑧	アンプパネル	
⑨	160W電力増倍器	
⑩	非常電源ユニット	
⑪	主電源ユニット	

電源電圧	AC100V 50/60Hz
定格出力	160W
入力回路部	マイク3、LJ-Dx1、ラインx4
非常放送操作部	警報音(周波数選択電子サイレン)付 ハンドマイク付 個別作動表示灯付 短絡付 火災灯付 非常10回線+1斉 連発
出力制御部	1w以上ATT付スピーカ内蔵 VU計付
モニター部	ニッケルカドミウム蓄電池 DC24V
非常電源部	自動充電回路、電圧電圧監視計内蔵
ラジオ受信部	A.M.: 530~1605KHz F.M.: 76~90MHz 4音電子チャイム内蔵
コーンサイイン	ダイレクトドライブ方式、フロント・リアング
レコードプレーヤー	2回線、プログラムタイマー、電子チャイム、ジャンプ付
親時計	フイックリバース式
カセットデッキ	

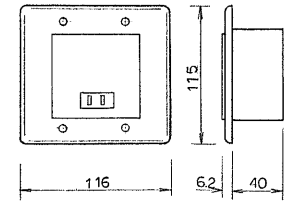
ワゴンアンプ (別途)



NO	名	括
①	システムアンプ	
②	ワイヤレスチューナー	
③	カセットデッキ	
④	レコードプレーヤー	

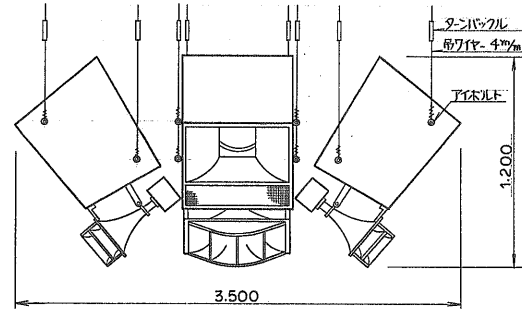
システムアンプ	60w
定格出力	マイク3、LJ-Dx1、外部x4
入力回路	1CH~2CHの内1波受信
ワイヤレスチューナー	録音フイックリバース式
カセットデッキ	30~18,000Hz±3dB (xリレー付)
周波数特性	コリスDCダイレクトドライブ
レコードプレーヤー	0.025% (WRMS)
駆動方式	キャスター付、鍵付接続ケーブル(5m)付
フイックリバース	コネクター(マイク3、スピーカx1、電源x1)
	木口板式ワイヤレスリレー付

電源カッターリレー



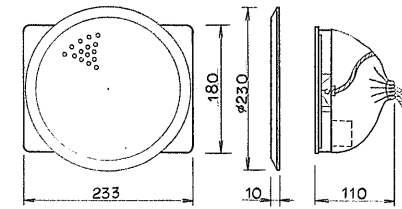
電源電圧	AC100V 50/60Hz
電力容量	最大800W
電流	10A (ACアット1回)
制御方式	DC24V制御信号によりAC100Vを 断り制御(両切り)
制御電流	DC24V 約2mA

メインスピーカ



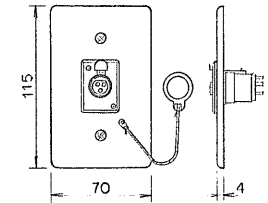
定格入力	65w x 4
出力音圧レベル	101dB
周波数特性	45~20,000Hz

天井埋込型スピーカ



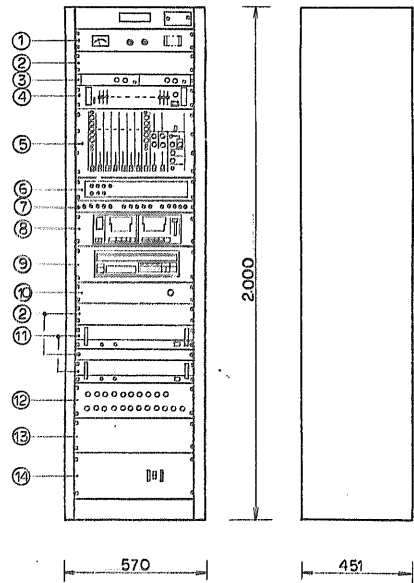
定格入力	3w
出力音圧レベル	92dB/w (1m)
周波数特性	60~10,000Hz
パネル径上	フレーム: アルミ 正面: アルミ/ブラックメタル 銀色アルミ

マイクジャックプレート



コネクター	キャン XLR-3-31
仕	アルミ、銀色アルミ

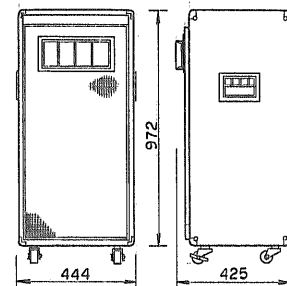
アリーナ放送架 (別途)



NO	名	括
①	モニターユニット	
②	アンプパネル	
③	ワイヤレスチューナー	
④	SE A	
⑤	ミキサー	
⑥	入力ジャックパネル	
⑦	出力制御パネル	
⑧	カセットデッキ	
⑨	レコードプレーヤー	
⑩	アンプパネル	
⑪	パワーアンプ	
⑫	出力バッチ盤	
⑬	端子盤	
⑭	主電源ユニット	

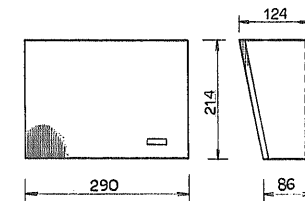
ミキサー	マイク/ラインx8、モニターx2、トクパワx1
入力回路	プログラムx2、AUXx1、RECx2、モニターx2
出力	-120dB
モニターユニット	10回線
入力回路数	1w
出力(スピーカ)	90w + 90w
パワーアンプ	0.008% (1kHz)
歪率	10~70,000Hz ±0.5dB
周波数特性	100dB
グラフィックEQ	-100dB
SN	27素子(1/2オクターブ)
中心周波数	2cw ジャックx30 (15回線)
入力ジャックパネル	15回線
使用ジャック	10回線 XLR-3-31 PC相当
出力スイッチ	12 " -3-32 "
回路数	スプレッドタイプ方式
出力バッチユニット	40MHz帯の2波
入力側	デジタルカセット式
ワイヤレス	0.05% (WRMS)
受信方式	70ポイント・ラング方式
多信周波数	0.025% (WRMS)
カセットデッキ	
方	
ワウフラッター	
レコードプレーヤー	
方	
ワウフラッター	
アンプパネル	
電源	AC100V 50/60Hz 2KW

フロアスピーカ (別途)



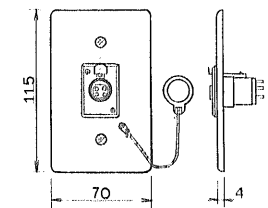
スピーカユニット	中高音用: セクフルホーン型x1、低音用: 30cmコーン型x1
定格入力	60w (最大120w)
入力インピーダンス	8Ω
出力音圧レベル	96dB/w (1m)
周波数特性	50~16,000Hz

壁掛型スピーカ



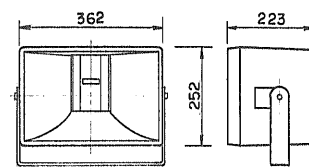
定格入力	3w
出力音圧レベル	92dB/w (1m)
周波数特性	100~10,000Hz
仕	木製、前面リラン

スピーカジャックプレート



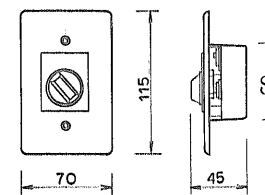
コネクター	キャン XLR-4-31
仕	アルミ、銀色アルミ

コーナルスピーカ  
非常用ホーンスピーカ



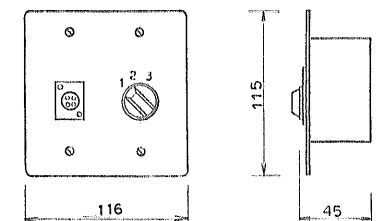
定格入力	15w
出力音圧レベル	98dB/w (1m)
周波数特性	100~15,000Hz
重量	約3.8kg (本体)

アッテネータプレート



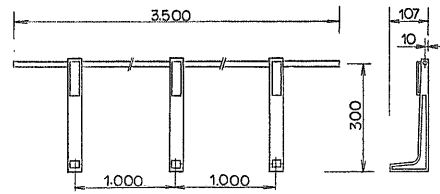
入力容量	1w, 3w, 20w
音量調節	4段階 (0dB, -6, -12dB)
仕	アルミ、銀色アルミ

アンプ接続プレート



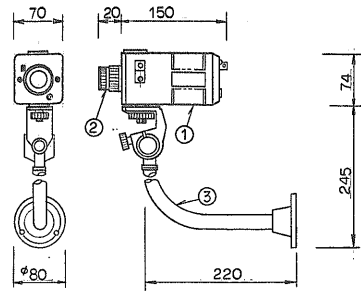
コネクター	XLR-4-31
スイッチ	0-リレースイッチ (3回線)
プレート	アルミ、銀色アルミ

ワイヤレスアンテナ(ダイポール)



受信周波数	40~48MHz
インピーダンス	75Ω 不平衡
適合ケーブル	3C-2V~7C-2V

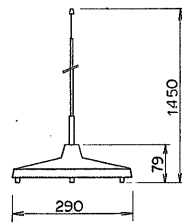
I T V カメラ (別途)



NO	名称	仕様
①	I TVカメラ	
②	広角レンズ	
③	ワイフサー	

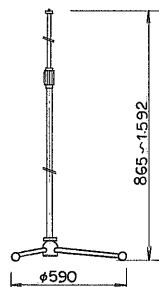
カメラヘッド部	2/3 吋セパレートマッシュロジコン
撮像管	標準 20 LUX
最低照度	標準 20 LUX
水平解像度	中心部 550本以上
レンズ部	
最大口径比	F=16
焦点距離	φ=16mm
ワイフサー部	
角度調整	上下 0°~90° 水平 360°
搭載重量	10Kg

ホップ式ワイヤレスアンテナ (別途)



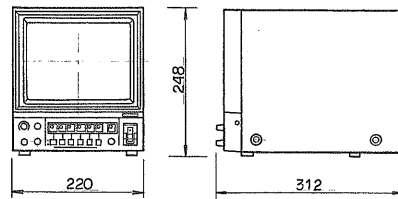
受信周波数	40~48MHz
インピーダンス	75Ω 不平衡
SWR	1.8以下(44MHzにて)
コネクタ	M接柱(3C-2V用)
適合ケーブル	3C-2V

床上型マイクスタンド



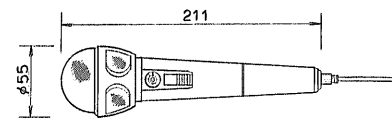
マイク取り付け高さ	865~1592 mm
マイクホルダ取り付け寸法	5/16" x 18山
重量	2.5 Kg

システムモニターテレビ (別途)



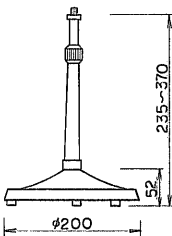
使用アライ管	9型 90°偏向
水平解像度	900TV本(中心部)
シグナルスルー	付(×6) 加減時間: 内部: 0.5 sec to 30sec 外部: 0.3 sec to ∞
電源	110V 50/60Hz 1.1 x 6

ワイヤレスアンテナ



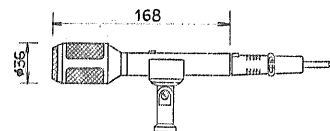
発振方式	水晶共振制御方式
送信周波数	40MHz帯指定1波
使用マイク	単一指向性ダイナミック型
周波数特性	80~12,000Hz ±6dB
電源	DC 1.5V(単3乾電池)

卓上型マイクスタンド



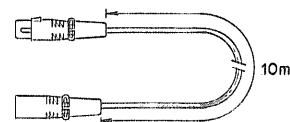
マイク取り付け高さ	235~370 mm (可変)
マイクホルダ取り付け寸法	5/16" x 18山
重量	1.8 Kg

ダイナミックマイク



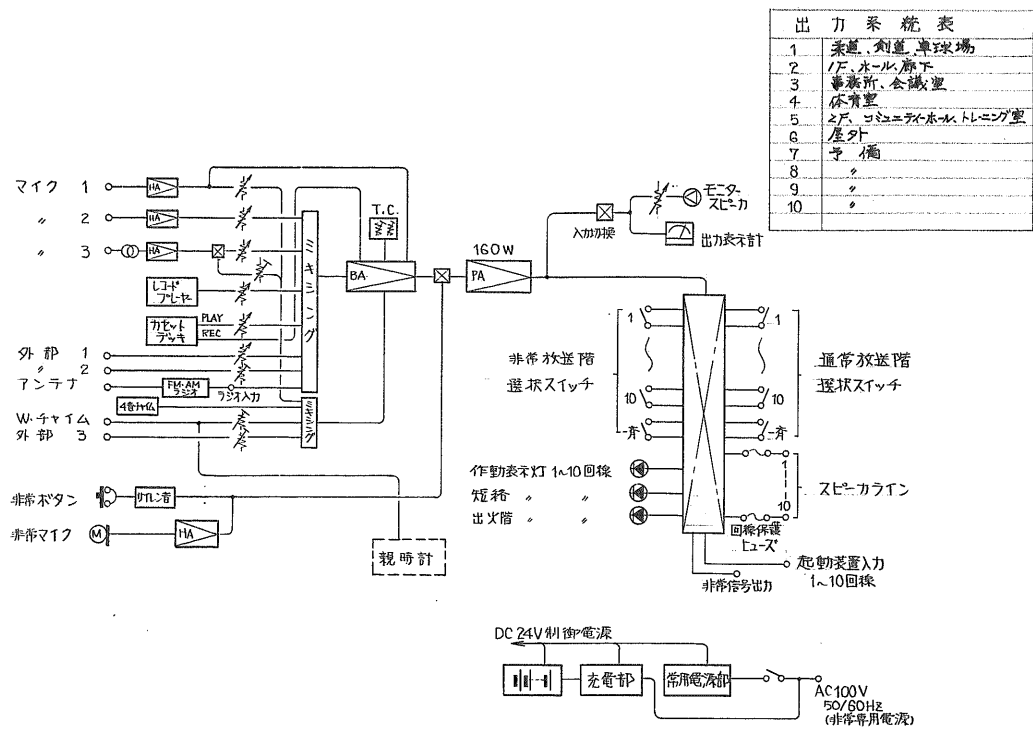
指向性	単一指向性
周波数特性	70~16,000Hz
出力インピーダンス	600Ω (平衡)
感度	-75dB(0dB=1V/ubar)
付属品	ケーブル、電池蓋

マイク延長コード  
スピーカコード

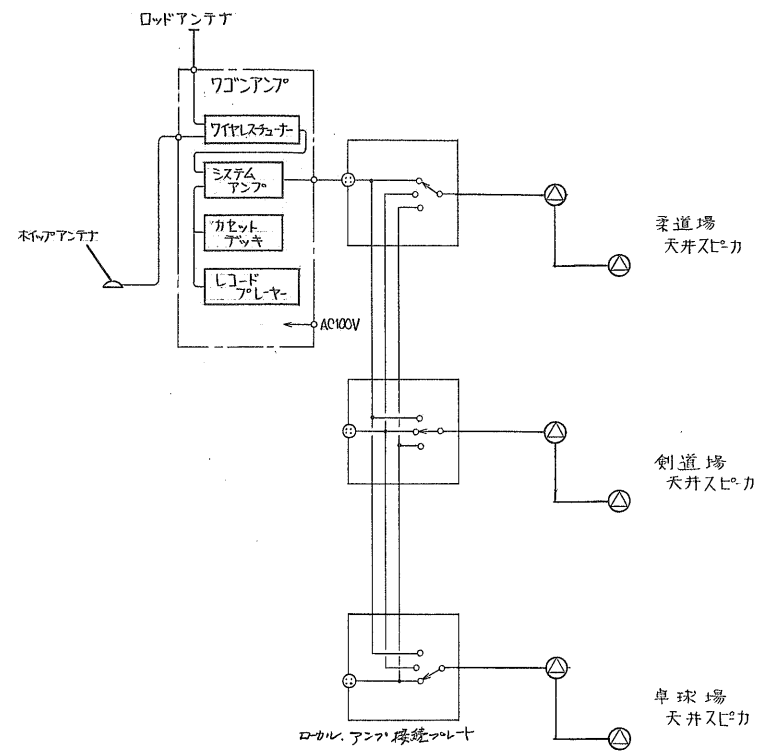


コード	ビニル被覆 2芯シールド線 10m. 外径φ5mm
コネクタ	XLR-3-11C(マイク), 4-11C(スピーカ) φ-3-12C( ), 4-12C( )

メイン放送架ブロック図



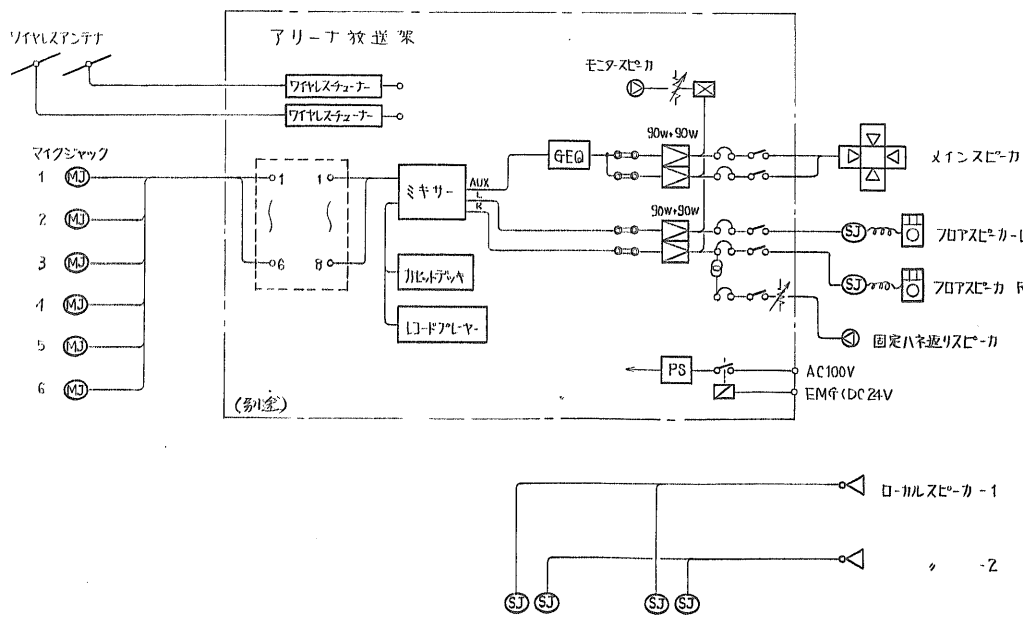
柔道場、卓球場放送ブロック図



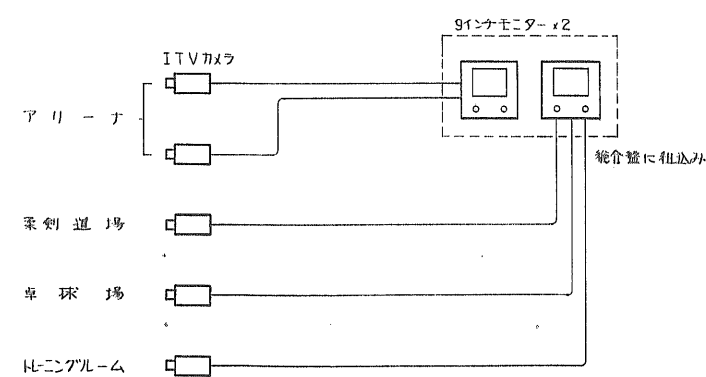
機番構成表

機番	機器名	工事区分
1	2	3
1	メイン放送架	1式
2	アリーナ放送架	1式
3	ワゴンアンプ	1式
4	メインスピーカ	1式
5	フロアスピーカ	2台
6	ローカルスピーカ	2台
7	非常用ホーンスピーカ	3台
8	天井埋込型スピーカ	23台
9	壁掛型スピーカ	2台
10	アツチネータ (1W・3w)	(1W) 4個
11	アツチネータ (20w)	
12	マイクジャックアレート	6台
13	スピーカジャックアレート	6台
14	アンプ接続アレート	3台
15	ワイヤレスアンテナ (ダイポール)	2台
16	ワイヤレスアンテナ (本館アンテナ)	1台
17	ワイヤレスマイク	2台
18	ダイナミックマイク	2台
19	マイクスタンド (床立型)	1台
20	マイクスタンド (卓立型)	1台
21	マイク延長コード	2本
22	スピーカコード	2本
23	カッターレ	4個
24	ITVカメラ	5台
25	モニターテレビ	2台

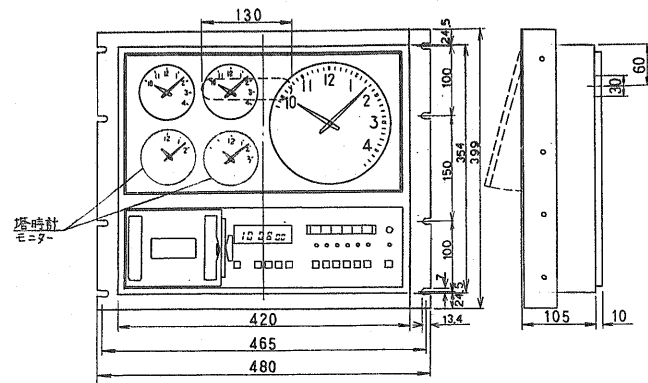
アリーナ放送架ブロック図



ITVシステムブロック図 (本館のみ工事)

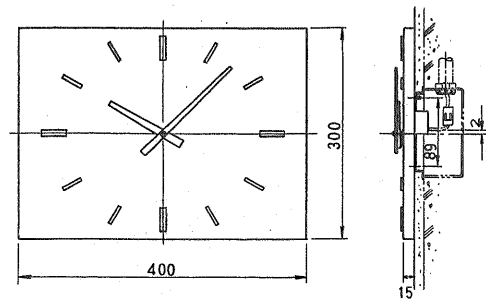


カード式6回路プログラム タイマー付親時計



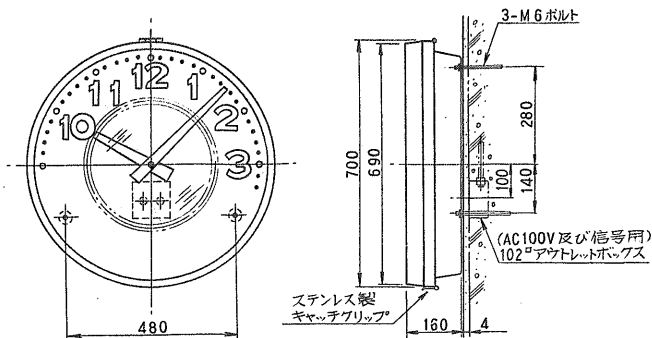
仕様  
 ○親時計  
 基準周波数 4194.304KHz  
 精度 偏差±0.7秒以内  
 使用温度範囲 -10°C~+50°C  
 精度保証温度範囲 0°C~40°C  
 時刻表示 30秒間欠進針  
 秒調整 0秒修正方式  
 子時計回線出力番号 DC24V無接点30秒有極過電流防止及びサージアブゾバ付  
 子時計駆動数 1回線当り最大30個(1個12mA)  
 子時計修正 自動修正方式 異常パルス発生防止装置付  
 信号電圧検知装置 信号電圧低下時一斉停止装置付  
 入力電源 AC100V±10% 50/60Hz 20W  
 停電時電源 密閉型ニッケルカドミウム蓄電池(DC24V, DC12V)内装  
 電池保護 過放電防止装置付  
 停電時動作時間 30時間(塔時計は含まず)  
 ケース 鋼板製  
 仕上り色 指定色 L14-255  
 重量 約11.0kg  
 ○時報装置  
 制御方式 CPU使用 全電子式  
 回路時刻の設定はカードによる。  
 設定単位 1週間±1分単位  
 出力回路 独立6回路 持ち容量 2A(AC125V)  
 出力動作数 6回路合計 240設定

半埋込角型 300 x 400



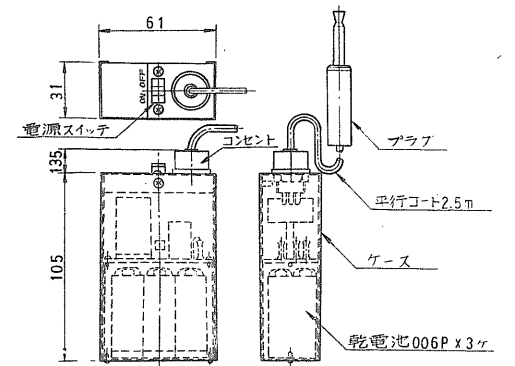
仕様  
 文字板 鋼板メラミン焼付  
 文字 銅・ホワイトブロンズメッキ  
 指針 銅・ホワイトブロンズメッキ  
 動作 DC24V有極30秒進針  
 コイル抵抗 2000Ω  
 消費電流 12mA  
 BOX 大深スリカバー付(適合ボックス)

700φ片面内照壁掛型



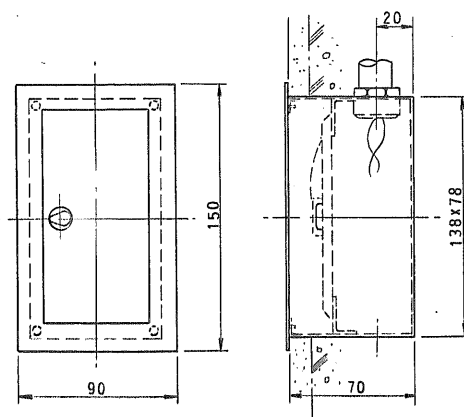
仕様  
 外枠 鋼板メラミン焼付  
 文字板 乳白アクリル 文字黒色  
 指針 黒色  
 動作 DC24V有極30秒進針  
 コイル抵抗 1500Ω  
 消費電流 16mA  
 照度 AC100V-40Wサーブライン  
 アウトレットボックス 102角  
 入線孔 AC及び信号用 2-20φ  
 取付孔 3-10φ  
 重量 11.5kg  
 表ガラス ポリカーボネート

単独修正器



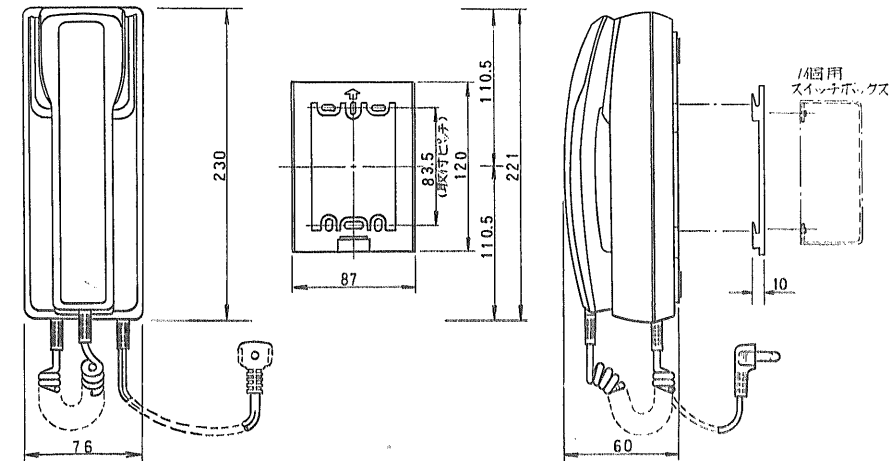
仕様  
 電源電圧 006P(乾電池)×3個直列27V(最低18V)  
 連続使用可能時間 3時間以上(但し2000Ω負荷にて)  
 出力パルス巾 1.5秒(但し20°Cにて)  
 パルス数 24(25φ)~46(1.3φ)  
 塗装 黒色チタニウム  
 用途  
 高所に設置するパルス時計を単独に修正するための器具で、固定時に取付け用プレートにあるシャック穴に差し込み使用します。

1Pジャックボックス



仕様  
 ボックス 指定色  
 ジャックプレート 鋼板製  
 ハマライン仕上り

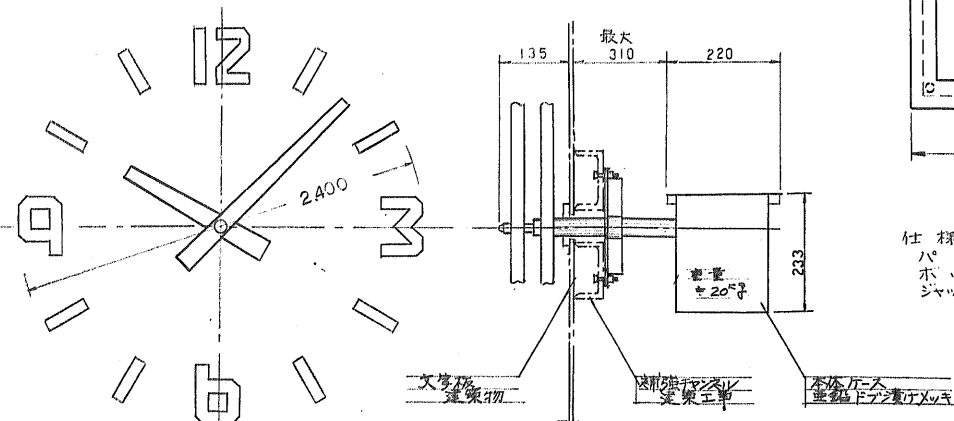
インターホン



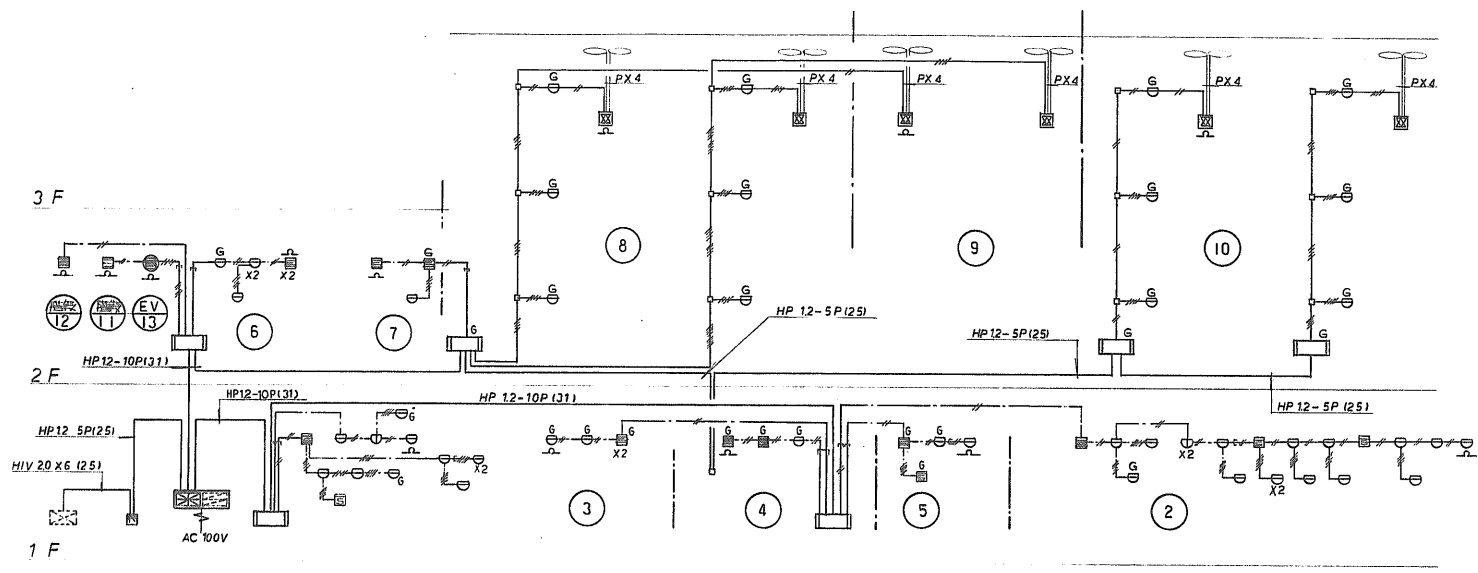
仕様  
 電源電圧 AC100V 50/60Hz  
 消費電力 最大5W 待機時1.5W  
 通話方式 玄関子機一親機...電話スリカ形同時通話式  
 親機一増設親機...電話形同時通話式  
 呼出方式 玄関子機口一親機...4点打電子チャイム音  
 玄関子機口一親機...2点打電子チャイム音  
 玄関子機口一親機...簡潔トモロ音  
 親機一増設親機...電子発着音・音呼出(音重3発切替)  
 配線数 玄関子機一親機...2線個別(無極性)  
 親機一増設親機...4線共通

通話距離 玄関子機一親機...0.65m以内(但し150mまで)  
 親機一増設親機...0.65m以内(但し0.65m以内)  
 通話表示 通話表示灯(赤色LED)点灯  
 選号方式 玄関子機から呼ばれた場合...送受信取り上げるだけでよい自動選号  
 増設親機を呼び出す場合...番号選号  
 色 鋼板  
 材質 ABS樹脂  
 重量 約320g

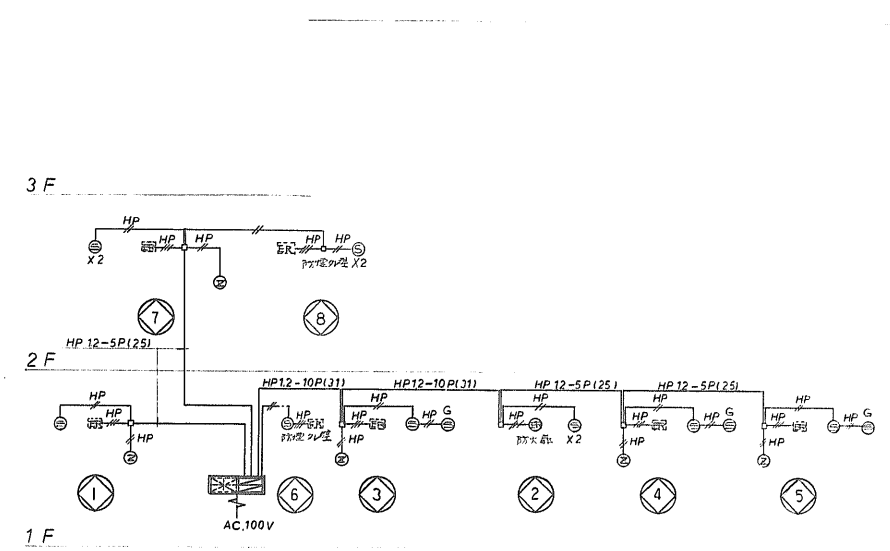
塔時計 2400φ



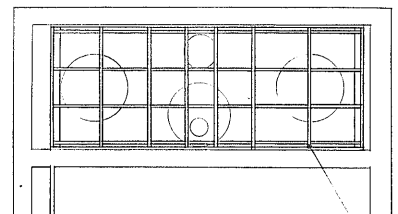
文字取付面 建物壁面  
 文字 耐酸アルミメラミン焼付  
 指針 耐酸アルミメラミン焼付  
 電源 AC100V  
 信号線 各塔時計へIV1.2×4本(親時計より)合計8本



自動火災報知設備系統図



火災警報系統図

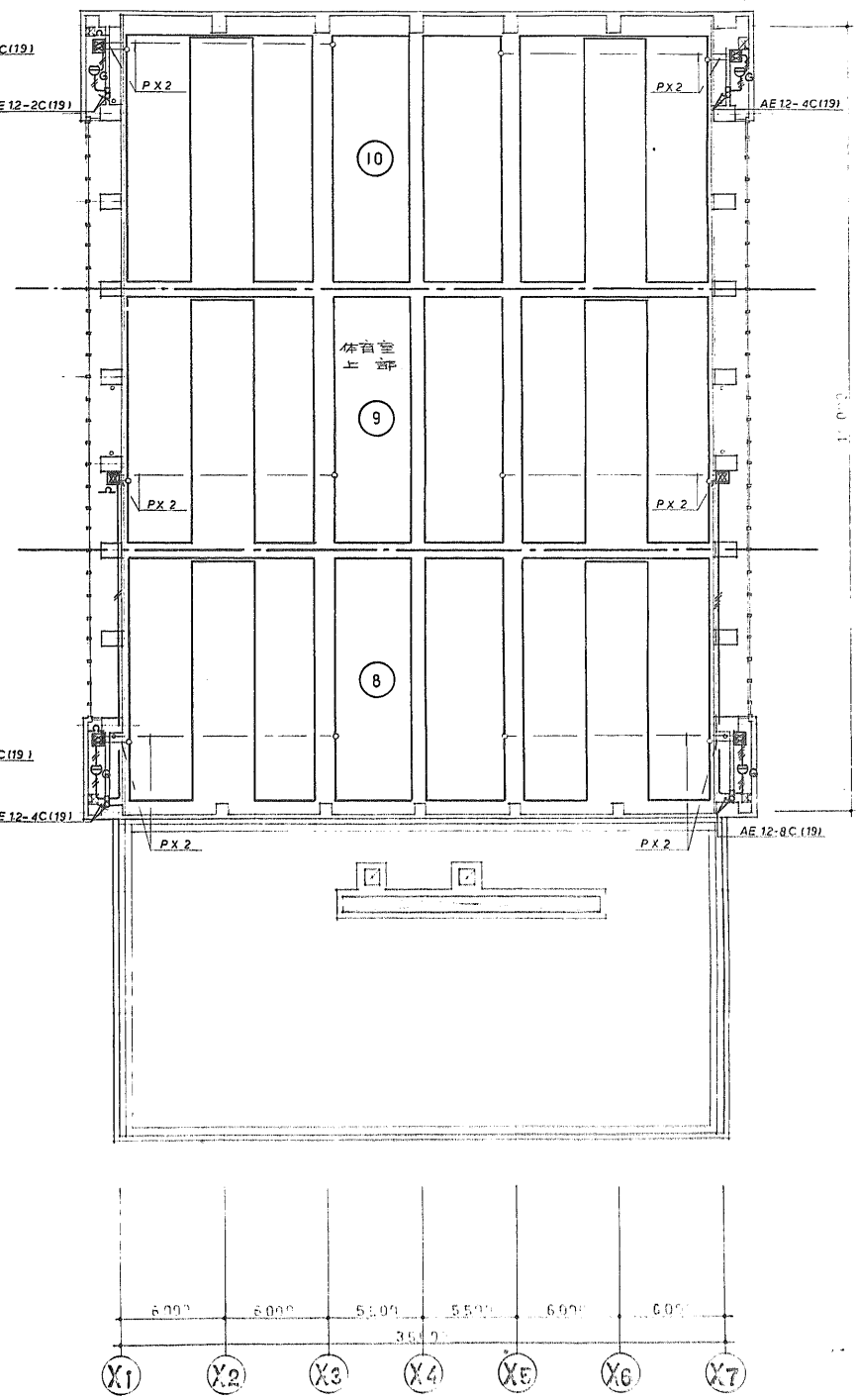
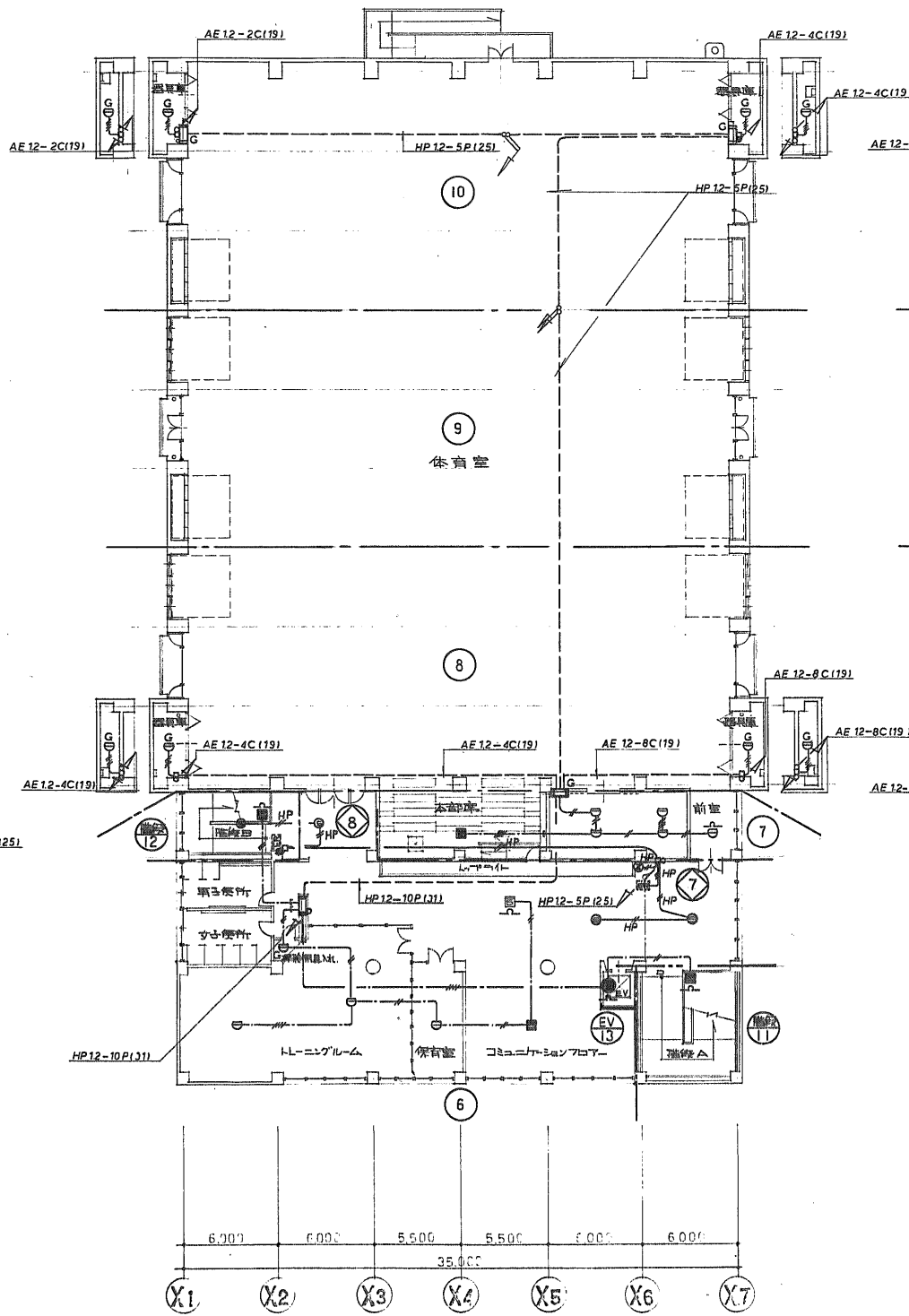
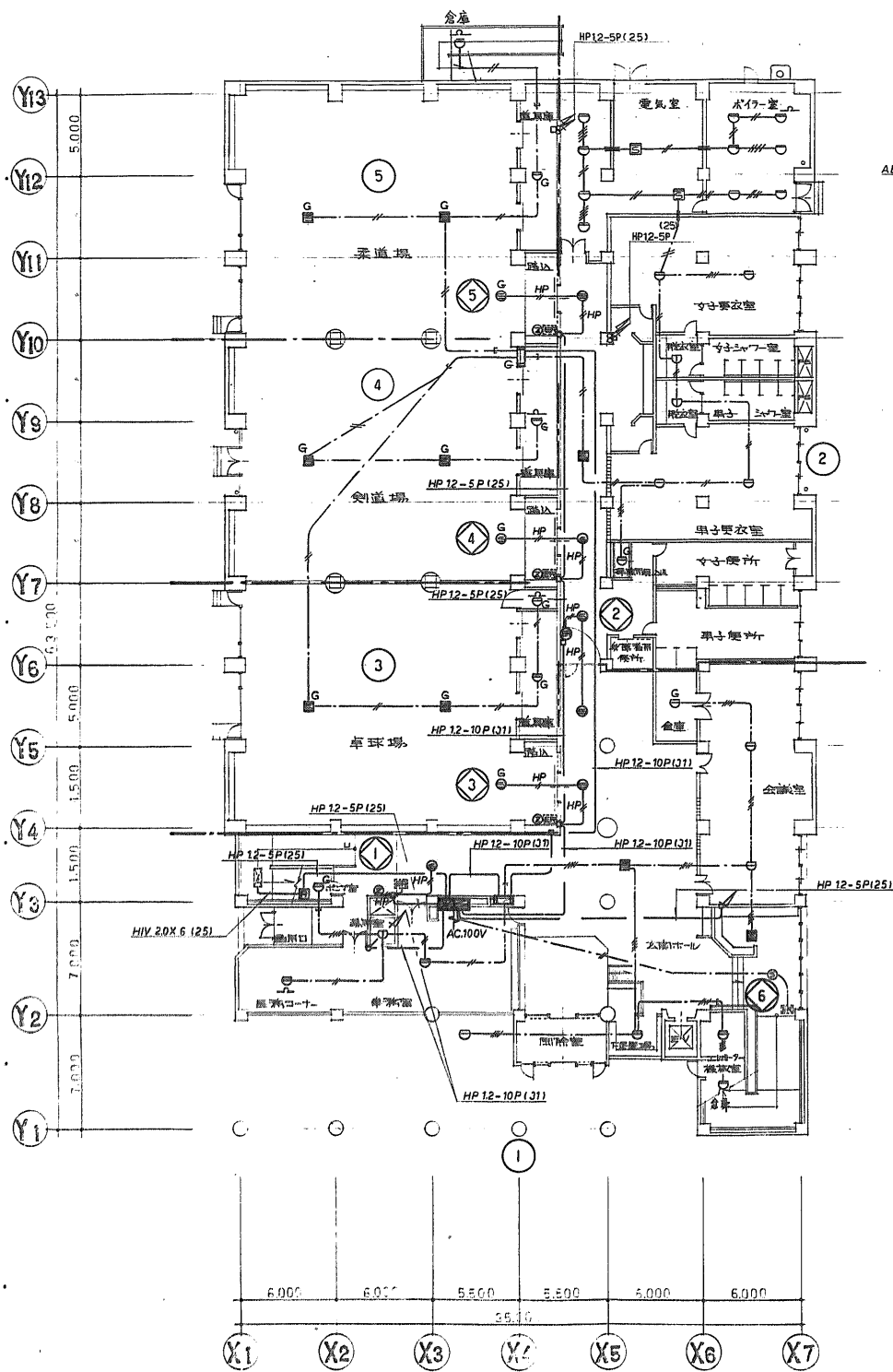


機器収容箱 下付参考図

下付に付、図中「×」は標準仕様

記号	名称	仕様	数量
☒	複合型受信機	大電圧降下監視15回線 警報検出自動 吹退 10回線 警報型(多々組込)	
☐	機器収容箱	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	G=11-1付
○	警報灯	DC24V 15W	G=11-1付
●	警報音	P型1級	
⊕	警報音発生器	全行型 2連	G=11-1付
⊖	同	又吹退型 2連	
⊗	同	又吹退型 1連 吹退型	G=11-1付
⊘	同	光電式 2連	
⊙	同	光電式 2連 警報検出付	
⊚	消火検出警報機	リチウム式 (別途工事)	
⊛	同	同	
⊜	同	同上(別途工事)	
⊝	警報区域No	1~13 (吹退)	
⊞	同	同上	
⊟	自動消音装置	吹退用 (別途工事)	
⊠	同	吹退用	
⊡	圧電式警報機	吹退用 降下時自動	G=11-1付
⊢	同	光電式 3連	
⊣	同	1~6 (吹退)	
⊤	ポイントボックス		
⊥	ケーブルボックス		
⊦	配管用継手	埋設配管	
⊧	同	床下配管	
⊨	配線	ケーブル	
⊩	配線	ケーブル	

註記  
 ○ 機器収容箱は 1個子付 K.L. 隠蔽型は 2以外は 全て 隠蔽型に  
 する。  
 ○ 警報音発生器は 1個子付 K.L. 隠蔽型は 2以外は 全て 隠蔽型に  
 する。



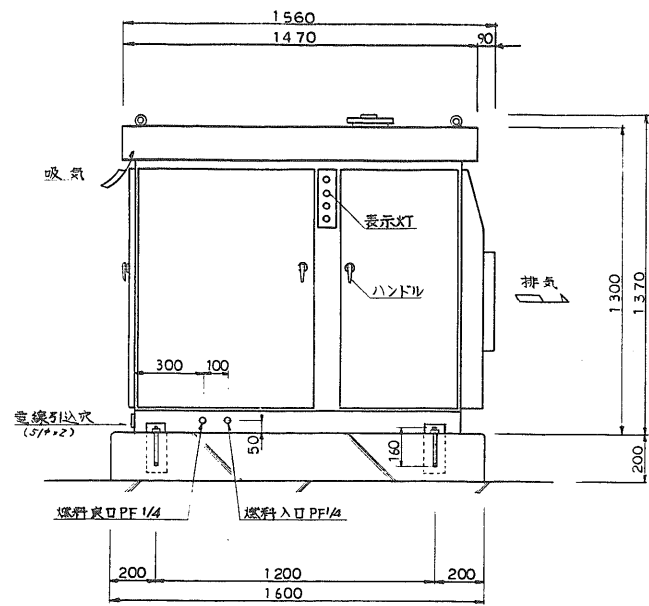
MEMO

承認	調査	設計	設計年月日	全室	NO
				24	222

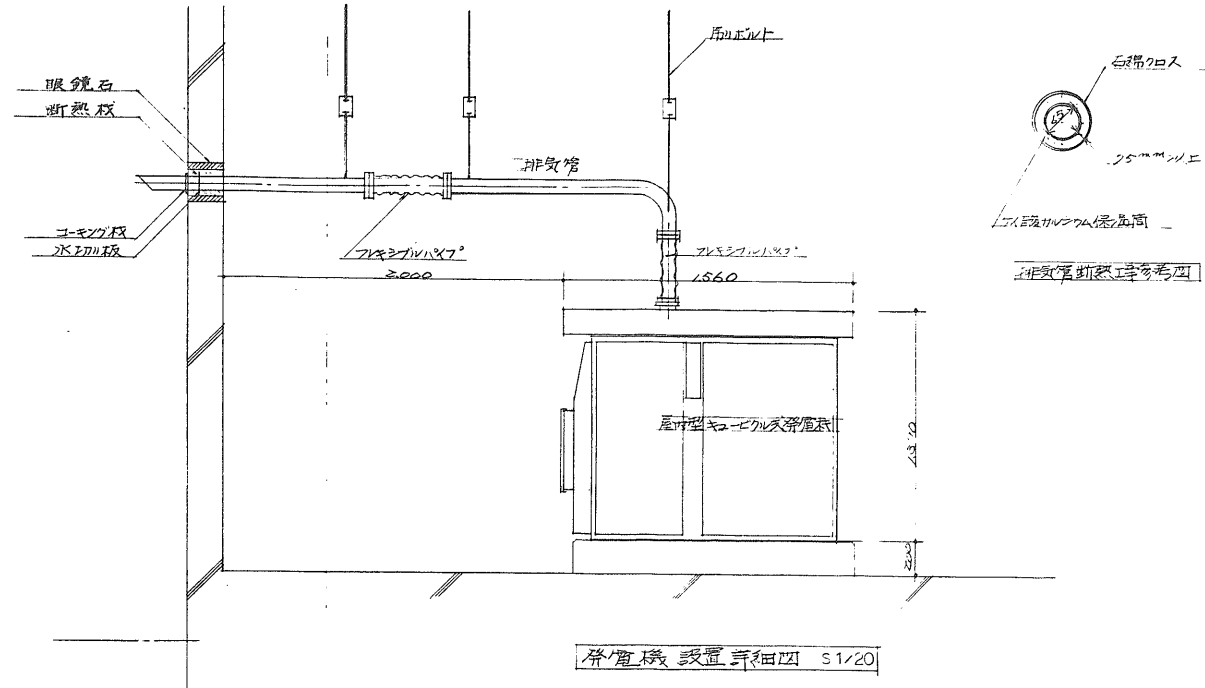
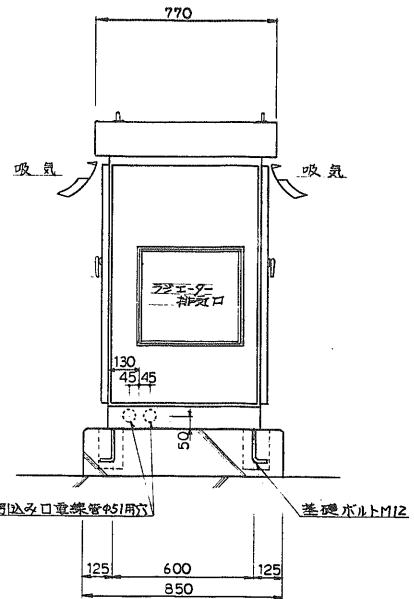
工事名・昭和60年度愛川町総合体育館建設（電気） 工事  
 図面名・電気図（配線） Scale 1:200

日比野設計

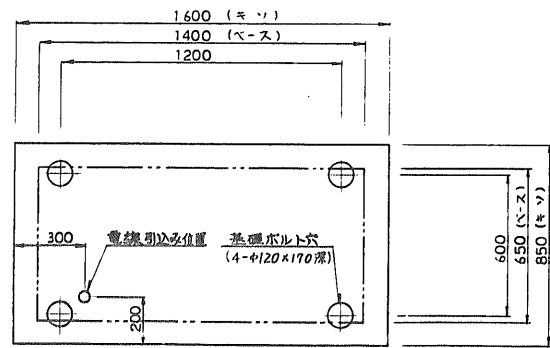




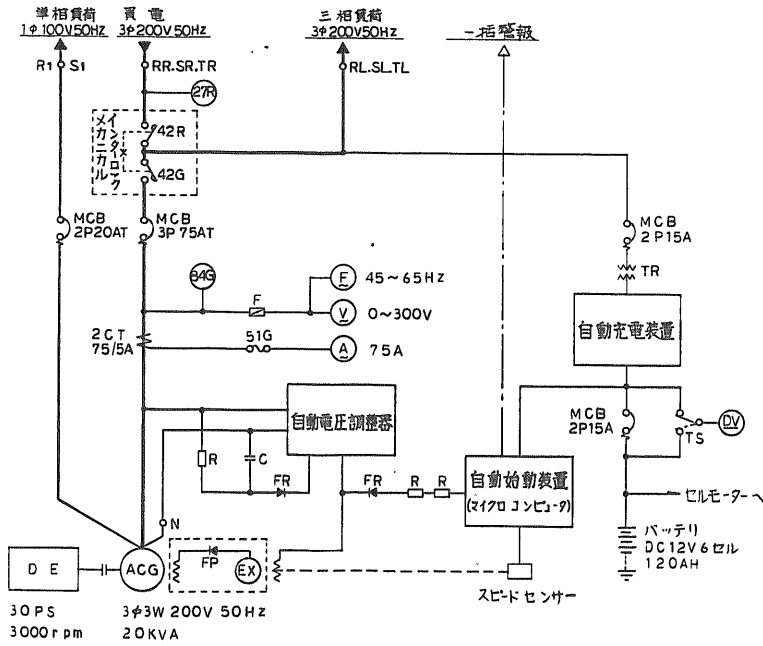
外形図 S1/15



発電機設置詳細図 S1/20



基礎図 S1/15



結線図

設置目的	非常用	特殊条件	防振・耐震
規格	消防法適合品JEM規格	周囲条件	標高150m以下-5°C~40°C
外觀形式	屋内キュービクル形	騒音レベル	普通形
連続定格	1時間	塗装色	指定色仕様
始動時間	40秒始動	設置場所	屋内
	三相交流発電機		ディーゼルエンジン
形式	開放保護形、自己風風方式	形式	渦流室式
出力	20 KVA	冷却方式	4サイクル水冷却方式
電圧	200 V	出力	30 PS
電流	57.8 A	総排気量	1413 CC
回転数	3000 rpm	シリンダ数	3気筒
相数	3φ	始動方式	セルモータ2.1KW
極数	2P	使用燃料	JIS軽油2号
周波数	50 Hz	タンク容量	15ℓ (搭載)
力率	80 (おくれ) %	燃料消費量	6.8 ℓ/H
励磁方式	ブラシレス式	運転時間	2.2 H
絶縁階級	F種	使用潤滑油	SAE30
付属機器 (搭載)	その他		
蓄電池	HS-E形12V6セル120AH	補給水量	6.6 ℓ
充電装置	トランス式自動充電式	静荷重	750 kg
発電機盤	MCB 3P75A 警報装置付	動荷重	900 kg
電源切替器	メカニカルインターロック方式60A	基礎耐力	9.8 t/m <sup>2</sup>

(単相回路容量2KVA以下)

機器仕様